2023年度

講義要項

緑地環境学科

西日本短期大学

緑地環境学科 1年次開講科目

14かんじゃまった。	于什 · 十久用謂什日						
区分	授業科目	開講期	ナンバリング		担当者(●:	実務家教員)	
基礎	英語 I	前期	2-B1SE01	西村 紀子			
基礎	英語Ⅱ	後期	2-B1FE02	西村 紀子			
基礎	スポーツ理論と実践	前期	2-B1SE03	坂元 瑞貴			
基礎	生物学	前期	2-B1SE04	山本 俊光			
基礎	キャリアデザイン	台山田	2-B1SR05	永島 知子	厚川 亮介	西川 真水	山本 俊光
本啶	1 ()))) 1)	前期	Z-D19K03	●髙宮 さやか	山本 俊光		
基礎	ポートフォリオデザイン	後期	2-B1FR06	永島 知子	厚川 亮介	西川 真水	山本 俊光
本 促	ルードンオリオナリイン	1友别	Z-DIFN00	●髙宮 さやか	山本 俊光		
専門	造園史	前期	2-S1SR01	西川 真水			
専門	ランドスケープデザイン論	後期	2-S1FR02	西川 真水			
専門	緑地計画学	後期	2-S1FE03	包清 博之			
専門	庭園設計論	後期	2-S1FE04	(未定)			
専門	製図演習	前期	2-S1SR05	永島 知子	厚川 亮介		
専門	環境設計演習 I	通年	2-S1YR06	西川 真水			
専門	造園樹木学	前期	2-S1SR07	●宮島 淳二			
専門	樹木学実習	後期	2-S1FR08	厚川 亮介	●小才 寛康		
専門	植物医科学	前期	2-S1SE09	●宮島 淳二	●髙宮 さやか	清水 進	
専門	植物病理学	後期	2-S1FE10	清水 進			
専門	土壌肥料学	前期	2-S1SE11	作田 耕太郎			
専門	造園土木材料論	後期	2-S1FE12	宮本 淑子			
専門	エコロジー概論	後期	2-S1FE13	厚川 亮介			
専門	ビオトープ計画	前期	2-S1SE14	●岩熊 志保			
専門	草花と園芸	後期	2-S1FE15	山本 俊光			
専門	フラワーデザイン基礎	前期	2-S1SE16	●野口 静香	永島 知子		
専門	コンピュータ実習 I	通年	2-S1YR17	●石井 良明	●青木 美里	大隣 昭作	厚川 亮介
守门	コンにユーダ夫自士	迪 牛	2-311N1/	永島 知子	厚川 亮介		
専門	測量学	通年	2-S1YE18	田上 博			
専門	測量実習 I	通年	2-S1YE19	田上 博	厚川 亮介		
専門	公 人中羽	洛左	2-S1YR20	●髙宮 さやか	●宮島 淳二	山本 俊光	
台门	総合実習	通年	Z-311KZU	厚川 亮介			
古田	经业类加中 羽 T	20 #8	0.010501	●髙宮 さやか	●宮島 淳二	山本 俊光	
専門	緑地管理実習 I	前期	2-S1SE21	厚川 亮介			
専門	緑地管理実習Ⅱ	後期	2-S1FE22	●髙宮 さやか	山本 俊光	●小才 寛康	
専門	環境ボランティア演習	通年	2-S1YE23	山本 俊光			
専門	学外研修	前期	2-S1SE24	西川 真水			
専門	企業実習	後期	2-S1FE25	(専任)			
	1				1		-

緑地環境学科 2年次開講科目

区分	授業科目	開講期	ナンバリング		担当者(●:	実務家教員)	
専門	ゼミナール	通年	2-S2YR01	西川 真水	●宮島 淳二	●髙宮 さやか	
専門	住環境論	後期	2-S2FE02	西川 真水			
専門	都市計画	後期	2-S2FE03	●田中 誠			
専門	景観論	後期	2-S2FE04	●武林 晃司			
専門	環境設計演習Ⅱ	前期	2-S2SR05	西川 真水			
専門	環境設計演習Ⅲ	後期	2-S2FE06	●勝野 靖弘			
専門	樹木医学	前期	2-S2SR07	清水 進			
専門	植物育成管理学	後期	2-S2FR08	●髙宮 さやか			
専門	植物保護学	後期	2-S2FE09	清水 進			
専門	造園地被学	前期	2-S2SE10	厚川 亮介			
専門	造園施工管理論	前期	2-S2SE11	●髙宮 さやか			
専門	造園関係法規	後期	2-S2FE12	●田代 和則			
専門	造園施工管理演習	後期	2-S2FE13	●髙宮 さやか			
専門	造園昆虫・動物学演習	前期	2-S2SE14	●岩熊 志保			
専門	環境保全論	後期	2-S2FE15	●宮島 淳二	山本 俊光	厚川 亮介	
専門	園芸福祉	後期	2-S2FE16	山本 俊光			
専門	フラワー装飾	前期	2-S2SE17	●野口 静香	山本 俊光		
専門	フラワーコーディネーション	後期	2-S2FE18	●野口 静香			
専門	コンピュータ実習Ⅱ	前期	2-S2SE19	●勝野 靖弘			
専門	測量実習Ⅱ	通年	2-S2YE20	田上 博	永島 知子		
専門	造園工学	前期	2-S2SE21	田上 博			
古 88	43.44.英 亚克勒	≥ ∴ #0	2-S2SE22	●小才 寛康	山本 俊光	●髙宮 さやか	
専門	緑地管理演習	前期	Z-9Z9EZZ	●秦 忠広			
専門	ガーデン管理演習	後期	2-S2FE23	●小才 寛康	永島 知子	●藤原 良治	
専門	ガーデニング実習	通年	2-S2YR24	西川 真水	●宮島 淳二	●髙宮 さやか	

<ナンバリングについて>

カリキュラムの体系性を示すため、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表したものです。

■学科コード 1 ビジネス法学科 2 緑地環境学科 3 社会福祉学科 4 保育学科

5 健康スポーツコミュニケーション学科 6 メディア・プロモーション学科

■科目区分 B 基礎科目 S 専門科目 P 実務科目 Q 資格科目

■開講期 1 一年次科目 2 二年次科目

S 前期科目 F 後期科目 Y 通年科目

■必修・選択 R 必修 E 選択

■科目ナンバー 二桁の数字

(例)「英語 I」の場合

学科コード	科目区分	開講期	必修・選択	科目ナンバー
2	В	18	E	01

1 年 前 期

科目名	英語				
担当者氏名	西村 紀子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP1 社会人と	」ての教養と豊かな人間性を備 だ	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。

《授業の概要》

基礎文法を学び、英文法の知識を再確認する。 日常会話でよく使う「文型」を多く挙げ、英語の表現に親しん でいく。

毎回語彙テストを行い、語彙や熟語を増やすことを心掛け、TOEICや英検などの資格試験の取得も視野に入れて取り組む。

《授業の到達目標》

中学までに学んだ基礎的な文法や語彙を確認し、同時に日常会話に必要な表現も身につけ、総合的に学習を進める。 英語力に必要な基本的文法構造を学び習得し、基礎的語学力を 身につける。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート -% 課題 -% 実技 -% 授業の取組 35% その他(提出物)35%

《教科書》

プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 期末試験のフィードバックは希望に応じて行います。

《成績評価基準》

授業で学習した基礎的な文法を理解しているか。 日常会話に必要な表現が身についているか。 基本的文法構造を理解し、読む書く聞く話すの4技能につなげ られているか。

《参考図書》

「英会話の基本文型87」

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	英文構造について	予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
2		予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
3		予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
4	一般動詞とBe動詞の区別 、応用練習	予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
5	-	復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
6	・過去進行形)演習	予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
7	-	復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
8	-	復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
9	疑問詞を使う疑問文	予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
10	疑問詞を使う疑問文演習	予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
11	接続詞を使った英作文	予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
12	接続詞を使った会話文	予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
13		復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
14	練習、前期学習内容の総 復習	予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
15	前期学習内容の理解確認	復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)

科目名	スポーツ理論と実践				
担当者氏名	坂元 瑞貴				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1-DP1 社会人と(しての教養と豊かな人間性を備 <i>え</i>	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。

《授業の概要》

本授業では「健康スポーツ」「球技スポーツ」「ラケットス ポーツ」「ニュースポーツ」等を行い、生涯を通してスポーツ を楽しむための知識・技能を養う。

《教科書》

必要に応じて、資料を配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 ルールについての試験を随時行い、その都度解説を行う。

《授業の到達目標》

- 1. 日常生活における運動・スポーツの重要性を理解し、生涯 を通してスポーツを楽しむことができる。 2.実施するスポーツのルールを理解し、実践できる。
- 3. スポーツを通し、チームメイトや対戦相手とのコミュニケーションを取ることができる。

《成績評価基準》

実施するスポーツのルールを理解し、チームメイトや対戦相 手とのコミュニケーションを取りながら、実践することができ る。

《成績評価の方法》

実技 30% 授業の取組 70%

《参考図書》

観るまえに読む大修館スポーツルール (大修館書店編集部)

《授業計画》		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション アイスプレイク	怪我の予防のため、身体を動かしておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
2	健康スポーツ	「運動」「栄養」「休養」のバランスを整え、健康を保つ(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
3	健康スポーツ	「運動」「栄養」「休養」のバランスを整え、健康を保つ(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
4	球技スポーツ	「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
5	球技スポーツ	「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
6	球技スポーツ	「バスケットボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
7	球技スポーツ	「バスケットボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
8	ラケットスポーツ	「バドミントン」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
9	ラケットスポーツ	「パドミントン」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
10	ラケットスポーツ	「卓球」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
11	ラケットスポーツ	「卓球」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
12	ニュースポーツ	ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
13	ニュースポーツ	ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
14	ニュースポーツ	ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
15	ニュースポーツ	ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)

科目名	生物学				
担当者氏名	山本 俊光				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
1-DP1 社会人とし			∪ての教養と豊かな人間性を備だまる。 」を学び地域に貢献できる		•

《授業の概要》

生物学の基礎を中心にして、造園、園芸、樹木医などの分野の授業にも対応できるような内容の授業になります。日頃よりNHKの自然系番組や生物に関わる番組を視聴したりして、生物への理解を深めるようにしておくとより深い理解ができると思います。

《授業の到達目標》

劇的に展開しつつある現在の生物学への入り口として、生物学の基礎的な知識の習得を目指します。さらに、私たちの生活を豊かにする植物への造詣を深めます。このことにより、植物の世界、生態系における役割が理解できるようにします。

)

%

《教科書》

大学1年生のなっとく!生物学 田村隆明 講談社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 課題を課した場合は、2週間以内にコメントをつけて返却します。

《成績評価基準》

筆記試験と授業への取組により評価します。

《成績評価の方法》

筆記試験 80 % レポート % 課題 % 実技 %

授業の取組 20 % その他(

《参考図書》

生命科学のための基礎シリーズ「生物」実教出版 多様性からみた生物学 岩槻邦男 裳華房

【	_	·
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス 生物のアウ トライン	予習:教科書p9まで 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
2	細胞の構造と機能	予習:教科書p27まで 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
3	物質と代謝	予習:教科書p40まで 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
4	遺伝とDNA	予習:教科書p60まで 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
5	遺伝子の発現	予習:教科書p76まで 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
6	生物の増殖と成長	予習:教科書p89まで 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
7	病原体と生体防除	予習:教科書p129まで 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
8	植物の生存戦略	予習:教科書p138まで 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
9	個体と個体群の生態	予習:教科書p151まで 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
10	生態群集と生態系	予習:教科書p166まで 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
11	生物の進化	予習:教科書p180まで 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
12	植物の構造と機能1	予習:プリントp155~183 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
13	植物の構造と機能 2	予習:プリントp183~198 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
14	植物の構造と機能3	予習:プリントp199~223 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
15	まとめ	予習:今までの授業内容をまとめの前に予習する・2時間 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
	•	

科目名	キャリアデザイン				
担当者氏名	永島 知子、厚川 亮介、西川 真水、久保田 家且、宮島 淳二、髙宮 さやか、山本 俊光				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP1 社会人と	しての教養と豊かな人間性を備ん	え、誠実で責任感が強く、良	設定的さまえた言動ができる。

《授業の概要》

短大での2年間は学生から社会人への移行期間です。本科目で は、みなさんのキャリア(職歴)だけでなく、人生設計(ライフデザイン) も視野に入れ、どのように働き、どんな生活を送っていくのか を考えます。職業についてや今後の人生設計を考えるために、 多くの先輩や社会人の方の話を聞き、自分の将来を考え、就職 活動に臨み、卒業後に充実した人生を送ることができるキャリアデ ザルを行う科目です。

《授業の到達目標》

- ・新しい生活環境に適応し、変化に対する円滑な対応と、豊かな人間性、高い倫理観を養うことができる。・社会に貢献できる職種としての自覚を持つことができる。
- ・自己を知り、他者の気持ちを感じ取り、人間理解を深め、造 園・土木・建築・園芸・環境保全で働く者としての考え方や心 構えを持つようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート % 課題 40% 実技 % 授業の取組 60%) % その他(

《教科書》

プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や開設の時間を設ける。

課題(実習のまとめのポートフォリオ)の返却は、2週間以内 にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

主に授業の取り組みと課題提出によるが、授業の取組(参加姿 勢)60%、課題提出40%で評価する。

《参考図書》

学生のためのキャリアデザイン入門 (中央経済社)

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
~~		シラバスに目を通すこと (1時間)
1	出、科目について	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
2		配布したプリントに目を通すこと(1時間)
		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
3		配布したプリントに目を通すこと(1時間)
		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
4		配布したプリントに目を通すこと(1時間)
7		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
5		配布したプリントに目を通すこと(1時間)
<u> </u>		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
6		配布したプリントに目を通すこと(1時間)
0		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
7		配布したプリントに目を通すこと(1時間)
1	企業研究	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
8		配布したプリントに目を通すこと(1時間)
0		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
9	ポートフォリオ4:実習の	配布したプリントに目を通すこと(1時間)
9		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
10		配布したプリントに目を通すこと(1時間)
10		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
11		配布したプリントに目を通すこと(1時間)
		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
12		配布したプリントに目を通すこと(1時間)
12		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
13		配布したプリントに目を通すこと(1時間)
13		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
14		配布したプリントに目を通すこと(1時間)
14		授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
45		配布したプリントに目を通すこと(1時間)
15	学習履歴をまとめる	授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)

科目名	造園史				
担当者氏名	西川 真水				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
1-DP1 社会人と			∪ての教養と豊かな人間性を備; 」を学び地域に貢献できる		

《授業の概要》

造園・ランドスケープの歴史を近代以前の庭園の時代とそれ以 降の都市の時代に分け、前半は日本の庭園の歴史とヨーロッパ を中心とする庭園の歴史について講義し、後半は都市空間にお ける近代以降の造園の歴史として都市公園の成立や田園都市・ 郊外など緑地計画の歴史について講義する。

《授業の到達目標》

造園・ランドスケープに関する歴史観を形成するための基礎知識を学び、造園・ランドスケープの様々な技術や空間のボキャブラリーを習得するため以下の到達目標を設定する。

日本及び西洋の庭園の歴史様式、ボキャブラリー、その流れについて説明できる。 近代以降の公園、都市における造園・ランドスケープの歴史的な流れと特徴について説明できる。 各時代の造園空間の成立背景について説明できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 70 % レポート 30 % 課題 % 実技 % 授業の取組 30 % その他()

《教科書》

プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 提出されたノートは、問題点や評価点などを記載し返却する。

《成績評価基準》

それぞれ到達目標に対しての配分として 30% 30% 40%を 目安とする。

毎回講義で配布する講義ノートを最終講義終了後提出し評価する。ノートは講義中の記録、キーワード、

講義中わからなかった言葉や事項について調べてあるか、レイアウト・記録方法を評価する。

《参考図書》

%

「日本の庭園」進士五十八/中公新書 都市緑地の計画と設計/内山正雄/彰国社

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	造園の語源とランドスケープの語源	予習:日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)
2	奈良・平安・鎌倉時代の 庭園	予習:日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)
3	室町時代・安土桃山時代 の庭園	予習:日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)
4	室町時代・安土桃山時代 の庭園	予習:日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)
5	江戸時代の庭園	予習:日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)
6	ヨーロッパ・古代の造園 と都市空間	予習:日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)
7	中世の庭園、スペインの 庭園	予習:日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)
8	イタリアルネサンス期の 庭園とフランス式庭園	予習:日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)
9	イギリス風景式庭園の形 成と変化	予習:日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)
10	都市公園の形成(欧米)	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)
11	都市公園の形成(欧米) と田園都市	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)
12	日本における都市公園の 形成	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)
13	現代の造園	予習:前回の講義ノートの確認と、福岡市内の都市公園を訪れておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)
14	現代の造園	予習:前回の講義ノートの確認と、福岡市内の都市公園を訪れておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)
15	まとめ	予習:今までの講義ノートを整理し、ファイリングしておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間)

科目名	製図演習					
担当者氏名	永島 知子、厚川 亮介					
授業方法	演習	演習 単位・必選 2単位・必修 開講年次・開講期 1年・前期				
ディプロマポリ 重点的に身につ			」を学び地域に貢献できる 『高度な「作庭技術」や「快通		=	

《授業の概要》

造園・ランドスケープに関わる設計作図技術の基本を学ぶ。線の引き方から、平面図、立面図、パースの作図方法と表現方法を実際の空間の見学や実測も入れながら、計画設計と実際の空間との関係も学ぶ。最低限必要な基本的な表現方法を習得し、環境設計演習 、 や様々な空間制作へステップアップする。製図の技術は日常的な練習が必要である。日頃からスケッチをしたり線を引く練習をすること。

《授業の到達目標》

造園・ランドスケープに関わる設計の基本を習得する。 造園・ランドスケープ・関係分野の設計図書を理解できる。 を製図演習の入門とし、前半は「建築・環境の概念」、「建築・環境計画・設計の基本とアプローチ」 後半に「建築景観とフィールド・リテラシー」を行い、この3 つの内容を理解すると共に、教員および学生同士のコミュニケーションを通じ、製図演習に対するモチベーションを高める。

《成績評価の方法》

課題 80% 授業の取組 20%

《教科書》

「やさしい造園図面の描き方」編集 建築資料研究社/建築資料研究社 「図説 日本の植生」講談社学術文庫/岩瀬徹 沼田眞 プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う。

《成績評価基準》

主に課題提出と授業の取組によるが、課題提出80%、授業の取組(参加姿勢)20%、で評価する。

《参考図書》

造園施工管理技術編/日本公園緑地協会 造園作品集/日本造 園学会 造園植栽術彰国社/山本紀久

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	本演習の概要説明	予習:シラバスに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
2	設計の留意事項	予習:配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
3	対象地の実測 (公園設計)	予習:配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
4	対象地の実測 (公園設計)	予習:配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
5	作図	予習:配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
6	作図	予習:配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
7	計画	予習:配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
8	計画	予習:配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
9	設計・製図	予習:配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
10	設計・製図	予習:配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
11	設計・製図	予習:配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
12	設計・製図	予習:配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
13	測量から設計製図したも のを現地に設定する	予習:配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
14	測量から設計製図したも のを現地に設定する	予習:配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
15	まとめ・最終課題の提出	予習:配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)

科目名	造園樹木学				
担当者氏名	宮島淳二				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		∪ての教養と豊かな人間性を備 『高度な「作庭技術」や「快逑		

《授業の概要》

1. 植物及び樹木の分類と命名 2. 植物と衣食住・産業・風景・文化・Q.L.・セラピー・歳時記等との関連 3. 樹木の形態・生理・管理の基本 4. 造園樹木材料の生産と流通 5. 押し葉標本の作り方 6. 樹木検索の方法 7. 造園植栽の意義と要件 8. 代表的な花木・庭木・公園樹・街路樹

《授業の到達目標》

- 1. 造園樹木材料について豊かに精通し、造園家として使いこなせるようになること。
- 2.「植物(樹木)と人間」のよりよい関係について常に考え、その橋渡し役として、社会的ニーズ+ヒューマンニーズに、より的確な植栽計画(緑地生活と自然環境保全)により応えれるようになること。 3.自分自身で樹木検索ができるようになること。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート 10% 課題 20% その他(実物試験) 30%

《教科書》

「樹木ガイドブック」上原敬二、朝倉書店 「葉で見わける樹木 増補改訂版」林将之、小学館 「くらしを楽しむ庭木の本」講談社 「くらべてわかる葉っぱ」林将之、山と渓谷社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 課題はコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

(到達目標1、2、3共通)

- ・90~10 極めて達成
- ・80~89 かなり達成
- ・70~79 普通に達成
- ・60~69 まあ達成
- ・59以下 達成できていない

《参考図書》

「グリーンセイバー 植物と自然の基礎を学ぶ」岩槻邦男監修、研成社 「日本の樹木」林弥栄監修、山と渓谷社 「ランドスケーププランツ」浅野二郎ら監修、ワールド出版

【按集計画》		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	の諸分類と造園的分類	予習:あらかじめ予告のテキスト指定ページで予習 / 2時間 復習:指定様式・用紙の「授業日報」等 / 2時間
2	耐性・管理	復習: //
3	規格、造園植物の要件	復習: "
4	実際	復習: //
5	彩プリント法	復習: //
6	・環境福祉)	復習: //
7	主要な庭園樹・公園樹・ 街路樹(1)	復習: //
8	" (2)	復習: //
9	" (3)	復習:#
10	樹木検索 / 広葉樹 (1)	復習: //
11)	復習: //
12)	復習: //
13		復習: //
14)	復習: //
15	樹木実物鑑定試験	復習: //
<u> </u>	<u> </u>	

科目名	植物医科学					
担当者氏名	宮島 淳二、髙宮 さやか、清水 進					
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期	
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP1 社会人と(しての教養と豊かな人間性を備 え	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。	

《授業の概要》

種々の植物病を診断し、治療・防除・予防するシステムを対象とした学問分野が「植物医科学」である。したがって、従来の伝統的な技法に加え、AIや分子生物学的手法を導入しつつ、臨床を重視した授業を展開する。

《授業の到達目標》

植物の病気の診断は従来、目視や顕微鏡診断などが行われてきた。しかし、現在ではAI診断あるいは遺伝子診断なども植物の病害虫の分野でも普及ししつつある。そこで、これらの植物の病害虫の診断技術の基本と応用を習得させ、効果的な防除法に繋げる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 20% 課題 % 実技 % 授業の取組 20% その他() %

《教科書》

「植物医科学」難波成任 養賢堂

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

植物の病害虫の診断技術および各種防除手法の理解度(筆記試験)、レポートの内容および授業への取組により評価する。

《参考図書》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	植物医科学の概要	シラバスに目を通すこと(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
2	AI診断(病害)	病害のAI診断の現状と問題点(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
3	AI診断(虫害)	虫害のAI診断の現状と問題点(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
4	AI診断(雑草害)	雑草害のAI診断の現状と問題点(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
5	遺伝子診断 (病害)	病害の遺伝子診断の現状(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
6	遺伝子診断 (虫害)	虫害の遺伝子診断の現状(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
7	遺伝子診断(農薬耐性病 害虫)	農薬耐性病害虫の遺伝子診断(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
8	総合的有害生物管理(IPM)	総合的有害生物管理(IPM)(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
9	耕種・物理的防除(病害)	病害の耕種・物理的防(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
10	耕種・物理的防除(虫害)	虫害の耕種・物理的防(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
11	化物的防除 (病害)	病害の化物的防除(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
12	化物的防除(虫害)	虫害の化学的防除(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
13	生物的防除 (病害)	病害の生物的防除(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
14	生物的防除(虫害)	虫害の生物的防除(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
15	まとめ	配布プリントの整理と質問事項の摘出(2時間)・ 授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)

科目名	土壌肥料学				
担当者氏名	作田 耕太郎				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,	しての教養と豊かな人間性を備え 」を学び地域に貢献できる	-,	

《授業の概要》

前半で植物の生育基盤である土壌に関する講義を行い、土壌の 緑化上の問題点を整理した後、後半でこれを改良するための手 段として肥料について講義する。

《教科書》

「最新・樹木医の手引き」財団法人日本緑化センター

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 質問については、適宜受付。その場で回答します。

《授業の到達目標》

植物生育の基盤である土壌の性質や構造を学び、併せて植物の 生育を促す肥料に関する知識を身に付ける。

《成績評価基準》

試験及び授業出席率、受講態度

《成績評価の方法》

筆記試験 50% 授業の取組 50%

《参考図書》

「土壌肥料用語辞典」農文協

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	土壌のでき方と土壌生成 因子	予習:シラバスを熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	土壌層位と識別区分	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	わが国の森林土壌の分類	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	土壌の生物的環境	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	土壌の化学的環境	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	土壌の物理的環境	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	土壌断面調査と土壌診断	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	土壌調査と診断の実際	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	緑化における土壌の問題	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	土壌改良の対象	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	土壌改良の資材	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	植物に必要な養分	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	肥料の種類および性質	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	各要素の欠乏・過剰に対 する植物の反応	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	まとめ	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

科目名	ビオトープ計画				
担当者氏名	岩熊 志保				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ		,	∪ての教養と豊かな人間性を備だまる。 」を学び地域に貢献できる	-,	

《授業の概要》

ビオトープの基礎知識、時事的な環境問題、ビオトープ管理士としての心得などを学びます。実際に現場で実践できるための知識を身につけます。

《教科書》

改訂版 ビオトープ管理士資格試験公式テキスト 公益財団法人日本生態系協会 (監修)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》添削のうえ、2週間以内に返却する。

《授業の到達目標》

「2級ビオトープ計画管理士」試験に合格する。ビオトープに 関連した知識を身につけ、実践に活かせることを目標とする。

《成績評価基準》

課題の完成度及び授業への取り組み態度。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート % 課題 50% 実技 % 授業の取組 50% その他() %

《参考図書》

- ・環境を守る最新知識(第2版)/(財)日本生態系協会
- ・野生生物保全技術(第2版)佐藤正孝・新里達也

《授業計画》 调	授業のテーマ	子羽中京/吐眼\
旭		予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ビオトープとは	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2 時間)
2	生態系について	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2時間)
3	ビオトープの現状	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2時間)
4	ビオトープの保全につい て	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2 時間)
5	外来種について	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2 時間)
6	環境関連法1	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2時間)
7	環境関連法2	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2 時間)
8	環境関連法3	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2 時間)
9	ビオトープ計画	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2 時間)
10	野生生物調査について	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2 時間)
11	里地里山里海	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2 時間)
12	国内での取り組み	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2 時間)
13	地域における取り組み	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2 時間)
14	ビオトープ管理士計画部 門対策	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2 時間)
15	まとめ	授業テーマに関する参考書を読み、過去問を解く(2時間)、授業の内容を見直す(2時間)

科目名	フラワーデザイン基礎					
担当者氏名	野口 静香、永島 知子					
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期	
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP1 社会人と	しての教養と豊かな人間性を備 <i>え</i>	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。	

《授業の概要》

季節・四季を大切に行事、使用花材・資材の必要性を説明しながらたくさんの作品を作り植物を好きになる授業です。(花材費別途必要です)

《授業の到達目標》

植物のもつ本来の美しさを様々な素材を使用し教科書の作品例を模倣したり目でみて触れて工夫する中でフラワーデザインの基礎知識を学習しマスターします。15回作品を作っていく事でそれぞれの個性がうまれ完成度の高いステキな作品に仕上がっていくようになります。

《成績評価の方法》

実技 授業の取組 60 %

《教科書》

フラワーデザイン入門(資格取得に役立つ)(講談社)、社団 法人日本フラワーデザイナー協会

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 課題作品の講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

植物、素材の扱い方、教科書の作品例を見て自分なりの工夫、 個性、感性、作る姿勢等の総合評価とします。

《参考図書》

なし

【按集計画》		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	初めて花に触れる簡単基 礎アレンジメント	予習:シラバスを熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	資材で仕上げるアレンジ メントフラワーケーキ	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	父の日ギフトアレンジメ ント	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	ブライダルについてブラ イダルギフト	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	ブライダル簡単ブーケ、 ブートニア	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	ブライダルディスプレイ	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	スパイラルの花束	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	パターン違いの花束	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	サマーギフトアレンジメ ント	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	る花束	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	ドライフラワーを使って ハーバリウム	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

科目名	緑地管理実習				
担当者氏名	髙宮 さやか、宮島	淳二、山本 俊光、	小才 寛康、厚川 亮介		
授業方法	実習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		」を学び地域に貢献できる 『高度な「作庭技術」や「快適		

《授業の概要》

二丈キャンパスおよび福浜キャンパス内の剪定、植栽等の年間 作業を通して、各季節ごとに必要な維持管理を学ぶ。また学外 での生産地見学、公園見学等により維持管理の現場と実際を学 び、森林での植生調査により植生を学ぶ。

《授業の到達目標》

本実習は花と緑の緑地環境の維持管理の視点から、緑地の管理技術・技能を実際の作業を通して学ぶ。 時間の制約上、植物の生理生態の基礎の実地と栽培管理、庭園を管理するための基本的実技、花を中心とした彩のある空間管理、植物以外の生き物のための空間管理を学ぶことに力点を置く。また総合実習と連携した実習を行うことで効果的に管理の知識と技術を身につけることを目標とする。

《成績評価の方法》

レポート 30% 実技 20% 授業の取組 50%

《教科書》

なし

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 レポートを添削し2週間以内に返却する。

《成績評価基準》

受講態度と技術習得の度合いとレポートの作成と提出を総合的 に評価する。

《参考図書》

厚生労働省職業能力開発局技能振興課監修・全国造園技能検 定推進委員会発行『造園施工必携』 花葉会 編集・講談社発行『フラワーランドスケ ピング』

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習:各人の地元にある庭園や公園について調べておく(2時間) 復習:安全管理に関する内容を復習する(2時間)
2	見学実習	予習:見学予定地について下調べをしておく(2時間) 復習:見学した内容のレポート作成(2時間)
3	しゅろ縄・ロープワーク	予習:身近なロープワークの実例をみておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
4	花壇準備	予習:雑草の種名を10種程度調べておく(2時間) 復習:除草した雑草の特徴をまとめる(2時間)
5	草花園芸	予習:使用する花苗の科名や原産地等の基礎情報を調査(2時間) 復習:使用した花苗の特徴をまとめる(2時間)
6	間伐・林内管理	予習:植林に使われる樹種を調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
7	挿し木・増殖工	予習:園芸店で売られているポット苗を観察しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
8	剪定・刈込	予習:身近な樹木の枝の付き方・樹形を観察しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
9	病虫害防除	予習:身近な樹木の病徴を観察しておくこと(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
10	技能検定	予習:課題の仕様書を熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
11	挿し木の鉢上げ	予習:園芸店で売られているポット苗を観察しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
12	技能検定	予習:課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
13	技能検定	予習:課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
14	技能検定	予習:課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
15	技能検定	予習:最も苦手な工種を把握し、練習する(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)

科目名	学外研修				
担当者氏名	西川 真水				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP1 社会人と	しての教養と豊かな人間性を備 <i>っ</i>	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。

《授業の概要》

実際に歴史に名を残す名園、最新技術を活用し形成された都市 環境・空間を訪れ、実際にその空間をデザイン、施工、管理す るプロフェッショナルの話を聞き、実際の空間を感じ、空間の 見方・作法の習得、自らのキャリアにフィードバックすること を目的に宿泊を含む学外での研修を行う。多くの空間を見学・ 記録し、今後の造園・ランドスケープ空間の計画・設計・施工 ・管理にかかわる資料の作成も行う。

《授業の到達目標》

研修計画を立案する。 実際に研修で訪れる、都市や造園・ランドスケープの空間に ついて、事前に調べ、資料を準備する。

研修計画に基づいて実際に空間を訪れ、本物の空間を感じ、 記録する。

計画、資料、研修の記録をもとに報告ポスター(A1サイズ)を制作する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % % レポート 課題 % 実技 %

授業の取組 30 % その他() 70 %

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

研修計画はミーティングごとにチェックし、講評を行う。 提出された報告ポスターは、一次提出時に問題点などコメント をつけて返却するので、それを参考に最終提出とする。最終提 出されたポスターは出力し学びの発表会で展示し講評を行う。

《成績評価基準》

研修への取り組み・参加態度(30%)、事前研修で作成する研 修計画、および研修後に製作する報告ポス ターを評価(70%)を基準に、到達目標の達成度を総合的に評 価する。

《参考図書》

進士五十八/日本庭園造景の技とこころ/中公新書

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
	ガイダンス	予習:造園史のノートを熟読し、振り返っておく
1		復習:ノートを整理しておく
2		予習:班メンバーと京都の町並みについて調べておく 復習:研修計画書の修正
3	研修計画の作成	予習:班メンバーとテーマに沿った庭園を調べておく 復習:研修先の資料の収集
4	直前研修1:概要・総論	予習:造園史のノートを熟読し、振り返っておく 復習:ノート・メモの整理
5	直前研修2:各論	予習:配布資料を熟読しておく 復習:ノート・メモの整理
6	直前研修3:各論と研修内 容の発表	予習:研修資料の作成 復習:資料の収集
7	研修	予習:作成した研修資料を熟読しておく 復習:メモ・ノート・写真の整理
8	研修	予習:作成した研修資料を熟読しておく 復習:メモ・ノート・写真の整理
9	研修	予習:作成した研修資料を熟読しておく 復習:メモ・ノート・写真の整理
10	研修	予習:作成した研修資料を熟読しておく 復習:メモ・ノート・写真の整理
11	研修	予習:作成した研修資料を熟読しておく 復習:メモ・ノート・写真の整理
12	研修	予習:作成した研修資料を熟読しておく 復習:メモ・ノート・写真の整理
13		予習:レイアウト概要の作成をしておく 復習:レイアウトの指摘点の修正
14		予習:レイアウト概要の作成をしておく 復習:レイアウトの指摘点の修正
15	報告書の作成	予習:レイアウト概要の作成をしておく 復習:レイアウトの指摘点の修正

科目名	茶道文化				
担当者氏名	黒岩 富美枝				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ					

《授業の概要》

- 1. 茶の湯の歴史
- 2. 実技 茶室(和室)での基本所作 客の心得 日本 茶の種類と淹れ方 点前の基本割稽古とテーブル茶(盆点前) 茶の湯の道具と水屋の仕事
- 3.日本の伝統文化について【東洋陶磁美術館見学】

《授業の到達目標》

茶の湯は、日本古来より「もてなしの文化」といわれている。 一服のお茶を点て、おもてなしの基本が身につくようになる。 基本的な所作、手順の繰り返しで、点てられたお茶を感謝していただく 四季の移ろいや季節感を、茶室の床の間の軸、花や自分の周りで感ずる 抹茶を楽しみ、自分に対してテーブル茶でお茶を点てて飲むことができる 伝統文化に関する話や実践を通して、茶道に興味・関心を持つことができる

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 50 % 課題 % 実技 30 % 授業の取組 20 % その他() %

《教科書》

プリントを配布する

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 次の授業時間に講評する

《成績評価基準》

総合評価とする

- 1.レポートによる内容評価(期限内に提出)
- 2. 実技の習得度
- 3. 授業への積極的な取組

《参考図書》

江戸千家教本「基本の点前」

【授業計画》		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 茶の湯とは? 茶室の成り立ち	予習:シラバス確認 30分 復習:シラバスを読む 30分
2	-	予習:シラバス確認 30分 復習:授業の復習 30分
3	茶室 基本所作「立居、 襖の開閉」・薄茶点前	予習:基本所作 30分 復習:授業の復習 30分
4	茶室 基本所作 服紗、 扇子の扱い方	予習:つくばいの使い方30分 復習:授業の復習 30分
5	客の心得 席入り 菓子 と薄茶のいだたき方	予習:服紗の扱い 30分 復習:授業の復習 30分
6	日本茶の種類と淹れ方	予習:プリント確認 30分 復習:レポート作成
7	茶の湯の道具と水屋の成 立ち、水屋の仕事	予習:服紗の扱い 30分 復習:授業の復習 30分
8	割稽古(基本) 服紗の 扱い(服紗さばき)	予習:服紗の扱い 30分 復習:服紗さばき 30分
9	割稽古(基本) 薄茶器 ・茶杓を拭く	予習:服紗さばき 30分 復習:服紗さばき 30分
10	割稽古(基本) 茶巾の 扱い 茶筅通し、すすぎ	予習:服紗さばき 30分 復習:茶巾のたたみ方 30分
11		予習:服紗さばき 30分 復習:茶巾の扱い 30分
12	テーブル茶(盆点前)の 点前 亭主と客	予習:服紗さばき 30分 復習:授業の復習 30分
13	テーブル茶(盆点前)の 点前 亭主と客	予習:服紗さばき 30分 復習:授業の復習 30分
14		予習:プリント確認 30分 復習:レポート作成
15		予習:服紗さばき 30分 復習:授業の復習 30分

科目名	検定読解				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ					

《授業の概要》

留学生のための日本語授業です。

日常的な場面で使われる日本語と、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解できるようになりましょう。授業は課題の解説を中心に行います。必ず課題を解いて全授業に出席してください。読む力向上のポイントは自宅学習です。自己管理力を身につけましょう。

《授業の到達目標》

- ・学校や生活で必要な説明文や指示文を読んで内容を理解することができる。
- ・かんたんな内容の評論やエッセイを読んで、因果関係や筆者 の考え方が理解できる。
- ・かんたんな内容の複数のテキストを読み比べて、共通点や相違点を述べることができる。
- ・文章から必要な情報を探し出すことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート % 課題 30% 実技 % 授業の取組 20% その他() %

《教科書》

『TRY!日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語』(アスク出版(レベルによってN2またはN3)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題の解説は次回の授業内で行う。

理解度を確かめるために、小テストを実施し添削して返却する。

《成績評価基準》

- ・毎回課題にしっかり取り組んで授業にのぞんでいたか。
- ・授業で学んだ語彙や文法とまとめノートを作るなど自宅学習 が十分になされていたか。
- ・文章を理解するためのストラテジーを身につけることができたか。
- 以上の取り組み方と課題提出・筆記試験で総合的に評価する。

《参考図書》

日本語能力試験関連問題集を適宜紹介します。

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	実力テスト 身の回りの文書	予習:授業内容の確認 30分 復習:授業内で学習した語彙・文法 60分
2	通知文・お知らせ	予習:課題読解 60分 復習:授業内で学習した語彙・文法 60分
3	ニュース	予習:課題読解 60分 復習:授業内で学習した語彙・文法 60分
4	説明文	予習:課題読解 60分 復習:授業内で学習した語彙・文法 60分
5	エッセイ	予習:課題読解 60分 復習:授業内で学習した語彙・文法 60分
6	小説	予習:課題読解 60分 復習:授業内で学習した語彙・文法 60分
7	新聞	予習:課題読解 60分 復習:授業内で学習した語彙・文法 60分
8	グラフと図表	予習:課題読解 60分 復習:授業内で学習した語彙・文法 60分
9	論説文	予習:課題読解 60分 復習:授業内で学習した語彙・文法 60分
10	統合問題	予習:課題読解 60分 復習:授業内で学習した語彙・文法 60分
11	模擬試験	予習:模擬試験準備 60分 復習:模擬試験の見直し 60分
12	模擬試験の解説 情報検索	予習:課題読解 60分 復習:授業内で学習した語彙・文法 60分
13	過去問題	予習:課題読解 60分 復習:授業内で学習した語彙・文法 60分
14	過去問題	予習:課題読解 60分 復習:授業内で学習した語彙・文法 60分
15	過去問題のフィードバッ クとまとめ	予習:期末試験準備 60分 復習:まとめ

科目名	検定文法				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力				

《授業の概要》

留学生が日本の生活で必要な日本語能力を上げるためには、文 法を身につけることが必要になります。授業の中で、文法の理 解を深めながら繰り返し練習をしていきましょう。

この授業は、復習がとても重要です。授業のあとは必ず復習を してください。また毎回の小テストを通して、自分の苦手なと ころをよく確認し、日本語能力のレベルアップにつなげてくだ さい。

《授業の到達目標》

- ・授業で学んだ日本語文法をよく理解し、文を作ることができ
- ・日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。

《成績評価の方法》

- ・期末試験50%
- ・小テスト・課題30%
- ・授業への取り組み20%

《教科書》

『TRY!日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語』(アスク 出版)

(レベルによってN2またはN3)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・毎週小テストを行い、翌週フィードバックを行う。 ・毎週、宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《成績評価基準》

- ・まじめに授業に取り組んでいたか。
- ・授業で取り上げた文法をよく理解し、文法力が向上できたか
- ・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるよ うになったか。

《参考図書》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 文法 導入・練習	予習:テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習:第1回授業内容の復習(30分)
2	小テスト 文法 導入・練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
3	小テスト 文法 導入・練習	予習:第3回授業内容の予習(30分) 復習:第3回授業内容の復習(30分)
4	小テスト 文法 導入・練習	予習:第4回授業内容の予習(30分) 復習:第4回授業内容の復習(30分)
5	小テスト 文法 導入・練習	予習:第5回授業内容の予習(30分) 復習:第5回授業内容の復習(30分)
6	小テスト 文法 導入・練習	予習:第6回授業内容の予習(30分) 復習:第6回授業内容の復習(30分)
7	小テスト 文法 導入・練習	予習:第7回授業内容の予習(30分) 復習:第7回授業内容の復習(30分)
8	小テスト 文法 導入・練習	予習:第8回授業内容の予習(30分) 復習:第8回授業内容の復習(30分)
9	小テスト 文法 導入・練習	予習:第9回授業内容の予習(30分) 復習:第9回授業内容の復習(30分)
10	小テスト 文法 導入・練習	予習:第10回授業内容の予習(30分) 復習:第10回授業内容の復習(30分)
11	模擬試験 文法 導入・練習	予習:第11回授業内容の予習(30分) 復習:第11回授業内容の復習(30分)
12	小テスト 文法 導入・練習	予習:第12回授業内容の予習(30分) 復習:第12回授業内容の復習(30分)
13	小テスト 文法 導入・練習	予習:第13回授業内容の予習(30分) 復習:第13回授業内容の復習(30分)
14	小テスト 文法 導入・練習	予習:第14回授業内容の予習(30分) 復習:第14回授業内容の復習(30分)
15	総復習総まとめ	予習:第15回授業内容の予習(30分) 復習:第15回授業内容の復習(30分)

科目名	検定文字語彙				
担当者氏名	高向有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ					

《授業の概要》

N3からN2レベルの教科書に沿って授業を進めます。3000~6000語を習得するためには自宅学習が必須です。予習・復習に時間をかけ、授業では語彙の運用と確認と応用小テストの繰り返しで力をつけていきましょう。語彙力は日本語力向上の第一歩です。

《授業の到達目標》

- ・日本語能力試験N3~N2レベルの漢字を読むことができる。
- ・N3~N2レベルの語彙の意味を調べ、短い文の中で使うことができる。
- ・名詞・基本動詞などは、自分で調べ、不明な点を教師に質問できる。
- ・日本語能力試験合格を目指し、自主的に取り組むことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート % 課題 30% 実技 % 授業の取組 30% その他(模試) 10%

《教科書》

新完全マスター語彙 日本語能力試験 (スリーエーネットワーク)クラスレベルによってN2またはN3

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 小テスト、模擬試験は翌週にフィードバックします。

《成績評価基準》

- ・日本語能力試験N3~2レベルの漢字が読めるか。
- ・N3~2レベルの語彙の意味を調べ、短い文の中で使えるか。
- ・名詞・基本動詞は自分で調べ、不明な点を教師に質問できるか。
- ・日本語能力試験合格を目指し自主的に取り組めるか。

《参考図書》

日本語能力試験関連問題集

《按美計画》		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	力テスト	予習:実力テスト準備 1時間 復習:実力テスト復習 30分
2	会1)	予習:語彙(社会1)30分 復習:語彙(社会1)30分
3		予習:語彙(社会2)30分 復習:語彙(社会2)30分
4	小テスト、語彙(社会3) ・短文作成	予習:語彙(社会3)30分 復習:語彙(社会3)30分
5		予習:語彙(自然)30分 復習:語彙(自然)30分
6		予習:語彙(和語動詞)30分 復習:語彙(和語動詞)30分
7		予習:語彙(漢語動詞)30分 復習:語彙(漢語動詞)30分
8	日本語能力試験模擬試験	予習:模試準備 1時間 復習:模試復習 1時間
9		予習:語彙(形容詞)30分 復習:語彙(形容詞)30分
10	語彙(副詞)、短文作成	予習:語彙(副詞)30分 復習:語彙(副詞)30分
11		予習:語彙(オノマトペ)30分 復習:語彙(オノマトペ)30分
12	語彙(漢語)、短文作成	予習:語彙(漢語)30分 復習:語彙(漢語)30分
13	え類義)短文作成	予習:語彙(言い換え類義)30分 復習:語彙(言い換え類義)30分
14	語彙(語形成)、短文作 成	予習:語彙(語形成)30分 復習:語彙(語形成)30分
15	試験、まとめ	予習:期末準備 2時間
	-	

科目名	アジア文化交流史				
担当者氏名	永吉 美知子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力				

《授業の概要》

日本との長い文化交流を時系列に紹介する 理解を深めるために 様々な資料やパワーポイントなどを 用いる

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 小テストと課題レポートの提出

《授業の到達目標》

文化交流がもたらされた歴史の必然性を理解する 過去の歴史が現代に影響し 未来を形づくることを意識化 させる

《成績評価基準》

授業中の態度 小テスト 評価テスト

《成績評価の方法》

筆記試験70 % レポート % 課題 % 実技 % 授業の取組30 % その他() %

《参考図書》

なし

《拇举計画》

《授業計画》		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 農業革命	復習 縄文と弥生時代 (2時間)
2	古墳時代	予習 奈良へのながれ(2時間) 復習 弥生までの流れ(2時間)
3	飛鳥から奈良時代 遣隋使 遣唐使	予習 平安時代(2時間) 復習 中国との往来がかえたもの(2時間)
4	奈良時代 仏教文化	予習 平安時代(2時間) 復習 奈良時代を終わらせたもの(2時間)
5	平安時代 国風文化	予習 鎌倉時代(2時間) 復習 平安時代の貴族の政治(2時間)
6	鎌倉時代 武士と元寇	予習 室町時代(2時間) 復習 武士が変えた社会 元寇の影響
7	室町時代 文化	予習 安土桃山(2時間) 復習 室町文化(2時間)
8	安土桃山 鉄砲伝来	予習 江戸時代(2時間) 復習 なぜ鉄砲は日本へきたかの(2時間)
9	江戸時代 鎖国と江戸文化	予習 明治 (2時間) 復習 なぜ鎖国をしたのか (2時間)
10	江戸時代 明治維新 黒船が日本へ	予習 大正時代(2時間) 復習 なぜ黒船は日本へ(2時間)
11	明治時代 大正時代	予習 昭和時代(2時間) 復習 大正時代(2時間)
12	条約改正	予習 敗戦後の日本(2時間) 復習 原爆投下までの道(2時間)
13	第二次世界大戦へ	復習 全体の流れを把握する(4時間)
14	敗戦から現代	復習 対策テストの理解 (4時間)
15	評価テスト	自宅で復習

科目名	ビジネスコミュニケーション					
担当者氏名	高藤・純子、井上・しづ恵					
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期	
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力					

《授業の概要》

社会に出る前に常識として知っておかなければならない時事用 語やビジネス用語がある。先ずそういった常識を学び、知識を 得る。読解を中心に行い表やグラフなどを分析し、新聞記事や ビジネス文書を読めるようにする。

* 学生の興味・習熟度を優先し内容を変更することもある。

《授業の到達目標》

- ・インターシップ前におさえておきたいビジネス知識やビジネ スマナーを理解することができる。
 ・仕事に役立つ論理力を養うことができる。
- ・時事用語やビジネス用語を理解することができる。
- ・表やグラフを見て、問題発見や分析ができる。

《教科書》

ハンドアウト

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 授業内で演習をし、解説する。

《成績評価基準》

授業での演習を通して思考力、分析力を身につけることができ たかを評価する。 授業内での積極性を評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート % 課題 % 実技 % 授業の取組 60% その他() %

《参考図書》

適宜紹介する

//松米+T==://

《授業計画》	1	
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
2	キャリアと仕事へのアプ ローチ	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
3	仕事の基本となる8つの意識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
4	コミュニケーションとビ ジネスマナーの基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
5	指示の受け方と報告、連 絡・相談	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
6	話し方と聞き方のポイント	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
7	来客応対と訪問の基本マ ナー	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
8	仕事への取り組み方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
9	ビジネス文書の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
10	電話応対	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
11	統計・データの読み方・ まとめ方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
12	情報収集とメディアの活 用	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
13	会社を取り巻く環境と経 済の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
14	ビジネス用語の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
15	知識・読解・分析などの 総括	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する

科目名	ビジネスプレゼンテーション					
担当者氏名	志田 華奈子、高藤 純子					
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期	
ディプロマポリ 重点的に身につ						

《授業の概要》

プレゼンテーションは、授業での口頭発表、就活、仕事上の 企画や報告など様々な場面で必要とされるスキルである。また プレゼンテーションには、発表のテクニックだけではなく、論 理的思考および文章力も必要になる。この授業ではプレゼンテーションとは何かを理解し、伝えたいことを論理的に考察し、 適切な音声・スライド・文章表現などを身につけて発表できる スキルを身につける。

《授業の到達目標》

- ・目的に応じて効果的な文章表現を作成し、プレゼンテーションを設計することができる。
- ・聴き手を意識したわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができる。
- ・文章作成や発表を通して、適切な音声やスピードで人前で話すスキルや批評力を身につける。

《成績評価の方法》

授業内発表 40% 課題 30% 授業の取組 30%

《教科書》

適宜プリントを配布する。

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 コメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

- ・目的に応じて効果的な文章表現を作成し、プレゼンテーションを設計することができたか。
- ・聴き手を意識したわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができたか。
- ・文章作成や発表を通して、適切な音声やスピードで人前で話すスキルや批評力を身につけることができたか。

《参考図書》

『1分で話せ』伊藤羊一(SBクリエイティブ)

『大学生のための日本語表現トレーニング』橋本修(三省堂)

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
2	本	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
3	本 (PREP法)	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
4	本 (根拠とは)	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
5	マの動機付け)	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
6	構成の作り方)	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
7	作成)	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
8	ョン作成)	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
9	実習 (中間発表)	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
10	相手に伝わる話し方	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
11	クニック	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
12	クニック	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
13	クニック	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
14		予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
15	発表評価と振り返り 	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)

科目名	実践的プログラミング演習					
担当者氏名	柿山 達哉、常岡 直樹					
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期	
ディプロマポリ 重点的に身につ						

《授業の概要》

Windows操作の基礎 メール操作の基礎 Excel操作の基礎 実社会でのパソコンの利用例体験 プログラムの基礎 上記内容を中心に総合的な活用術を習得する。 週ごとのテーマは学生の理解度に合わせて変更する。

《授業の到達目標》

2年間でパソコンを実際に活用できる力を身に着けることが目標。

演習 ではその入口として基礎力を身に着ける事を目標とする

まずはパソコンを好きになることと何を実現したいかをイメージできることも目標。

《成績評価の方法》

課題60% 授業の取組40%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義毎に課題を出し、提出された課題の評価で成績を評価する。毎回の積み上げなので、出席率の低下と課題の提出率の低下 は比例するため、出席率が悪いと評価は下がる。

《成績評価基準》

- ・講義に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・課題を理解して自分の力として身に着けることができたか。
- ・講義を楽しむことができたか。

《参考図書》

講義の内容にあわせて、各種説明資料等を講師が作成し配布する。

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	前期講義の概要説明 パソコン活用術	予習:なし 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	パソコン活用術	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	エクセルの基本操作	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	エクセルの計算式と関数	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	マクロ・VBAとは VBAで何ができるのか	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	マクロ・V B A エクセルのセルの操作	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	マクロ・V B A エクセルのセルの操作	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	マクロ・VBA 変数と繰り返しと条件式	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	マクロ・VBA 変数と繰り返しと条件式	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	マクロ・VBA 変数と繰り返しと条件式	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	マクロ・VBA 変数と繰り返しと条件式	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	マクロ・VBA 変数と繰り返しと条件式	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	マクロ・VBA ブック、シート、セル	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	マクロ・VBA ブック、シート、セル	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	マクロ・VBA ブック、シート、セル	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)

1 年後期

科目名	英語				
担当者氏名	西村 紀子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP1 社会人と(しての教養と豊かな人間性を備 え	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。

《授業の概要》

基礎文法の復習を行い、使える英語の知識を確立する。 Audio教材を使ったフレーズ練習により、日常会話での表現を 学び、抵抗なく発話する力を身につける。 毎回語彙テストを行い、語彙・熟語を増やすことを心掛け、 TOEICや英検などの資格試験の取得も視野に入れて取り組む。

《授業の到達目標》

英語 で学んだ基礎文法を応用して活用できるようにする。 基礎文法をさらに学び、日常の身の回りの事柄について、自分 の言葉で発話できるようにする。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート - % 課題 - % 実技 - % 授業の取組 35% その他(提出物) 35%

《教科書》

プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 期末試験のフィードバックは希望に応じて行います。

《成績評価基準》

基礎文法の応用力が身についているか。 身の回りの事柄について、自分の言葉で発信し説明できるか。 応用に必要な基本的語彙が身についているか。

《参考図書》

「英会話の基本文型87」

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
2	_	復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
3		復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
4	受動態	予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
5		予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
6		復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
7		予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
8	現在分詞	予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
9		予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
10		予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
11	関係代名詞 (主格)	予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
12	関係代名詞(目的格)	予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
13	関係代名詞演習	予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
14	後期学習内容の総復習	予習:課題語彙(30分) 復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)
15	後期学習内容の理解確認	復習:学習した項目の整理・応用問題(30分)

科目名	ポートフォリオデザイン					
担当者氏名	永島 知子、厚川 亮介、西川 真水、久保田 家且、宮島 淳二、髙宮 さやか、山本 俊光					
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期	
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力	1-DP1 社会人と	しての教養と豊かな人間性を備ん	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。	

《授業の概要》

2年間という短い時間の中でプロフェッショナルとして成長するために は、学んだことをただ「やった」・「できた」・「終わった」で 済まさず、さらにまとめ(復習し)、評価し、さらに課題を見つけ出す(予習)につなげることが大切です。そして、間もなく就職・進学という場面を迎えます。いかにプレゼンテーションして いくかが重要です。自身を振り返り、就職活動に活用できるポ ートフォリオを作成しましょう。

《授業の到達目標》

- ・自分がこれまでにやってきた様々な体験を整理することが きる。
- ・自分自身のポートフォリオをまとめ、作成することができる
- ・就職活動に向けて準備を行うことができる。 ・10年後、20年後も充実した生活を送ることができるような人 生設計を行うことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート % 課題 50% 実技 % 授業の取組 50%) % その他(

《教科書》

プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や解説の時間を設ける。

課題(実習のまとめ、表紙等のポートフォリオ)の返却は2週 間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

主に授業の取組と課題提出によるが、授業の取組(参加姿勢)50%、課題提出(ポートフォリオ課題提出)50%で評価する

《参考図書》

「就職活動ハンドブック」(株式会社ディスコ)

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	自己分析	シラバスに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
2		配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
3		配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
4		配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
5	履歴書の書き方	配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
6	の基本と表紙のデザイン	配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
7		配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
8		配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
9	メイクアップ講座	配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
10	のまとめ	配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
11		配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
12		配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
13	から学ぶ/業界の話題	配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
14	編)	配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)
15		配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間)

科目名	ランドスケープデザイン論					
担当者氏名	西川 真水					
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期	
			」を学び地域に貢献できる	技術を習得しているこ	と。	

《授業の概要》

私達を取り巻く環境は大きく「自然環境」と「社会(人文)環 境」とに分けられる。緑地環境・造園・ランドスケープの職能 域は、この二つの良好な関係を形成していくことに独自性があ る。本講義では「モノ」のデザインに終わらない「コト」という状況・現象のデザインとしてのランドスケープデザイン、農 村や生物の生息空間から地域、建築、インテリア、プロダクト 、最後に国内外のランドスケープデザインまでを横断する。

《授業の到達目標》

造園・ランドスケープのデザインを行うための基礎的なボキ ャブラリーの意味を説明できる。

空間・環境におけるデザインの考え方、デザインプロセスの 事例や方法の知識を学び、説明できる。

ランドスケープ・外部空間・緑のデザインのあり方や技術に ついて理解し、説明できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 70% 授業の取組 30%

《教科書》

プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 提出されたノートは、問題点や評価点などを記載し返却する。

《成績評価基準》

それぞれ到達目標に対しての配分として 30% 30% 40%を 目安とする。

毎回講義で配布する講義ノートを最終講義終了後提出し評価す る。 ノートは講義中の記録、キーワード、講義中わからなかった言葉や事項について調べてあるか、レイアウト・記録方法を 評価する。

《参考図書》

「ランドスケープデザインの視座」宮城俊作/学芸出版社

《授業計画》 週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
	イントロダクション	予習:講義要項を熟読しておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
2	ランドスケープの世界1:自然 環境とその捉え方	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
3	ランドスケープの世界2:人文 ・社会環境とその捉え方	予習:前回の講義ノートの確認 (2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく (2時間)
4	ランドスケープエコロジー:自然・ 共生、緑地・生物	予習:前回の講義ノートの確認 (2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく (2時間)
5	都市近郊農村と環境のデ ザイン、都市の水環境	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
6	景観と文化の多様性:庭 園の空間デザイン事例	予習:前回の講義ノートの確認 (2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく (2時間)
7	都市環境とデザイン:地域 計画とランドスケープデザイン	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
8	都市環境とデザイン:建 築・アーバンデザイン	予習:前回の講義ノートの確認 (2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく (2時間)
9	身の回りのデザイン:インテリア 、プロダクトデザインと環境	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
10	地形とランドスケープの デザイン	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
11	都市・住居と環境のデザイン	予習:前回の講義ノートの確認 (2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく (2時間)
12	ランドスケープデザイン とスケール	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
13	ランドスケープデザイン の形態操作と概念操作	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
14	ランドスケープデザイン の用強美	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
15	まとめ	予習:前回までの講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートのまとめ(2時間)

科目名	緑地計画学				
担当者氏名	包清 博之				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP3 「環境	」を学び地域に貢献できる	技術を習得しているこ	ک .

《授業の概要》

1. 本講義では、地球規模ではなく地域の良好な都市環境の形成を図り、健康で文化的な都市生活の場の確保に寄与する緑地の計画を論じる。 2. 人口減グや少子高齢化社会に対応する緑地の将来展望についても論じる。

《教科書》

プリントを配布する。

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 レポート等は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

- 1. 公園の原型から我が国の緑地の整備までの変遷を学び理解する。
- 2. 緑地の意義及び制度等を理解するとともに、各種緑地の計画と確保手法等を学び理解する。
- 3. ヒートアイランド現象の緩和やグリーンインフラの問題等都市の環境問題への対応もできる知識を習得する。以上のことを目標とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 30% 授業の取組 10%

《成績評価基準》

筆記試験、レポート及び受講態度で評価する。

《参考図書》

「都市緑地の計画と設計」内山正雄 (株)彰国社、「都市緑地の創造」平田富士夫 (株)朝倉書店

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
2	緑地の変遷	予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
3	緑地の変遷	予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
4	緑地の定義と機能・効果	予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
5	緑地の定義と機能・効果	予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
6	緑地制度 (規制)	予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
7	緑地制度 (規制)	予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
8		予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
9	緑地制度 (事業)続き	予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
10	緑地制度 (事業)	予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
11	緑地制度 (事業)続き	予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
12		予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
13		予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
14		予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
15	まとめ	予習:都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)

科目名	庭園設計論				
担当者氏名	(未定)				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力	1-DP3 「環境	」を学び地域に貢献できる	技術を習得しているこ	<u>ځ.</u>

《授業の概要》

- 1.多くの庭園を設計した経験を活かし、我が国の伝統的日本庭園を構成する諸施設や庭園材料並びに設計手法の詳細を講義する。
- 2. さらに、実際に設計した庭園の実例を紹介するとともに、その整備された庭園を見せながら講義を行う。

《授業の到達目標》

- 1.日本庭園と西洋庭園との相違点や日本庭園の様式及び基本的技法等の知識を習得する。
- 2. 庭園設計に必要な基礎調査や設計手法を学び・習得することで、単に庭園を整備するだけでなく、庭園の設計もできるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 30% 課題 % 実技 % 授業の取組 10% その他() %

《教科書》

・プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

・レポート等は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

- ・日本庭園と西洋庭園との相違点を説明することができたか。
- ・日本庭園の様式や基本的技法及び諸施設を説明することができたか。
- ・日本庭園の設計手法を説明することができたか。

《参考図書》

- 「日本の庭園」進士五十八 中央公論新社
- 「造園施工管理技術編」(一社)日本公園緑地協会

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス、 庭園概論	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)
2	日本庭園の様式	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)
3	日本庭園の基本的技法	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)
4	庭園材料	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)
5	庭園施設、工作物	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)
6	庭園設計	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)
7	庭園設計	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)
8	庭園設計	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)
9	庭園設計	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)
10	庭園設計の実際	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)
11	庭園設計の実際	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)
12	庭園見学	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)
13	庭園設計の実際	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)
14	庭園設計の実際	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)
15	まとめ	予習:日本庭園に関する書籍等により予習をしておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだことを復習すること。(2時間)

科目名	樹木学実習					
担当者氏名	厚川 亮介、小才 寛康					
授業方法	実習	実習 単位・必選 1単位・必修 開講年次・開講期 1年・後期				
ディプロマポリ 重点的に身につ			∪ての教養と豊かな人間性を備だ 『高度な「作庭技術」や「快運			

《授業の概要》

- 1. 二丈キャンパス樹木園において、「科・属」毎に主要樹種 について、鑑定・植栽・育成・管理・鑑賞・造園的用途、暮ら し産業的用途等について修得していく。
- 2. 樹木の押し葉並びに、樹木特性データシートを指定用紙で セットで制作する。
- 3. 実物鑑定試験を実施し、修得度のみえる化・自覚化につと める。

《授業の到達目標》

- 1.科・属的視点で、樹木の体系的分類がとらえることができ るようになる。
- 2. 実習場での実物識別研修により、樹木鑑定ができるように なる。
- 3. 社会的ニーズやヒューマンニーズを的確に把握するとともに、豊かなリソーシズにてリーズナブルな植栽計画を提示でき るようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 20% レポート 20% 課題 30% 授業の取組 10% その他(実物試験) 20%

《教科書》

「樹木ガイドブック」上原敬二、朝倉書店 「改訂造園施工管理 技術編」日本公園緑地協会

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・樹木実物鑑定試験では、70点以上取得できるまで、当日内に 連続して受験させて、実力を向上させる。
 ・「押し葉&データシート」課題(全50種)では、1枚(表面
- ・裏面)ずつの面談チェックを行なう。

《成績評価基準》

(到達目標1、2、3共通)

- ・90~10 極めて達成
- ・80~89 かなり達成
- ・70~79 普通に達成
- ・60~69 まあ達成
- ・59以下 達成できていない

《参考図書》

「日本の樹木」林弥栄監修、山と渓谷社 「ランドスケーププランツ」浅野二郎ら監修、ワールド出版

「小学館の図鑑・NEO 植物」小学館

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
旭		
1		予習:あらかじめ予告の指定テキストページ / 2時間
		復習:指定様式・用紙の「授業日報」等 / 2時間
2		予習: "
2	ータシート」制作開始	復習: "
	樹木各論:まつ科、ひの	予習: #
3		復習: "
	樹木園樹木マップ、樹木	予習: "
4		復習:#
-	樹木各論:にれ科、もく	予習: "
5		(1) 自 . " 復習:"
6	" :くすのき科、ゆ	
Ŭ		復習:〃
7	樹木園樹木マップ、樹木	予習: "
	ラベル制作管理	復習: "
	樹木各論:ばら科、他	予習:#
8		復習: "
	〃:まめ科、むくろじ科	予習:#
9	、他	復習: "
	樹木園樹木マップ、樹木	予習: "
10		復習:"
	樹木各論:もくせい科、	予習: "
11		 復習:
12	":すいかずら科、	予習: #
12	他	復習:〃
40	応用樹木実習(樹木活用	予習: #
13	リース創り、他)	復習: "
	樹木実物鑑定試験	予習: "
14		復習: "
	植栽用途別・耐性別・適	予習: "
15	性別まとめ	復習:"
	エルスとい	X

科目名	植物病理学				
担当者氏名	清水 進				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ			∪ての教養と豊かな人間性を備え 」を学び地域に貢献できる		

《授業の概要》

植物と病原との相互関係を中心に植物の病気について説明します。また、植物の病気の診断法および植物の病気に対する防御戦略を解説致します。動物と同じように植物にも病気があります。身近な植物の病気を材料に講義を致しますので、積極的に授業に参加して下さい。

《授業の到達目標》

植物を取り扱う上で必要な、植物の病害の原因、発生する諸条件、病気の防除方法といった病理学の基礎的な知識の習得を目指します。このことにより、植物の病気の診断ができ、より効果的な防除法の選択が可能になる。

《成績評価の方法》

筆記試験 80% 授業の取組 20%

《教科書》

「最新・樹木医の手引き」日本緑化センター

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

植物の病害の原因、発生する諸条件、病気の防除方法の理解度 (筆記試験)と授業への取組により評価する。

《参考図書》

「植物病理学」東京化学同人

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	植物の病気と人間生活(1)	予習:植物の健康状態の観察・2時間 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間
2	"(2)	予習:ジャガイモ疫病・2時間 復習:植物の健康・2時間
3	"(3)	予習:イネいもち病・2時間 復習:ジャガイモ疫病・2時間
4	発病とは、病徴と標徴	予習:病徴と標徴・2時間 復習:イネいもち病・2時間
5	感染メカニズム、伝染	予習:感染メカニズム・2時間 復習:病徴と標徴・2時間
6	病原の種類と特徴(1)	予習:ウイルスとは・2時間 復習:感染メカニズム・2時間
7	"(2)	予習:細菌とは・2時間 復習:ウイルスとは・2時間
8	"(3)	予習:菌類とは・2時間 復習:細菌とは・2時間
9	環境条件と病気の発生	予習:環境条件と病気・2時間 復習:菌類とは・2時間
10	病気の診断	予習:病気の診断法・2時間 復習:環境条件と病気・2時間
11	主な植物の病害と防除法(1)	予習:ウイルス病防除・2時間 復習:病気の診断法・2時間
12	"(2)	予習:細菌病坊所・2時間 復習:ウイルス病防除・2時間
13	"(3)	予習:菌類病防除・2時間 復習:細菌病坊所・2時間
14	まとめ(1)	予習:各種病原の特徴・2時間 復習:菌類病防除・2時間
15	"(2)	予習:主な病害の防除法・2時間 復習:各種病原の特徴・2時間

科目名	造園土木材料論				
担当者氏名	宮本 淑子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP1 社会人と(」ての教養と豊かな人間性を備 え	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。

《授業の概要》

造園植物以外の造園で使用する全ての材料を対象に、種別ごとの特徴や性質を論じるとともに、写真等を提示しながら、教員及び学生同士のコミュニケーションを図る。 更に、授業の後半には庭園現地調査を行い、知識で得たものの

更に、授業の後半には庭園現地調査を行い、知識で得たものの 実際に確認するなど、造園土木に関する材料に対する興味と知 識を深めることを目的とする。

《授業の到達目標》

造園樹木以外の造園及び土木材料の種類や性質などを理解し、造園設計や施工する際に適切な材料と、これから将来にむけて持続可能なもの(SDGS)も踏まえた柔軟な考え方で材料を選択できる造園家を目指した知識の習得を目標とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 80% レポート 10% 課題 % 実技 % 授業の取組 10% その他() %

《教科書》

「造園施工管理技術編」 日本公園緑地協会造園施工管理委員会編 適宜、プリントを配布

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 現地調査ではレポートの提出を課すが、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

主に筆記試験によるが、現地調査等の課題提出10%で評価する

《参考図書》

適宜、紹介する。

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	土と土壌	教科書とシラバスに目を通し、関連項目を確認する(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	土壌改良材	教科書「造園施工管理技術編」P.165~170を熟読しておくこと(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
0	石材 石造添景物等の加工品	教科書「造園施工管理技術編」P.171~186を熟読しておくこと(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
	木材 木材の防腐処理と加工品	教科書「造園施工管理技術編」P.187~192を熟読しておくこと(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
	竹材 金属材料	教科書「造園施工管理技術編」P.196~202を熟読しておくこと(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
· ·	セメント コンクリート	教科書「造園施工管理技術編」P.203~207を熟読しておくこと(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	コンクリート二次製品	教科書「造園施工管理技術編」P.212~213を熟読しておくこと(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	合成樹脂材料	教科書「造園施工管理技術編」P.217~216を熟読しておくこと(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9 1	接着剤 レンガ、タイル等	教科書「造園施工管理技術編」P.221~225を熟読しておくこと(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
	塗料 アスファルト等	教科書「造園施工管理技術編」P.225~233を熟読しておくこと(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
	その他結束材料 電気、給水施設材料	教科書「造園施工管理技術編」P.234~236を熟読しておくこと(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	現地調査	今まで写真や図で見たもの(第1回から第11回まで)を再確認しておく(2時間)
13	現地調査	今まで写真や図で見たもの(第1回から第11回まで)を再確認しておく(2時間)
1 /	現地調査を踏まえての 振り返り	教科書「造園施工管理技術編」P.154~236を熟読しておくこと(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	まとめ	授業の1回目から14回目の総復習。

科目名	エコロジー概論				
担当者氏名	厚川 亮介				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力			しての教養と豊かな人間性を備え 」を学び地域に貢献できる		

《授業の概要》

植物などの生物を扱う緑地環境のデザインや管理には生態学の素養が必要であるため、生物の構造や機能、生物相互の関係や進化の歴史、生物とそれを取り巻く環境、人間生活と生物との歴史的な関係について解説した上で、生態学を意識した緑地環境の造成と管理の例として「ビオトープ」について解説する。本学科が樹木学に重きを置くことから林業という側面にも触れながら「森林生態学」を解説する。

《授業の到達目標》

エコロジーを理解する上で必要な用語の意味を理解し、その用語を使って的確な文章表現ができるようになる。 実際に造園設計や花壇設計を行う中で、「エコロジー」を意識 した設計ができるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 40%

《教科書》

「絵でわかる生態系のしくみ」鷲谷いずみ、講談社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポートは提出後速やかに採点し、コメントを添えて返却するとともに、返却後、回答例を授業で解説する。

《成績評価基準》

・レポート

期限内に提出し、80%を超える正答率であること。

・筆記試験

筆記試験のみで評価はできない。レポートの成績と合算して60%以上の得点であること。

《参考図書》

「生態学入門」原口昭編著、生物研究社

「グリーンセイバー 植物と自然の基礎を学ぶ」岩槻那津男監修、研成社、「樹木医の手引き」(財)日本緑化センター

週	授業のテーマ	文 羽九宏/吐眼)。
旭		予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス 身近な自 然に目を向ける力	予習:生態学に関する書籍、ニュース等から予習しておく(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
2	草と木の形と生活	予習:教科書「光を求める/避ける、植物の順化」、「土壌シードバンク」の頁に目を通しておくこと(2時間)復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
3		予習:生態学に関する書籍ニュース等から予習しておく(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
4	世界の森林・日本の森林	予習:教科書「バイオーム」、「日本のバイオーム」の頁に目を通しておくこと(2時間)復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
5		予習:教科書「バイオーム」、「日本のバイオーム」の頁に目を通しておくこと(2時間)復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
6	植生遷移・自然林と二次 林	予習:教科書「クレメンツと遷移説」「遷移と遷移説」「拡大造林がもたらした生態系の不健全化」目を通しておく(2時間)復習:今回学んだ内容を復習しておく(2時間)
7	里山生態系と竹林拡大問 題	予習:教科書「氾濫原の自然と水田」、「植物資源の利用管理と生物多様性」の頁に目を通しておくこと(2時間)復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
8	物質循環とエネルギーの 流れ	予習:「窒素が循環する生 態系」「炭素の貯留と循環」「生態系を流れるエネル ギー」に目を通しておく(2時間)復習:今回学んだ内容を復習しておく(2時間)
9	生物濃縮と江戸の循環型 社会	予習:参考書等から予習しておく(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
10	適応・生物間相互作用	予習:「動物の温度環境への適応」「共生関係を豊かにした生態系」等に目を通しておく(2時間)復習:今回学んだ内容を復習しておく(2時間)
11	松枯れにみられる複雑な 共生関係	予習:「樹木医の手引き」等樹木の病害に関する参考書に目を通しておく(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
12	生物の多様性と外来生物	予習:教科書「外来種はなぜ強い」、「外来種によるさまざまな影響」に目を通しておくこと(2時間)復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
13	生物多様性と絶滅危惧種	予習:教科書「絶滅のおそれのある動植物」、「日本での絶滅のおそれの高まり」に目を通しておくこと(2時間)復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
14		予習:教科書「生態系修復 = 自然再生の先駆け」~「富栄養化と流域における生態系修復」に目を通しておく(2時間)復習:今回学んだ内容を復習しておく(2時間)
15	まとめ	予習:教科書、配布資料、ノートなどに目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)

科目名	草花と園芸				
担当者氏名	山本 俊光				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP1 社会人と(しての教養と豊かな人間性を備 え	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。

《授業の概要》

草花を中心として、園芸学の基本的な理解を図る。

《教科書》

農学基礎シリーズ『園芸学の基礎』鈴木正彦編著者2021農山漁村文化協会

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 課題を行った場合は、返答し考え方を説明する。

《授業の到達目標》

- 1 植物の性質及び植物が育つ条件を原生地から見通すことができるようになる
- 2 植物の性質及び植物が育つ条件を生理学から考えられるようになる
- 3 植物の器官について基礎的な名称、役割が理解できる
- 4 日本の園芸の発達について基礎的な素養を身につける

《成績評価基準》

植物について理解が深まったかどうか、筆記試験にて評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 80% レポート % 課題 % 実技 % 授業の取組 % その他 (ノート) 20%

《参考図書》

『園芸・植物用語集』(土橋豊)淡交社

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。
2	日本の園芸の発達と現状	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。
3	園芸植物の分類	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。
4	植物の成長と環境1	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。
5	植物の成長と環境 2	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。
6	植物の器官1	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。
7	植物の器官 2	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。
8	植物の器官3	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。
9	植物の器官4	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。
10	植物の器官 5	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。
11	植物の生理 1	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。
12	植物の生理 2	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。
13	植物の学名	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。
14	ガーデンテクニック	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。
15	まとめ	植物図鑑や教科書に目を通す(1時間) 学習した内容の部分を整理し、教科書に目を通す(1時間)。

科目名	緑地管理実習	緑地管理実習			
担当者氏名	髙宮 さやか、山本 俊光、小才 寛康、厚川 亮介				
授業方法	実習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		」を学び地域に貢献できる 「高度な「作庭技術」や「快適		

《授業の概要》

二丈キャンパスおよび福浜キャンパス内の剪定、植栽等の年間 作業を通して、各季節ごとに必要な維持管理を学ぶ。また学外 での生産地見学、公園見学等により維持管理の現場と実際を学 び、森林での植生調査により植生を学ぶ。

《授業の到達目標》

本実習は花と緑の緑地環境の維持管理の視点から緑地の管理技術・技能を実際の作業を通して学ぶ。

時間の制約上、植物の生理生態の基礎の実地と栽培管理、庭園を管理するための基本的実技、花を中心とした彩のある空間管理、植物以外の生き物のための空間管理を学ぶことに力点を置く。また総合実習と連携した実習を行うことで効果的に管理の知識と技術を身につけることを目標とする。

《成績評価の方法》

レポート 30% 実技 20% 授業の取組 50%

《教科書》

なし

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 レポートを添削し2週間以内に返却する。

《成績評価基準》

受講態度と技術習得の度合いとレポートの作成と提出を総合的 に評価する。

《参考図書》

厚生労働省職業能力開発局技能振興課監修・全国造園技能検 定推進委員会発行『造園施工必携』 花葉会編集・講談社発行 『フラワーランドスケーピング』

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	花壇整備	予習:雑草の種名を10種程度調べておく(2時間) 復習:除草した雑草の特徴をまとめる(2時間)
2	見学実習	予習:見学予定地について下調べをしておく(2時間) 復習:見学した内容のレポート作成(2時間)
3	見学実習	予習:見学予定地について下調べをしておく(2時間) 復習:見学した内容のレポート作成(2時間)
4	草花園芸	予習:使用する花苗の科名や原産地等の基礎情報を調査(2時間) 復習:使用した花苗の特徴をまとめる(2時間)
5		予習:樹木の根系について調べておく(2時間) 復習:掘った根の写真を他種と比較する(2時間)
6		予習:自然樹形のマツと仕立物のマツを観察しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
7	病虫害防除	予習:身近な樹木の病徴を観察する(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
8	小空間の造形 (施工)	予習:今回施工する内容を図面から読み取っておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
9	小空間の造形(施工)	予習:使用する材料の特性を調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
10	小空間の造形(施工)	予習:使用する材料の特性を調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
11	小空間の造形(施工)	予習:構造物の基礎について、一般的な設計をみておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
12	小空間の造形(施工)	予習:庭園内のサインのいろいろなデザインを調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
13	小空間の造形 (施工)	予習:庭園によく使われる樹種を調べる(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
14	小空間の造形 (施工)	予習:出来上がった空間の維持管理を推測する(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
15	小空間の造形(施工)	予習:計画と竣工を比較し変更箇所を確認しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)

科目名	企業実習				
担当者氏名	(専任)				
授業方法	実習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP1 社会人と	しての教養と豊かな人間性を備 <i>え</i>	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。

《授業の概要》

実務を通じて造園・園芸・自然環境など緑地技術・技能・知識のレベルアップにつなげる。 業界の最新知識や動向を得る。 企業の実践的な考え方と仕事の進め方を習得する。社会人としての心構えおよびビジネスマナーを習得する。就職活動の一環等を目的に造園・ガーデン・エクステリアの設計・施工・管理運営・園芸栽培・販売など、造園・園芸・自然環境に関連する分野での実習を行う。

《授業の到達目標》

企業実習を通じてキャリアデザインを明確にすることができる

《成績評価の方法》 その他(報告書・日報等) 100%

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実習報告書、実習日報は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

評価は研修先の受け入れ担当者の評価(実習評価表)と実習報告書、実習日報をもとに担当教員が学則27条の規定に基づいて評価を行う。

《参考図書》

「短大生の就活編」株式会社ディスコ

【按集計画》		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	事前研修・安全教育	予習:企業研究をすること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
2	企業との打ち合わせ	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
3	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
4	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
5	修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
6	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
7		予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
8	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
9	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
10	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
11		予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
12	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
13	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
14	修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
15	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
	1	

科目名	検定読解				
担当者氏名	(未定)				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力				

《授業の概要》 《教科書》

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

《成績評価基準》

《成績評価の方法》

 (双線計画やバス)

 筆記試験
 % レポート %

 課題
 % 実技 %

 授業の取組
 % その他() %

《参考図書》

《授業計画》		·
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名	検定文法				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力				

《授業の概要》

留学生が日本の生活で必要な日本語能力を上げるためには、文 法を身につけることが必要になります。授業の中で、文法の理 解を深めながら繰り返し練習をしていきましょう。

この授業は、復習がとても重要です。授業のあとは必ず復習を してください。また毎回の小テストを通して、自分の苦手なと ころをよく確認し、日本語能力のレベルアップにつなげてくだ さい。

《授業の到達目標》

- ・授業で学んだ日本語文法をよく理解し、文を作ることができ
- ・日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。

《成績評価の方法》

- ・期末試験50%
- ・小テスト・課題30%
- ・授業への取り組み20%

《教科書》

『TRY!日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語』(アスク 出版)

(レベルによってN2またはN3)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・毎週小テストを行い、翌週フィードバックを行う。 ・毎週、宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《成績評価基準》

- ・まじめに授業に取り組んでいたか。
- ・授業で取り上げた文法をよく理解し、文法力が向上できたか
- ・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるよ うになったか。

《参考図書》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 文法 導入・練習	予習:テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習:第1回授業内容の復習(30分)
2	小テスト 文法 導入・練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
3	小テスト 文法 導入・練習	予習:第3回授業内容の予習(30分) 復習:第3回授業内容の復習(30分)
4	小テスト 文法 導入・練習	予習:第4回授業内容の予習(30分) 復習:第4回授業内容の復習(30分)
5	小テスト 文法 導入・練習	予習:第5回授業内容の予習(30分) 復習:第5回授業内容の復習(30分)
6	小テスト 文法 導入・練習	予習:第6回授業内容の予習(30分) 復習:第6回授業内容の復習(30分)
7	小テスト 文法 導入・練習	予習:第7回授業内容の予習(30分) 復習:第7回授業内容の復習(30分)
8	小テスト 文法 導入・練習	予習:第8回授業内容の予習(30分) 復習:第8回授業内容の復習(30分)
9	小テスト 文法 導入・練習	予習:第9回授業内容の予習(30分) 復習:第9回授業内容の復習(30分)
10	小テスト 文法 導入・練習	予習:第10回授業内容の予習(30分) 復習:第10回授業内容の復習(30分)
11	模擬試験 文法 導入・練習	予習:第11回授業内容の予習(30分) 復習:第11回授業内容の復習(30分)
12	小テスト 文法 導入・練習	予習:第12回授業内容の予習(30分) 復習:第12回授業内容の復習(30分)
13	小テスト 文法 導入・練習	予習:第13回授業内容の予習(30分) 復習:第13回授業内容の復習(30分)
14	小テスト 文法 導入・練習	予習:第14回授業内容の予習(30分) 復習:第14回授業内容の復習(30分)
15	総復習 総まとめ	予習:第15回授業内容の予習(30分) 復習:第15回授業内容の復習(30分)

科目名	検定文字語彙				
担当者氏名	(未定)				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ					

《授業の概要》(教科書)

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

《成績評価基準》

《成績評価の方法》

 (双線計画やバス)

 筆記試験
 % レポート %

 課題
 % 実技 %

 授業の取組
 % その他() %

《参考図書》

《授業計画》 週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名	ビジネスコミュニケーション				
担当者氏名	高藤 純子、井上 しづ恵				
授業方法	演習	演習 単位・必選 1単位・選択 開講年次・開講期 1年・後期		1年・後期	
ディプロマポリ 重点的に身につ					

《授業の概要》

時事用語やビジネス用語をきちんと理解し、常識を身に付ける 。表やグラフ、統計を理解し、問題を提起できるようにする。 新聞記事などを読んで、課題を見つけ、解決につながる糸口を 提起できるようにする。

*学生の興味・習熟度を優先し内容を変更することもある。

《授業の到達目標》

- ・インターンシップ前におさえておきたいビジネス知識やビジネスマナーを理解することができる。 ・仕事に役立つ論理力を養うことができる。
- ・時事用語やビジネス用語を理解することができる。
- ・表やグラフを見て、問題発見や分析ができる。

《教科書》

ハンドアウト

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 授業内で演習をし、解説する

《成績評価基準》

授業での演習を通して思考力、分析力を身につけることができ たかを評価する。 授業内での積極性を評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート % 課題 % 実技 % 授業の取組 60% その他() %

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	キャリアと仕事へのアプ ローチ	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
2	会社活動の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
3	話し方と聞き方のポイン ト	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
4	接客と営業の進め方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
5	不満を信頼に変えるクレ ーム対応	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
6	会議への出席とプレゼン テーション	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
7	チームワークと人のネッ トワーク	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
8	仕事の進め方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
9	ビジネス文書の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
10	統計・データの読み方、 まとめ方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
11	情報収集とメディアの活 用	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
12	会社数字の読み方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
13	ビジネスと法律・税金知識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
14	産業と経済の基礎知識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
15	知識・読解・分析などの 総括	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する

科目名	ビジネスライティング				
担当者氏名	志田 華奈子、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力				

《授業の概要》

自らの意見や立場を言葉で明確に表明することは社会人として必要なスキルである。日本語は書き言葉や話し言葉、場面などで、さまざまな使い分けが必要な言語である一方、新しい表現を生み出しやすい言葉でもある。この授業では、さまざまな資料から多くの日本語表現に触れつつ、自らも文章を書き、他者への伝わり方を議論することで、コミュニケーションの道具としてのことばを活用できるスキルを磨く。

《授業の到達目標》

- ・社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に 応じた日本語表現を使用することができる。
- ・自らの意見や表現したいことを、他者がわかりやすいように 言葉に表すことができる。
- ・語彙力や表現力を伸ばすために、普段から身の回りにおける ことばの表現に関心を持ち、調べ、それらを使用できようにな る。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% 課題 30% 授業の取組 30%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 コメントをつけて返却する

《成績評価基準》

- ・社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に応じた日本語表現を使用することができたか。
- ・自らの意見や表現したいことを、他者がわかりやすいように 言葉に表すことができたか。
- ・語彙力や表現力を伸ばすために、身の回のことばの表現に関心を持ち調べ、それらを使用できようになったか。

《参考図書》

『大学生のための日本語表現トレーニング』橋本修(三省堂) 『形容詞を使わない大人の文章表現力』石黒圭(日本実業出版社)

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
2	話し言葉と書き言葉	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
3	する)	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
4	描写 (絵や動画を描写する)	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
5	形容詞問題	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
6	外面と感覚の表現	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
7		予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
8		予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
9	SDS法・文章のコツ	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
10	敬語表現	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
11	メールの書き方	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
12	ビジネス文書	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
13	自己PR文 (自己分析)	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
14	自己PR文 (文作成)	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
15	期末試験 まとめ	予習:提示された課題について調べておく。(30分) 復習:配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)

科目名	実践的プログラミング演習				
担当者氏名	柿山 達哉、常岡 直樹				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力				

《授業の概要》

Windows操作 メール操作の習熟 Excelでの便利機能 実社会でのパソコンの利用例体験 プログラムの基礎 上記内容を中心に総合的な活用術を習得する。 週ごとのテーマは学生の理解度に合わせて変更する。

《授業の到達目標》

2年間でパソコンを実際に活用できる力を身に着けることが目標。

演習 では実社会での応用を講義を中心に据えて構成する。 有効にPCを活用する力を身につける。

《成績評価の方法》

課題60% 授業の取組40%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義毎に課題を出し、提出された課題の評価で成績を評価する。毎回の積み上げなので、出席率の低下と課題の提出率の低下 は比例するため、出席率が悪いと評価は下がる。

《成績評価基準》

- ・講義に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・課題を理解して自分の力として身に着けることができたか。
- ・講義を楽しむことができたか。

《参考図書》

講義の内容にあわせて、各種説明資料等を講師が作成し配布する。

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	パソコン利用体験 環境準備	予習:なし 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	パソコン利用体験 環境準備	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	パソコン利用体験 ロールプレイング	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	パソコン利用体験 ロールプレイング	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	パソコン利用体験 ロールプレイング	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	パソコン利用体験 ロールプレイング	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	パソコン利用体験 ロールプレイング	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	パソコン利用体験 ロールプレイング	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	パソコン利用体験 ロールプレイング	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	パソコン利用体験 ロールプレイング	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	パソコン利用体験 ロールプレイング	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	パソコン利用体験 ロールプレイング	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	パソコン利用体験 ロールプレイング	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	パソコン利用体験 ロールプレイング	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	パソコン利用体験 ロールプレイング	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)

1 年 通 年

科目名	コンピュータ実習				
担当者氏名	石井 良明、青木 美里、大隣 昭作、永島 知子、厚川 亮介				
授業方法	実習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・通年 (前期)
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力		しての教養と豊かな人間性を備え 」を学び地域に貢献できる		

《授業の概要》

パーソナルコンピュータを使ったプレゼンテーションの基礎を 学ぶ。社会ではパソコンを使えることは特別なことではなく、 最低限必要な技術となっている。この科目では、パソコンの使 い方やプレゼンテーションの技術を、ポートフォリオの作成と 設計演習等のプレゼンテーションを通じて学んでいく。

《授業の到達目標》

コンピュータの使い方をマスターしポートフォリオを完成する ことができるようになる。

《成績評価の方法》

課題 70% 授業の取組 30%

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う

《成績評価基準》

主に課題提出と授業の取組によるが、課題提出70%、授業の取組(参加姿勢)30%で評価する。

《参考図書》

情報活用力 (noa 出版)

【授集計画》 调	授業のテーマ	之羽山穴(吐眼),有羽山穴(吐眼)
旭		トロール 予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス(ログイン・ ファイルの保存など)	予習:シラバスに目を通すこと(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
2	illustrator	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
3	illustrator	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
4	illustrator	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
5	Photoshop	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
6	Photoshop	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
7	Photoshop	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
8	地理情報	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
9	地理情報	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
10	CAD 現況平面図入力	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
11	CAD 計画平面図入力	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
12	CAD 標準図作成	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
13	設計図書	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
14	3次元へのアプローチ	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
15	3次元へのアプローチ	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)

科目名	環境設計演習				
担当者氏名	西川 真水				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	1年・通年 (前期)
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP3 「環境	」を学び地域に貢献できる	技術を習得していること	と。

《授業の概要》

緑地環境で取り扱う対象空間・環境は多岐にわたり、その敷地のスケールや規模によってさまざまな視点から空間と向き合うことが求められる。本演習では、単に設計のテクニックにとどまることのみでなく、緑地環境空間におけるデザイン行為にかかわる基礎的な考え方、手法、実際の空間をどのようにあつかうのかという作法を学ぶ。

《授業の到達目標》

ランドスケープ・造園・緑化などに関係する図面を理解できる。 平面図や立面図など造園・ランドスケープにかかわる図面を描ける。 様々なスケール・尺度を理解し、身体化する。 複数名で協働し様々なアイデアを共有・発想し、そのためのコミュニケーションが取れる。 様々な空間の読み取り、敷地条件の読み取りができる。

《成績評価の方法》

課題 85% 授業の取組 15%

《教科書》

プリントを配布する

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 講義内、学びの発表会において講評の時間を設ける。

《成績評価基準》

前期の評価は、課題成果品85%、演習態度15%の構成とする。 到達目標 ~ までに対して特にそれぞれの提出課題の精度、 レイアウト、仕上がり具合の観点から判断し評価する。

《参考図書》

造園図面の表現と描法 造園図面の表現と描法 /野沢清・小板橋二 三男/誠文堂新光社

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	緑地環境にかかわる図面 :平面図のカラーリング	予習:色鉛筆を使って絵を描いてみる 復習:色鉛筆を使って絵を描いてみる
2	植物のかたち:高木の樹 形の模型製作	予習:福浜キャンパスにある樹木の名前と形を調べておく 復習:作成した樹木のモデルになったっ樹木の絵を描いてみる
3	みどりウォッチング:地 域の緑環境の調査	予習:自分の地元にどんな公園や神社があるか実際に自分で歩いてみておく 復習:調査メモと写真の整理
4	みどりウォッチング:地 域の緑環境の調査	予習:自分の地元にどんな公園や神社があるか実際に自分で歩いてみておく 復習:調査メモと写真の整理
5	みどりウォッチング:地 域の緑環境の調査	予習:調査メモと写真の整理 復習:自分の地元にどんな公園や神社があるか実際に自分で歩いてみておく
6	ワークショップの方法: ブレーンストーミング	予習:ファシリテーションについて予習しておく 復習:ブレーンストーミングで出たアイデアを整理しておく
7	ワークショップの方法: ブレーンストーミング	予習:ファシリテーションについて予習しておく 復習:周りの人と、任意のテーマでブレーンストミングしてみる
8	緑地環境に関るスケールの考え方:空間の大きさ	予習:自分の一歩の幅を調べておく 復習:身の回りにあるものを自分の身体を使って測ってみる
9	植栽の密度・間隔・感じ 方	予習:大濠公園、西公園など近隣の公園を歩き、高木の植栽の写真を撮っておく 復習:メモや写真を整理しておく
10	植栽の密度・間隔・感じ 方	予習:大濠公園、西公園など近隣の公園を歩き、高木の植栽の写真を撮っておく 復習:メモや写真を整理しておく
11	植栽の密度・間隔・感じ 方	予習:大濠公園、西公園など近隣の公園を歩き、高木の植栽の写真を撮っておく 復習:メモや写真を整理しておく
12	地形の見方:地形と等高 線	予習:三角スケールの見方使い方を理解しておく 復習:配布された資料の等高線をなぞってみる
13	地形の見方:地形模型	予習:線の引き方を練習しておく 復習:配布された資料の等高線をなぞってみる
14	地形の見方:レベルの取 扱いと階段	予習:周囲の階段について写真をとり調べておく 復習:配布された資料の計算問題を行っておく
15	地形の見方:レベルの取 扱いと階段	予習:スロープや傾斜について配布資料を読み理解しておく 復習:配布された階段の練習問題を行っておく

科目名	測量学				
担当者氏名	田上博				
授業方法	講義	単位・必選	4単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年 (前期)
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP3 「環境	」を学び地域に貢献できる	技術を習得しているこ	ک 。

《授業の概要》

測量とは、地表・地中・空中など人間の生活領域における所定の位置関係の情報を、要求される精度を考慮しながら処理し、数値や図(地図や図面)で表現することです。 測量学は、造園・林業技術者にとっても国土開発・保全・利用の計画・設計・施工に欠くことが出来ない重要な学問です。関数電卓は必ず必要です。

《授業の到達目標》

造園・ガーデンデザイン・自然環境の仕事につく際に必要となる平板測量や水準測量や角測量など、最低限の知識を身につけることを目標にします。

《成績評価の方法》

筆記試験 70% 課題 30%

《教科書》

堤 隆著「測量学 」(コロナ社) プリントを配布します

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は試験70%、 課題30%とする。

《参考図書》

吉澤 孝和著「図解 測量学要論」 (日本測量協会)

《授業計画》		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	測量学の基礎知識	予習:測量学概説について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	測量学の基礎知識	予習:事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	測量学の基礎知識	予習:事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	測量における誤差の取り 扱いについて	予習:誤差論について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	距離測量について	予習:距離測量について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	距離測量における誤差の 取り扱い	予習:誤差の取り扱いについて熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	距離測量における誤差の 取り扱い	予習:光波測距儀使った距離測量と誤差について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	平板測量について	予習:平板測量の器具、電子平板システムについて熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	平板測量について	予習:平板測量の方法について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	平板測量について	予習:誤差の取り扱いについて熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	水準測量について	予習:水準測量の用語・分類・使用器械器具等について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	水準測量について	予習:水準測量の観測方法について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	水準測量について	予習:水準測量の観測誤差と消去方法について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	水準測量について	予習:水準測量の誤差調整について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	まとめ	予習:事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
	•	•

科目名	測量実習				
担当者氏名	田上博、厚川亮介				
授業方法	実習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年 (前期)
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP4 伝統的で	「高度な「作庭技術」や「快適	適な生活環境を創造できる	技術」を習得していること。

《授業の概要》

測量学で学んだことを実際に行うことで、より深く理解するための実習です。

測量の手順や器械の操作方法はもちろんのこと、観測したデータの処理方法を含め、実践的な実習を二丈キャンパスで行います。前期の最後には、環境設計演習で設計する実習用地の測量を行い、総合実習で、設計したものを施工する。 関数電卓が必ず必要です。

《授業の到達目標》

測量機器を使って測量ができるようになること。平板、オート レベル、セオドライトの操作をマスターする。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% 課題 30% 授業の取組 30%

《教科書》

細川 吉晴他著「よくわかる測量実習」(コロナ社) プリントを配布します

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 日報・課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は実習の取組30%、日報及び課題の評価30%、試験40%とする。

《参考図書》

吉澤 孝和著「図解 測量学要論」 (日本測量協会)

【按集計四》		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 計 算基礎	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
2	測量計算について(電卓 の使い方を含む)	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
3	距離測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
4	平板測量(平板とアリダ ードの取り扱い)	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
5	平板測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
6	平板測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
7	平板測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
8	水準測量(レベルの取り 扱い)	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
9	水準測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
10	水準測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
11	水準測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
12	実習用地の平板測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
13	実習用地の平板測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
14	実習用地の平板測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
15	まとめ	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
	-	

科目名	総合実習				
担当者氏名	髙宮 さやか、宮島 淳二、山本 俊光、小才 寛康、厚川 亮介				
授業方法	実習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・通年 (前期)
ディプロマポリ 重点的に身につ			」を学び地域に貢献できる 『高度な「作庭技術」や「快遊		=

《授業の概要》

少人数の班編成により、下記の授業計画に基づいて実施する。 前期終盤では造園技能士2、3級の検定課題に取り組む(未経験 者は3級から)。 2級取 得済みの学生には別途プログラムを準備する。(資格の種類に よっては材料費が発生することもある)

《授業の到達目標》

緑化植物の植栽や育成・管理、また造園の骨格をなす石組、各種庭・公園の修景施設工等の実体験を通し て、造園技能の基礎を体得すること。専門講義科目で得た知識をフィードバックして実習することにより、理論と実技を関連付け、より実践的な理解を促す事を目標とする。

《成績評価の方法》

レポート 30% 実技 20% 授業の取組 50%

《教科書》

労働省職業能力開発局技能振興課監修・全国造園技能検定推進 委員会発行『造園施工必携』 各授業の配布プリント

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 レポートを添削し2週間以内に返却する。

《成績評価基準》

受講態度と技術習得の度合いとレポートの作成と提出を総合的 に評価する。

《参考図書》

上原敬二『樹木ガイドブック』朝倉書店中野正生『ガーデンデ ザイン入門』

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習:各人の地元にある庭園や公園について調べておく(2時間) 復習:安全管理に関する内容を復習する(2時間)
2	学外実習(国営海の中道 海浜公園他見学)	予習:見学予定地の公園について下調べをしておく(2時間) 復習:見学した内容のレポート作成(2時間)
3	生物調査	予習:生物の分類体系を学習しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
4	ハンギングバスケット	予習:使用する花苗の科名や原産地等の基礎情報を調査(2時間) 復習:使用した花苗の特徴をまとめる(2時間)
5	玉掛・クレーン	予習:機械施工について調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
6	剪定・刈込	予習:身近な樹木の枝の付き方・樹形を観察しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
7	剪定・刈込	予習:身近な樹木の枝の付き方・樹形を観察しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
8	増殖工	予習:園芸店で売られているポット苗を観察しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
9	草花園芸	予習:使用する花苗の科名や原産地等の基礎情報を調査(2時間) 復習:使用した花苗の特徴をまとめる(2時間)
10	間伐・林内管理	予習:植林に使われる樹種を調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
11	技能検定(ガイダンス・ 竹垣)	予習:実習場内の竹垣や園路を観察しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
12	技能検定(縁石)	予習:課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
13	技能検定(敷石)	予習:課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
14	技能検定(整地)	予習:課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
15	技能検定(全工程)	予習:最も苦手な工種を把握し、練習する(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)

科目名	環境ボランティア演習				
担当者氏名	山本 俊光				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年 (前期)
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいてける能力		しての教養と豊かな人間性を備え 」を学び地域に貢献できる		

《授業の概要》

基本的に時間割授業ではなく、学外授業が多い。土曜日、 日曜日、夏休み等に行う。ポイント制に基づく選択授業である

唐人町商店街活性化を図るワークショップ、自然環境保全の 観点から海岸におけるマツの間伐や植林、国体道路花壇整備な ど地域の問題や活性化に関わっていく授業である。

《授業の到達目標》

- 1 社会職責感を養う。
- 2 ボランティア活動を通して社会性、積極性を養う。
- 3 社会的な課題に敏感になり、社会問題に関心をもつ。

《教科書》

特になし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 参加ごとにレポートを課す。最後に返却する。

《成績評価基準》

5回以上の参加と5回以上のレポート提出が基準。 参加態度、レポートの内容により評価される。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート50% 課題 % 実技 % 授業の取組50% その他() %

《参考図書》

『ボランティア時代の水泥のまちづくり』(進士五十八著) 東京農業大学出版会

调	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	総合ガイダンス	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
2	ボランティア概論	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
3	環境ボランティア概論	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
4	海の中道海浜公園花壇で のアンケート調査	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
5	オープンガーデン	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
6	福浜キャンパス整備 1	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
7	二丈キャンパス整備 1 	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
8	国体道路花壇整備1	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
9	国体道路花壇整備 2	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
10	福浜キャンパス整備2	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
11	二丈キャンパス整備 2	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
12	海の中道海浜公園 マツの管理	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
13	唐人町商店街クリスマス リース作り	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
14	庭園見学と管理	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
15	福岡市植物園 ワークショップ	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。

科目名	コンピュータ実習				
担当者氏名	池田 隆太郎、永島 知子、厚川 亮介				
授業方法	実習	実習 単位・必選 2単位・必修 開講年次・開講期 1年・通年 (後期)			
		∪ての教養と豊かな人間性を備; 」を学び地域に貢献できる			

《授業の概要》

パーソナルコンピュータを使ったプレゼンテーションの基礎を 学ぶ。社会ではパソコンを使えることは、特別なことではなく 、最低限必要な技術となっている。この科目では、パソコンの 使い方やプレゼンテーションの技術を、ポートフォリオの作成 と設計演習等のプレゼンテーションを通じて学んでいく。

《授業の到達目標》

コンピュータの使い方をマスターしポートフォリオを完成する ことができるようになる。

《成績評価の方法》

課題 70% 授業の取組 30%

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う

《成績評価基準》

主に課題提出と授業の取組によるが、課題提出70%、授業の取組(参加姿勢)30%で評価する。

《参考図書》

情報活用力 (noa 出版)

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	CAD 復習 基本操作	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
2	編集	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
3		予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
4	編集	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
5		予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
6		予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
7	寸法の設定・作成	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
8	CAD 図面印刷方法	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
9	CAD 図面作成	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
10	CAD 図面作成	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
11		予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
12		予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
13		予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
14		予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)
15	情報処理と情報理論	予習:配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間)

科目名	環境設計演習				
担当者氏名	西川 真水				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	1年・通年 (後期)
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP3 「環境	」を学び地域に貢献できる	技術を習得しているこ	と。

《授業の概要》

前期での学びを踏まえ小空間の設計に取り組む。実際に与えられた諸条件、敷地の条件を読み取り、設計条件を整理しながら、更には社会的要請に配慮し盛り込みながらコンセプトメークとリアライズ、デザインを進め、提案を行う。ここでは独りよがりなモノとしての「かたち」ではなく、デザインプロセスを重視し、価値ある「かたち」が生まれる流れを学ぶ。同時に、提案に必要な伝えるためのツールづくりにも力点を置く。

《授業の到達目標》

課題条件を読み取り、条件を整理できる。 条件を理解し、そこにあるべき空間のコンセプトを組み立てることが出来る。 条件、コンセプトを組み立てながら、空間の構造、材料、植栽を検討しながら、課題空間を形としてまとめることが出来る。 構想された空間を縮尺1/50~1/10 の図面(平面・立面等)を作成することが出来る。 プレゼンテーションボード(A1サイズ)をパソコンを使い作成できる。

《成績評価の方法》

課題 85% 授業の取組 15%

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は 中間及び最終時に発表と講評の時間を設ける。 最終的に提出されたプレゼンテーションボードに問題など講評・コメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

成績評価の構成は課題成果品85%、演習態度15%とし、到達目標の ~ に対し、授業のそれぞれの課題図面等が30%、それらをまとめた最終成果物として提出されるプレゼンテーションボードでその内容を精査し総合的に評価を行う。

《参考図書》

造園図面の表現と描法 造園図面の表現と描法 / 野沢清・小板橋二三男 / 誠文堂新光 社

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	とにテーマ設定	予習:庭園や公園を訪れ、配布された階段の資料シートを作成する 復習:資料シート用の図面の作成をしておく
2	基本構想:敷地の課題・ 問題点と測量	予習:庭園や公園を訪れ、配布された階段の資料シートを作成する 復習:資料シート用の図面の作成をしておく
3	計画平面図:デザインコードの設定	予習:庭園や公園を訪れ、配布された階段の資料シートを作成する 復習:資料シート用の写真の整理をしておく
4	"	予習:平面図の書き方を予習しておく 復習:資料シート用の写真の整理をしておく
5	"	予習:平面図の書き方を予習しておく 復習:問題点の修正
6	詳細図及び材料数量表	予習:配布資料を熟読しておく 復習:問題点の修正
7	" 及び工程表	予習:配布資料を熟読しておく 復習:問題点の修正
8	施工計画書作成	予習:配布資料を熟読しておく 復習:問題点の修正
9	断面詳細図	予習:断面図について書き方を予習しておく 復習:問題点の修正
10	"	予習:問題点を修正した断面図を描いておく 復習:修正点の整理
11	"	予習:問題点を修正した断面図を描いておく 復習:修正点の整理
12	積算と見積り	予習:配布資料を熟読しておく 復習:問題点の修正
13	積算の方法	予習:配布資料を熟読しておく 復習:問題点の修正
14	CAD 図面作成	予習:パソコンの使い方を予習しておく 復習:パソコンの使い方を復習しておく
15	CAD 図面作成とプレゼン テーションの作成	予習:CAD の使い方を予習しておく 復習:問題点の修正

科目名	測量学				
担当者氏名	田上博				
授業方法	講義	単位・必選	4単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年 (後期)
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP3 「環境	」を学び地域に貢献できる	技術を習得しているこ	ک 。

《授業の概要》

測量とは、地表・地中・空中など人間の生活領域における所定の位置関係の情報を、要求される精度を考慮しながら処理し、数値や図(地図や図面)で表現することです。 測量学は、造園・林業技術者にとっても国土開発・保全・利用の計画・設計・施工に欠くことが出来ない重要な学問です。関数電卓は必ず必要です。

《授業の到達目標》

造園・ガーデンデザイン・自然環境の仕事につく際に必要となる平板測量や水準測量や角測量など、最低限の知識を身につけることを目標にします。

《成績評価の方法》

筆記試験 70% 課題 30%

《教科書》

堤 隆著「測量学 」(コロナ社) プリントを配布します

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は試験70%、 課題30%とする。

《参考図書》

吉澤 孝和著「図解 測量学要論」 (日本測量協会)

【		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	角測量について	予習:測量で扱う角、角度測定機 について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	角測量について	予習:角の観測について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	角測量について	予習:誤差とその取扱いについて熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	閉合トラバース測量	予習:多角測量の種類、手順、観測について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	閉合トラバース測量	予習:各種計算について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	閉合トラバース測量	予習:誤差調整について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	結合トラバース測量	予習:各種計算について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	結合トラバース測量	予習:誤差調整について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	結合トラバース測量	予習:偏心観測について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	求積	予習:面積算定、分割・境界調整 について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	求積	予習:体積算定について熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	三角測量	予習:事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	三角測量	予習:事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	三角測量	予習:事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	まとめ	予習:事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
		侵笛:授業で子んに内谷を侵留しておくこと(2時間)

科目名	測量実習				
担当者氏名	田上博、厚川亮介				
授業方法	実習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年 (後期)
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP4 伝統的で	高度な「作庭技術」や「快適	適な生活環境を創造できる	技術」を習得していること。

《授業の概要》

測量学で学んだことを実際に行うことで、より深く理解するための実習です。

測量の手順や器械の操作方法はもちろんのこと、観測したデータの処理方法を含め、実践的な実習を二丈キャンパスで行います。前期の最後には、環境設計演習で設計する実習用地の測量を行い、総合実習で、設計したものを施工する。 関数電卓が必ず必要です。

《授業の到達目標》

測量機器を使って測量ができるようになること。平板、オート レベル、セオドライトの操作をマスターする。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% 課題 30% 授業の取組 30%

《教科書》

細川 吉晴他著「よくわかる測量実習」(コロナ社) プリントを配布します

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 日報・課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する

《成績評価基準》

前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は実習の取組30%、日報及び課題の評価30%、試験40%とする。

《参考図書》

吉澤 孝和著「図解 測量学要論」 (日本測量協会)

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	セオドライトの取り扱い	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
2	単測法	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
3	単測法	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
4	単測法	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
5	倍角法	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
6	倍角法	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
7	倍角法	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
8	実技試験	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
9	トラバース測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
10	トラバース測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
11	トラバース計算	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
12	トラバース計算	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
13	製図	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
14	製図	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
15	まとめ	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要

科目名	総合実習				
担当者氏名	髙宮 さやか、宮島 淳二、山本 俊光、小才 寛康、厚川 亮介				
授業方法	実習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・通年 (後期)
ディプロマポリ 重点的に身につ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		」を学び地域に貢献できる 高度な「作庭技術」や「快運		-

《授業の概要》

【ガーデンデザイン】

少人数の班編成により、下記の授業計画に基づいて実施する。

《教科書》

労働省職業能力開発局技能振興課監修・全国造園技能検定推進 委員会発行『造園施工必携』 各授業の配布プリント

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 レポートを添削し2週間以内に返却する。

《授業の到達目標》

緑化植物の植栽や育成・管理、また造園の骨格をなす石組、各 種庭・公園の修景施設工等の実体験を通し て、造園技能の基礎を体得すること。専門講義科目で得た知識をフィードバックして実習することにより、理論と実技を関連付け、より実践的 な理解を促す事を目標とする。

受講態度と技術習得の度合いとレポートの作成と提出を総合的 に評価する。

《成績評価の方法》

レポート 30% 実技 20% 授業の取組 50%

《参考図書》

《成績評価基準》

(一社)日本公園緑地協会編集・発行『造園施工管理技術編』 中野正生『ガーデンデザイン入門』

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	草花園芸(色彩)	予習:色の三属性について調べておく(2時間) 復習:草花の色ごとの使い分けを検討する(2時間)
2	草花園芸(堆肥・土壌)	予習: 堆肥の種類、土壌の種類について調査する (2時間) 復習: 堆肥と土壌の関係を整理しておく (2時間)
3	園芸装飾	予習:草花の取り扱いや配置について事前調査をする(2時間) 復習:うまくいかなかった工程を練習する(2時間)
4	基本石組	予習:庭園の写真集などで石組をみておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
5	ガーデン石組(レンガ組 積工)	予習:庭園内施設にどのようなものがあるかを調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
6	草花園芸(花壇)	予習:使用する花苗の科名や原産地等の基礎情報を調査(2時間) 復習:使用した花苗の特徴をまとめる(2時間)
7	草花園芸(播種)	予習:使用する種の特徴や原産地等の基礎情報を調査(2時間) 復習:使用した種の特徴をまとめる(2時間)
8	ハンギングバスケット	予習:前期の実習の反省点を書き出しておく(2時間) 復習:技術力を前期と比べてレポート作成(2時間)
9	小空間の造形 (施工)	予習:今回施工する内容を図面から読み取っておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
10	小空間の造形 (施工)	予習:使用する材料の特性を調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
11	小空間の造形 (施工)	予習:構造物の基礎について、一般的な設計をみておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
12	小空間の造形 (施工)	予習:庭園内のサインのいろいろなデザインを調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
13	小空間の造形 (施工)	予習:庭園によく使われる樹種を調べる(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
14	小空間の造形 (施工)	予習:外構によく使われる樹種を調べる(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
15	小空間の造形 (施工)	予習:計画図と竣工したものの変更箇所を確認しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)

科目名	総合実習				
担当者氏名	髙宮 さやか、宮島 淳二、山本 俊光、小才 寛康、厚川 亮介				
授業方法	実習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・通年 (後期)
ディプロマポリ 重点的に身につ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		」を学び地域に貢献できる 高度な「作庭技術」や「快運		-

《授業の概要》

【自然環境デザイン】

少人数の班編成により、下記の授業計画に基づいて実施する。

《教科書》

労働省職業能力開発局技能振興課監修・全国造園技能検定推進 委員会発行『造園施工必携』 各授業の配布プリント

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 レポートを添削し2週間以内に返却する。

《授業の到達目標》

緑化植物の植栽や育成・管理、また造園の骨格をなす石組、各種庭・公園の修景施設工等の実体験を通し て、造園技能の基礎を体得すること。専門講義科目で得た知識をフィードバックして実習することにより、理論と実技を関連付け、より実践的な理解を促す事を目標とする。

《成績評価の方法》

レポート 30% 実技 20% 授業の取組 50%

《成績評価基準》

受講態度と技術習得の度合いとレポートの作成と提出を総合的 に評価する。

《参考図書》

上原敬二『樹木ガイドブック』朝倉書店 (一社)日本公園緑地協会編集・発行『造園 施工管理技術編』

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	基本石組	予習:庭園の写真集などで石組をみておく(2時間) 復習:施工したものをラフスケッチする(2時間)
2	滝流れ石組	予習:庭園の写真集などで瀧石組をみておく(2時間) 復習:施工したものをラフスケッチする(2時間)
3	ビオトープ石組	予習:学会誌などで施工例をみておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
4	移植	予習:樹木の根系について調べておく(2時間) 復習:掘った根の写真を見てスケッチする(2時間)
5	移植	予習:樹木の根系について調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
6	植生調査	予習:調査予定地(実習場内)を下見しておく(2時間) 復習:現場で見た樹種の特徴を調べる(2時間)
7	植生調査	予習:調査予定地(実習場内)を下見しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
8	ビオトープ管理	予習:作業予定地を下見し、必要な作業を推定しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
9	小空間の造形 (施工)	予習:今回施工する内容を図面から読み取っておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
10	小空間の造形 (施工)	予習:使用する材料の特性を調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
11	小空間の造形 (施工)	予習:構造物の基礎について、一般的な設計をみておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
12	小空間の造形 (施工)	予習:庭園内のサインのいろいろなデザインを調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
13	小空間の造形 (施工)	予習:庭園によく使われる樹種を調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
14	小空間の造形 (施工)	予習:外構によく使われる樹種を調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
15	小空間の造形 (施工)	予習:計画図と竣工したものの変更箇所を確認しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)

科目名	総合実習				
担当者氏名	髙宮 さやか、宮島 淳二、山本 俊光、小才 寛康、厚川 亮介				
授業方法	実習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・通年 (後期)
ディプロマポリ 重点的に身につ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		」を学び地域に貢献できる 『高度な「作庭技術」や「快』		=

《授業の概要》

【造園芸術】

少人数の班編成により、下記の授業計画に基づいて実施する。

《教科書》

労働省職業能力開発局技能振興課監修・全国造園技能検定推進 委員会発行『造園施工必携』 各授業の配布プリント

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 レポートを添削し2週間以内に返却する。

《授業の到達目標》

緑化植物の植栽や育成・管理、また造園の骨格をなす石組、各種庭・公園の修景施設工等の実体験を通し て、造園技能の基礎を体得すること。専門講義科目で得た知識をフィードバックして実習することにより、理論と実技を関連付け、より実践的な理解を促す事を目標とする。

《成績評価の方法》

レポート 30% 実技 20% 授業の取組 50%

《成績評価基準》

受講態度と技術習得の度合いとレポートの作成と提出を総合的 に評価する。

《参考図書》

上原敬二『樹木ガイドブック』朝倉書店 (一社)日本公園緑地協会編集・発行『造園施工管理技術編』

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	コンクリートエ	予習:コンクリートの材料について調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
2	基本石組	予習:庭園の写真集などで石組をみておく(2時間) 復習:施工したものをラフスケッチする(2時間)
3	滝流れ石組	予習:庭園の写真集などで瀧石組をみておく(2時間) 復習:施工したものをラフスケッチする(2時間)
4	移植	予習:樹木の根系について調べておく(2時間) 復習:掘った根の写真を見てスケッチする(2時間)
5	移植	予習:樹木の根系について調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
6	蹲踞・灯籠・延段	予習:庭園の写真集などで蹲踞・灯籠をみておく(2時間) 復習:施工したものをラフスケッチする(2時間)
7	蹲踞・灯籠・延段	予習:庭園の写真集などで飛び石や園路をみておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
8	病虫害防除	予習:身近な樹木の病徴を観察する(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)
9	小空間の造形 (施工)	予習:今回施工する内容を図面から読み取っておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
10	小空間の造形 (施工)	予習:使用する材料の特性を調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
11	小空間の造形 (施工)	予習:構造物の基礎について、一般的な設計をみておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
12	小空間の造形 (施工)	予習:庭園内のサインのいろいろなデザインを調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
13	小空間の造形 (施工)	予習:庭園によく使われる樹種を調べる(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
14	小空間の造形 (施工)	予習:外構によく使われる樹種を調べる(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
15	小空間の造形 (施工)	予習:計画と竣工を比較し変更箇所を確認しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容のレポート作成(2時間)

科目名	環境ボランティア演習				
担当者氏名	山本 俊光				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年 (後期)
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力		∪ての教養と豊かな人間性を備だ 」を学び地域に貢献できる		

《授業の概要》

基本的に時間割授業ではなく、学外授業が多い。土曜日、 日曜日、夏休み等に行う。ポイント制に基づく選択授業である

唐人町商店街活性化を図るワークショップ、自然環境保全の 観点から海岸におけるマツの間伐や植林、国体道路花壇整備な ど地域の問題や活性化に関わっていく授業である。

《授業の到達目標》

- 1 社会職責感を養う。
- 2 ボランティア活動を通して社会性、積極性を養う。
- 3 社会的な課題に敏感になり、社会問題に関心をもつ。

《教科書》

特になし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 参加ごとにレポートを課す。最後に返却する。

《成績評価基準》

5回以上の参加と5回以上のレポート提出が基準。 参加態度、レポートの内容により評価される。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート50% 課題 % 実技 % 授業の取組50% その他() %

《参考図書》

『ボランティア時代の水泥のまちづくり』(進士五十八著) 東京農業大学出版会

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	総合ガイダンス	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
2	ボランティア概論	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
3	環境ボランティア概論	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
4	海の中道海浜公園花壇アンケート調査1	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
5	海の中道海浜公園花壇アンケート調査 2	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
6	オープンガーデン 1	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
7	オープンガーデン 2	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
8	国体道路花壇整備1	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
9	国体道路花壇整備 2	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
10	福浜キャンパス整備	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
11	二丈キャンパス整備 	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
12	海の中道海浜公園 マツの管理	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
13	リース作り	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
14	庭園見学と管理	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。
15	福岡市植物園 ワークショップ	ボランテイアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。

2 年 前 期

科目名	環境設計演習				
担当者氏名	西川 真水				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP3 「環境	」を学び地域に貢献できる	技術を習得しているこ	と。

《授業の概要》

当該科目は、これまで学んできた製図演習や環境設計演習を継続するものであるが、座学で教授してきた 緑地計画学庭園設計論を具現化するものであり、個人庭園を設計する際の課題整理から設計図・設計書作成及び作品のプレゼンまでを一貫して教示する。

《授業の到達目標》

1.日本人の自然観や美意識を表現する手法であり、日本の伝統文化の象徴でもある日本庭園の設計ができるようになる。2.景観やバリアフリー等を意識した設計ができるようになる。3.計画地周辺の状況や施主の条件・課題を整理し、それらに応えられる設計ができるようになる。4.コンセプト設定まではグループ作業、その後は各自で設計を完成させ、プレゼンを行えるようになる。以上のこと目標とする。

《成績評価の方法》

課題 80% 授業の取組 20%

《教科書》

プリントを配布する。

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 課題作品は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

課題作品について

伝統的な日本庭園の技法を駆使した設計となっているか。 景観やバリアフリーに配慮した設計となっているか。 与条件をクリアーした設計となっているか。 ち変な、さらに、作品のごばくい、機能、共同意等を変なし

を審査。さらに、作品のデザイン、機能、計画高等を審査し評価する。

《参考図書》

- 「造園施工管理技術編」日本公園緑地協会、
- 「造園実務ポケットブック」木村了

(株)オーム社

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習:日本庭園関連図書により予習すること。(30分) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(30分)
2	事例の施設構造図等検討	予習:日本庭園関連図書により予習すること。(30分) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(30分)
3	課題の設定と条件整理	予習:日本庭園関連図書により予習すること。(30分) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(30分)
4	庭園のコンセプト設定	予習:庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(30分)
5	ゾーニングと動線図作成	予習:庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(30分)
6	庭園構想図作成	予習:庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習:今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
7	庭園平面計画図作成	予習:庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習:今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
8	庭園平面計画図作成	予習:庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習:今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
9	庭園平面計画図作成	予習:庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習:今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
10	庭園平面計画図作成	予習:庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習:今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
11	庭園平面計画図作成	予習:庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習:今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
12	各種計画図作成(計画高図、給排水図等)	予習:庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習:今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
13	施設詳細図及び立面図等 作成	予習:庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習:今回の授業で取組んだ設計をすすめること(30分)
14	企画提案書作成	予習:庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習:企画提案書を見直す等復習すること(30分)
15	課題作品プレゼン・講評	予習:庭園設計関連図書により予習すること(30分) 復習:プレゼン手法を復習すること(30分)

科目名	コンピュータ実習				
担当者氏名	勝野 靖弘				
授業方法	実習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
.=2,,		,	∪ての教養と豊かな人間性を備だまる。 」を学び地域に貢献できる		

《授業の概要》

福浜キャンパスや周辺の公園の木や花壇、ファニチャーなどを 調査して CAD で図面化してもらいます。毎回、基本的な操作 法は説明しますが、わからないことの質問の仕方や、自分で方 法を見つけるテクニックも身に着けてもらいます。 基本的な CAD の機能を習得してもらうとともに、「見やすい 図面」のために気を付けなければならないことも学んでもらい ます。

《授業の到達目標》

緑地計画は目的に応じて必要な屋外の測量や調査結果を正しく表現する必要があります。また、建築・土木設計との協働などで他社とのデータ交換、合成などが必要になります。CADで正確に図面を画き、データを扱う技術を習得しましょう。また、CADのすべての機能を習得する必要はありませんが、「どんなことができるか」を把握し、必要な機能をヘルプやネット検索を利用して方法を習得できるようになりましょう。

《成績評価の方法》

授業の取組 60% (毎回の課題提出含む) その他(最終成果品) 40%

《教科書》

特になし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う。

《成績評価基準》

受講態度等 最終成果品提出

《参考図書》

特になし

科目名	造園施工管理論				
担当者氏名	髙宮 さやか				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力	1-DP2 社会問	題に関心を持ち、積極的に	:解決しようとすること	ができる。

《授業の概要》

わが国の造園業の歴史と現状、今後の動向とあるべき姿、とりわけ生態系に配慮した緑地の在り方と管理手法の重要性や、花卉園芸の重要性、世界的に注目される日本庭園の施工と管理の在り方に目を向けたうえで、実際の現場での施工管理とその遂行に必要な知識を講義する。公共・民間の造園工事を行ってきた実務家教員が現場での実際的な対応の方法と、必要な心構えを造園特有の事象を織り込んで講義する。

《授業の到達目標》

造園工事と緑地管理に関する基礎知識と施工管理の在り方を理解し、工程表の作成と出来高管理ができるようになる。また、 造園特有の植物材料に必須の管理項目を具体的に挙げることが できるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 100%

《教科書》

(一社)日本公園緑地協会『造園施工管理技術編』 プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 添削して翌週返却する。

《成績評価基準》

筆記試験により行う。

《参考図書》

各自治体が発行する土木工事施工管理の手引き

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ついて	予習:最近の公園に関する話題を拾っておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
2	入札と PPP、設計図書	予習:PPP について調べておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
3		予習:テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
4		予習:テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
5	と設計変更・原価管理	予習:テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
6	(現場実測)	予習:現場を下見しておく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
7		予習:テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
8	品質管理1	予習:テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
9	品質管理2	予習:テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
10		予習:テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
11		予習:身近な公園緑地の管理状態を観察する(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
12	建設副産物、環境保全	予習:テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
13		予習:テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
14	工事費の構成と積算	予習:テキストの該当箇所を読んでおく(2時間) 復習:授業で学んだ内容の復習(2時間)
15	まとめ	予習: ノート整理と検定の準備 (2時間) 復習: 疑問点を調べる (2時間)

科目名	樹木医学				
担当者氏名	清水 進				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力	1-DP3 「環境	」を学び地域に貢献できる	技術を習得しているこ	خ .

《授業の概要》

樹木医制度や樹木保護に関する制度を理解し、農薬や腐朽病害の基礎知識、生産と機能、生態、危険度診断、樹木保護の実際について理解を深める。また、植物の育成に及ぼす植栽地盤の土壌や気象などの環境条件の影響を理解し、植物の育成管理のあり方を学ぶ。樹木の生きざまを観察し、その状態を理解するためには、生物学、植物基礎学、育成管理学、土壌学などのすべての知識が必要である。

《授業の到達目標》

樹木医学とは、「樹木の構造と機能を理解し、病気すなわち機能不全の現象を研究し、その診断・治療・予防の方法を開発し、樹木の保全を図る学問」と定義される。地球規模の環境問題のなかで、樹木や森林の果たす役割は大きく、また天然記念物となっている巨樹巨木は文化遺産としての価値も有する。これらの保護を目的とし、樹木の生理、生態学などの基礎知識の応用として、樹木医学を理解できるように学習する。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 20% 授業の取組 20%

《教科書》

「最新・樹木医の手引き」日本緑化センター

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

樹木の病害の原因、発生する諸条件、病気の防除方法の理解度 (筆記試験)、レポートの内容および授業への取組により評価 する。

《参考図書》

「緑地環境学」小林・福山共著 文永堂

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	樹木医制度の概要	予習:シラバスに目を通すこと(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
2	樹木医学概論	予習:樹木の種類と特徴(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
3	樹木保護に関する制度	予習:樹木保護法の種類と特徴(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
4	樹木概論	予習:植物の進化と樹木(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
5	農薬の知識	予習:農薬の種類と特徴(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
6	腐朽病害の基礎知識	予習:腐朽病害の種類と特徴(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
7	樹木の構造と機能	予習:樹木の構造と機能(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
8	樹木の生理	予習:光合成と植物ホルモン (2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める (2時間)
9	樹木の生態	予習:樹木の生態の特徴(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
10	危険度診断と外科的対策	予習:危険度診断と外科的対策(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
11	環境ストレス(気象害)	予習:環境ストレス(気象害)(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
12	移植法	予習:移植法(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
13	樹木保護の実際(1)	予習:樹木保護の実際(土壌対策)(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
14	樹木保護の実際(2)	予習:樹木保護の実際(外科的対策)(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
15	まとめ	予習:配布プリントの整理と質問事項の摘出(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)

科目名	造園昆虫・動物学演	造園昆虫・動物学演習			
担当者氏名	岩熊 志保				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力		題に関心を持ち、積極的に 高度な「作庭技術」や「快運		

《授業の概要》

野外に出て昆虫類を捕獲し、実際に観察しながら昆虫の分類を 学ぶ。

樹木に害を及ぼす昆虫類の生態を把握し、総合的な防除をしていくための基礎を学ぶ。

《授業の到達目標》

昆虫を目ごとに分類できる。 樹木を取り巻く昆虫、動物を同定できる知識を持つ。 対象昆虫に見合った総合的な防除方法を導き出すことが出来る

《成績評価の方法》

筆記試験 80% 課題 10% 実技 10%

《教科書》

最新・樹木医の手引き(日本緑化センター)

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 ワーク課題は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

試験にて到達目標を評価する。授業途中に課題を出し、それも 加味する。

《参考図書》

もっとくわしい植物の病害虫百科(根本久・矢口行雄・学習研究社)

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	生態系の構造	予習:教科書を読む2時間 復習:その日の授業内容を見直す2時間
2	昆虫の形態	予習:教科書を読む2時間 復習:その日の授業内容を見直す2時間
3	昆虫の分類	予習:教科書を読む2時間 復習:その日の授業内容を見直す2時間
4	昆虫の生態	予習:教科書を読む2時間 復習:その日の授業内容を見直す2時間
5	昆虫標本作製	予習:昆虫標本作製の仕方を調べる2時間 復習:その日の授業内容を見直す2時間
6		予習:教科書を読む2時間 復習:その日の授業内容を見直す2時間
7	(2)	予習:教科書を読む2時間 復習:その日の授業内容を見直す2時間
8	(3)	予習:教科書を読む2時間 復習:その日の授業内容を見直す2時間
9	(4)	予習:教科書を読む2時間 復習:その日の授業内容を見直す2時間
10	防除方法(生物的防除/科学的防除/耕作的防除)	予習:教科書を読む2時間 復習:その日の授業内容を見直す2時間
11	総合的害虫管理	予習:教科書を読む2時間 復習:その日の授業内容を見直す2時間
12	物の管理	予習:教科書を読む2時間 復習:その日の授業内容を見直す2時間
13	ビオトープ	予習:ビオトープとは何かを自分なりに調べる2時間 復習:その日の授業内容を見直す2時間
14	生物多様性	予習:生物多様性とは何かを自分なりに調べる2時間 復習:その日の授業内容を見直す2時間
15	まとめ	予習:今までの授業内容をすべて見直す2時間 復習:今までの授業内容をすべて見直す2時間

科目名	緑地管理演習				
担当者氏名	小才 寛康、山本 俊	光、髙宮 さやか、	藤原 良治、秦 忠広		
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ			」を学び地域に貢献できる 『高度な「作庭技術」や「快遊		-

《授業の概要》

実習場や近隣施設を通じて独創性を深め、より実践的な演習を 行っていきます。

「創造と草花」を理念として二丈キャンパスの管理・利活用運用を考えていく。樹木、草花等の植物の知識習得に努める。

《授業の到達目標》

造園作品・植物・公園施設等の維持管理運用に関する知識・技術を具体的作業を演習することにより会得する。

《教科書》

「造園施工管理公園緑地協会

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

授業の取組50%、実技50%で評価する。

《成績評価の方法》

実技 50% 授業の取組 50%

《参考図書》

適宜紹介します

過	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンスキャンパス巡回	予習:シラバスを熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	整枝剪定、サイクル堆肥 材活用	予習:演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	整枝剪定、水質管理	予習:演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	整枝剪定、温室管理	予習:演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	整枝剪定、衰弱樹木の養 生	予習:演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	整枝剪定、増殖	予習:演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	病害虫防除・除草 キャンパス巡回	予習:演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	庭園管理、芝生管理	予習:演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	庭園管理、芝生管理	予習:演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	庭園管理、芝生管理	予習:演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	地域貢献学外緑地管理支 援	予習:演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	地域貢献学外緑地管理支 援	予習:演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	公園緑地の運営・利活用 促進、施設管理	予習:演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	学外緑地管理見学	予習:演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	まとめ	予習:演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

科目名	フラワー装飾				
担当者氏名	野口 静香、山本 俊光				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力	1-DP1 社会人と(しての教養と豊かな人間性を備 え	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。

《授業の概要》

ドーム型アレンジメント、スパイラル花束、プートニア、試験 内容を毎回時間を計りながら作っていきます。 (花材費、別途 必要です)

《教科書》

フラワーデザイン入門(資格取得に役立つ)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 課題作品の講評や解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

フラワー装飾技能検定試験内容である3パターン実技・学科。 最終目的全員資格取得を目指し受験生全員でタイムを計り制作 ・練習を重ねそれぞれのやりやすい方法、工夫できる点などを 教えコミュニケーションとりながら合格を目指します。

《成績評価基準》

試験にむかう姿勢、作品の出来映え、サイズ、時間、花の扱いでの総合評価

《成績評価の方法》

実技 授業の取組 50 %

《参考図書》

過去の授業資料 検定試験資料

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
	3級リボンテクニック	予習:シラバスを熟読しておくこと(2時間)
1		復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間)
		復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間)
J		復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間)
		復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間)
6		復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
		予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間)
7		復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
0		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間)
8		復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間)
		復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間)
		復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間)
12		復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間)
13		復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
1.4		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間)
14		復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15		予習:教科書を熟読しておくこと(2時間)
10	策学習	復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

科目名	造園工学				
担当者氏名	田上博				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力			しての教養と豊かな人間性を備え 」を学び地域に貢献できる		

《授業の概要》

授業は講義形式で行う。前半は2級土木施工管理技術検定合格が目標である。後半は建築計画、国土形成、今後の地形の取扱方、地形への処し方を考える。地形を物理的存在としてだけでなく、風土の形成基盤として捉え、地形に関わる基礎的要件、応用的視座を学ぶ。

《授業の到達目標》

社会の基盤整備が進み、私たちの生活は豊かになった。同時に生活環境の質を高めるための社会的ニーズもより高度なものになっている。造園分野においても庭師や植木職だけでは完成せず、土木に関連する比重が大きくなってきている。本講の目標は、一般土木工学技術はもちろん、21世紀の課題である「自然と人間の共生」や風土の形成に肝要な基盤整備にあることを認識する。

《成績評価の方法》

筆記試験 80% 課題 10% 授業の取組 10%

《教科書》

「造園施工管理技術編」 (日本公園緑地協会造園施工管理委員会編) プリントを配布します

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける。課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

主に筆記試験によるが、筆記試験80%および受講態度(参加姿勢)10%、課題提出10%で評価する。

《参考図書》

「環境緑化工学」(小橋澄治他編)「緑化土木」(斉藤一雄著)

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	基礎数学	予習:事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	土工	予習:教科書「造園施工管理技術編」p693~p713を熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	仮設工	予習:教科書「造園施工管理技術編」p686~p692を熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	基礎工	予習:教科書「造園施工管理技術編」p64、65配布資料を熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	コンクリート構造	予習:教科書「造園施工管理技術編」p65~p685を熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	建設機械	予習:教科書「造園施工管理技術編」p819~p840を熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	港湾工学	予習:事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	道路工学	予習:教科書「造園施工管理技術編」p21~p28を熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	地形学の変遷と基礎	予習:教科書「造園施工管理技術編」p54を熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	岩石学・地質学の基礎	予習:教科書「造園施工管理技術編」p170~p171を熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	地形図と地図情報	予習:事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	土地資源分析と土地利用 計画の基礎	予習:事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	地形分析・地形と土地利 用	予習:事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	地形と造園 / 地形のイメージ とランドフォームデザイン	予習:事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	地形と建築 / 建築概論及び、デザインウィズネイチャー	予習:教科書「造園施工管理技術編」p69~p75を熟読しておくこと。(2時間) 復習:授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

科目名	造園地被学				
担当者氏名	厚川 亮介				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-DP3 「環境	」を学び地域に貢献できる	技術を習得しているこ	ك .

《授業の概要》

主として地被植物を対象に、その植物学的性状、生理生態的特性、芝生の造成、維持・管理法、生育と環境要因との関係、芝生の持つ機能等について解説する。その他のグランドカバー植物についても、その種類や利用法について解説する。授業は主としてパワーポイントを用いた座学で行うが、適宜芝草管理の実習等も検討する。

《授業の到達目標》

本講義では主として地被植物の特性、芝生の造成・維持管理手法についての基礎的な技術的知識を習得すること目的とする。 又、現況の芝生の問題点を理解し、今後の新たなあり方、造成・管理手法を考察する技術的デザイン能力を養う。

《成績評価の方法》

試験 50 % 小テスト 50 %

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 小テスト、レポートの添削、返却

《成績評価基準》

講義内容の理解、習得度並びに造園地被部門に対する向学心の 度合いを評価する。

《参考図書》

最新グラウンドカバープランツ (近藤三雄・誠文堂新光社)

週	授業のテーマ	之羽市泰(吐肥) 佐羽市泰(吐肥)
		予習内容(時間)・復習内容(時間)
1 分	類について	予習:シラバスを熟読しておくこと(2時間) 復習:講義内容の復習(2時間)
2 o	いて	予習:街中の植物の観察(2時間) 復習:講義内容の復習(2時間)
		予習:街中の植物の観察(2時間) 復習:講義内容の復習(2時間)
		予習:街中の植物の観察(2時間) 復習:講義内容の復習(2時間)
5 7	いて	予習:街中の植物の観察(2時間) 復習:講義内容の復習(2時間)
	いて	予習:街中の植物の観察(2時間) 復習:講義内容の復習(2時間)
		予習:街中の植物の観察(2時間) 復習:講義内容の復習(2時間)
10		予習:街中の植物の観察(2時間) 復習:講義内容の復習(2時間)
10 1	いて	予習:街中の植物の観察(2時間) 復習:講義内容の復習(2時間)
		予習:街中の植物の観察(2時間) 復習:講義内容の復習(2時間)
15 s		予習:今までの授業の復習(2時間) 復習:講義内容の復習(2時間)

科目名	企業実習				
担当者氏名	(専任)				
授業方法	実習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-DP1 社会人と(しての教養と豊かな人間性を備 <i>え</i>	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。

《授業の概要》

実務を通じて造園・園芸・自然環境など緑地技術・技能・知識のレベルアップにつなげる。 業界の最新知識や動向を得る。 企業の実践的な考え方と仕事の進め方を習得する。社会人としての心構えおよびビジネスマナーを習得する。就職活動の一環等を目的に造園・ガーデン・エクステリアの設計・施工・管理運営・園芸栽培・販売など、造園・園芸・自然環境に関連する分野での実習を行う。

《授業の到達目標》

企業実習を通じてキャリアデザインを明確にすることができる

《成績評価の方法》

その他(報告書・日報等) 100%

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実習報告書、実習日報は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

評価は研修先の受け入れ担当者の評価(実習評価表)と実習報告書、実習日報をもとに担当教員が学則27条の規定に基づいて評価を行う。

《参考図書》

「短大生の就活編」株式会社ディスコ

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	事前研修・安全教育	予習:企業研究をすること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
2	企業との打ち合わせ	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
3	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
4	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
5	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
6	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
7	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
8	修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
9	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
10	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
11	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
12	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
13	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
14	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
15	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)

科目名	検定読解				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ					

《授業の概要》

日本語能力試験N1レベルを目標とした読解力を上げるための練習を行います。ポイント別学習や模擬問題での練習を行うことで、日本語能力試験の読解を解くために必要な読解力を学び、最終的な実力につながるように対策を行います。授業は課題の解説を主に行うため、予習として課題を解いた上で授業を受け、授業の内容を覚えているうちに復習を行って、次回の課題に取り組むようにしてください。

《授業の到達目標》

- ・文の中身や骨組み、あとに続く内容などについて判断し、文 章理解ができる。
- ・未習単語や専門用語のある文章も文脈から類推して読める。
- ・文章の内容を系統立てて理解し、必要な情報を汲み取ることができる。
- ・日本語能力試験を目標とした読解力を習得することで、正確 に速く、日本語の文章を読むことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート % 課題 30% 実技 % 授業の取組 30% その他() %

《教科書》

日本語能力試験問題集N1読解スピードマスター (Jリサーチ出版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は、次の授業時に解説する。

理解度を確かめるために適宜小テストを実施し、2週間以内に添削して返却する。

《成績評価基準》

- ・文の中身や骨組み、あとに続く内容などについて判断ができ 、自分の見解を述べることができたか。
- ・未習単語や専門用語のある文章も類推して内容を理解できたか。
- ・速く正確に試験時間内に問題を解き終わり、自主的に確認作業を行うことができたか。

《参考図書》

日本語能力試験N1関連問題集

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業の進め方 内容理解短文N1	予習:科目内容の確認 30分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
2	内容理解短文N1	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
3	内容理解中文N1	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
4	内容理解中文N1 新聞記事	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
5	内容理解長文N1 新聞記事	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
6	内容理解長文N1 新聞記事	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
7	情報検索N1 就活情報の検索	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
8	情報検索N1 就活情報の検索	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
9	主張理解N1 新聞記事	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
10	模擬試験	予習:模試の準備 復習:模試の見直し
11	模試のフィードバック 主張理解N1	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
12	統合理解N1	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
13	統合理解N1	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
14	統合理解N1	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
15	試験 まとめ	予習:試験準備 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分

科目名	検定文法				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ					

《授業の概要》

- 1 . N1レベルの文法を理解し、くり返し使い方を練習する。 2 . N1レベルのの文法を使って、文章を書く練習をする。
- 3.N1レベルの聴解練習をする。

《授業の到達目標》

- 1.日本語能力試験N1合格に向け、文法力の向上を目指す。
- 2.テキストで学んだ文法をよく理解し、日本語能力試験の問 題において、正しい答えを導き出せる。 3.テキストで学んだN1文法を使用し、文章が書ける。
- 4.N1レベルの聴解問題を聞き、正しい答えを導き出せる。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート % 課題・小テスト40% 実技 % 授業の取組 20% その他() %

《教科書》

『TRY!日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』(アスク出

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・テキストの各章終了後、小テストを行い、翌週フィードバ ックを行う。
- ・毎週宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《成績評価基準》

- ・N1文法をよく理解し、文法力が向上できたか。 ・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるよ うになったか。
- ・N1文法を使用し、文章が書けるようになったか。
- ・N1レベルの聴解問題を聞き、正しい答えが導き出せるように なったか。

《参考図書》

日本語能力試験N1問題集

<u>【授耒計四/</u> □ □ □	セザッニ フ	
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 N1文法 導入・練習	予習:テキストの内容を確認/1年次に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習:第1回授業内容の復習(30分)
2	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
3	N1文法 小テスト 導入・練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
4	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
5	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
6	N1文法 小テスト 導入・練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
7	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
8	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
9	N1文法 小テスト 導入・練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
10	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
11	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
12	N1文法 小テスト 導入・練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
13	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
14	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)
15	総復習 総まとめ	予習:第2回授業内容の予習(30分) 復習:第2回授業内容の復習(30分)

科目名	通訳概論				
担当者氏名	BUI THI THU SANG				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力				

《授業の概要》

授業の前半は通訳の基本と言った通訳の定義・種類・技術、 通訳者としての職業倫理を学ぶ。後半は分野別で関連の制度を 理解し、その分野の専門用語を覚える。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

クイズは授業内フィードバックする。 通訳用単語帳を提出した後、一週間以内フィードバックする。

《授業の到達目標》

通訳の基本や通訳者としての職業倫理が理解できる。通訳に 役に立つ日本制度についての知識及び専門用語を身につける。

《成績評価基準》

クイズ 通訳用単語帳作成

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート % 課題 50% 実技 % 授業の取組 50% その他() %

《参考図書》

「通訳の技術」 小松達也 (研究社)

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	通訳の基本	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習する
2	通訳者としての職業倫理	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習する
3	通訳者に必要な知識	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習する
4	通訳者に必要な技実	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習する
5	逐次通訳	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
6	同時通訳	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
7	一般知識	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
8	一般知識	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
9	文化的な知識	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
10	文化的な知識	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
11	医療分野の理解	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
12	司法分野の理解	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
13	教育分野の理解	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
14	観光分野の理解	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する
15	ビジネス分野の理解	予習内容(2時間)プリントを予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、通訳用単語帳を作成する

科目名	ビジネスコミュニケーション				
担当者氏名	永吉 美知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力				

《授業の概要》

多様化するビジネス環境の中でいかにコミュニケーションを 構築するのが目的である。現代社会の出来事(経済・政治・ 暮らし・社会環境・国際関係)を多面的な視野で理解し その問題点と解決方法を記述化することによって相手に 明確にその意思を伝達できるコミュニケーションを培う

《授業の到達目標》

インターネット・新聞・論文などに興味を持つ。 他者に意見や記事を正確に読み取る。 自分の意見をデータなどに基づき述べることができる

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート % 課題30 % 実技 % 授業の取組30 % その他() %

《教科書》

適宜プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 授業内で課題を考え 解説を行う

《成績評価基準》

客観的なデータをもとに 自分の意見を明確に伝達することで 相手方とコミュニケーションを構築できるようななているか

《参考図書》

江夏健一 「理論とケースで学ぶ国際ビジネス:」 ニュース検定 1・2級

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
~	オリエンテーション	THISH ("SIS) INHISH ("SIS)
1	若者は選挙にいかない	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。 (30分)
2	安全保障	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す (30分)
2	沖縄・北方領土	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
	日本経済	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分)
3		復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
	世界経済	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分)
4	広がる巨大経済圏	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
_	エネルギー問題	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分)
5	脱炭素・再生エネ	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
_	原発は必要か	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分)
6	調整	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
_	人口問題	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分)
7	少子化の原因	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
	人口問題	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分)
8	他国と日本の比較	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
9	働き方改革	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分)
9	ジョブ型メンバー型	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
40	働き方改革	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分)
10	正規か非正規化	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
11	共生社会	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分)
11	同性婚とLGBT	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
40	共生社会	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分)
12	外国人・夫婦別姓か	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
12	情報社会	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分)
13	ITの課題	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
1.1	情報社会	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分)
14	AIとシンギュラリティ	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
15	総復習	
15		復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
		15日・ 12未20日で16日日 疑问点で調べてのる。(30月)

科目名	実践的プログラミング演習				
担当者氏名	柿山 達哉、常岡 直樹				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
	ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力				

《授業の概要》

Windows操作 メール操作の習熟 Excelの有効活用 実社会でのパソコンの利用例体験 自力でプログラム作成 上記内容を中心に総合的な活用術を習得する。 週ごとのテーマは学生の理解度に合わせて変更する。

《授業の到達目標》

2年間でパソコンを実際に活用できる力を身に着けることが目標。

演習 では特にプログラミング作成に力を入れる。 簡単なマクロを自力でプログラミングできることが目標。

《成績評価の方法》

課題60% 授業の取組40%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義毎に課題を出し、提出された課題の評価で成績を評価する。毎回の積み上げなので、出席率の低下と課題の提出率の低下 は比例するため、出席率が悪いと評価は下がる。

《成績評価基準》

- ・講義に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・課題を理解して自分の力として身に着けることができたか。
- ・講義を楽しむことができたか。

《参考図書》

講義の内容にあわせて、各種説明資料等を講師が作成し配布する。

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	課題マクロ作成 課題の内容説明	予習:なし 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	課題マクロ作成 アルゴリズム解説	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	課題マクロ作成 コーディング実習	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	課題マクロ作成 コーディング実習	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	課題マクロ作成 個別指導	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	課題マクロ作成 個別指導	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	課題マクロ作成 個別指導	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	課題マクロ作成 作成課題の提出	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	課題マクロ作成 課題の内容説明	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	課題マクロ作成 アルゴリズム解説	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	課題マクロ作成 コーディング実習	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	課題マクロ作成 コーディング実習	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	課題マクロ作成 個別指導	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	課題マクロ作成 個別指導	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	課題マクロ作成 作成課題の提出	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)

2 年後期

科目名	植物育成管理学				
担当者氏名	髙宮 さやか、山本 俊光				
授業方法	講義 単位・必選 2単位・必修 開講年次・開講期 2年・後期				
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力			題に関心を持ち、積極的に 」を学び地域に貢献できる		-

《授業の概要》

緑地の意義及びそれを構成する植物の形態、生理、生態などの 諸特性を理解を深め、実際に植物を育成管理のあり方を学ぶ。 とりわけ、県庁の林業技術職員を務めた実務家教員が、樹木の 生育環境や樹林の育成管理について、苗木の育成から樹林の造 成目的に合わせた管理の方法について講義を行う。

《授業の到達目標》

緑地環境の主役である植物の形態、生理、生態などの諸特性を 理解し、実際に植物を育成管理する際にその知見を応用するこ とができるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 20% 実技(樹木鑑定) 20%

《教科書》

- 1.緑地環境学
- 2. 絵解き植物生理学入門

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポートは提出後速やかに採点し、コメントを添えて返却するとともに、返却後、回答例を授業で解説する。

《成績評価基準》

樹木鑑定試験:12月に実施する樹木鑑定試験で70%以上の得点

であること。

レポート:期限内に提出し、60%以上の正答率であること。 筆記試験:レポートの成績と合算して、60%以上の得点である

こと。

《参考図書》

樹木医の手引き

《授業計画》 调	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	緑地環境と人間	予習:教科書 「緑地環境と人間生活」及び「人間と緑地環境」の頁に目を通しておく こと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
2	植物の生育と緑地環境	予習:教科書 「緑地植物の生育と緑地評価」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
3	樹木の特徴	予習:教科書 「木本緑地植物の種類と生態」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
4	樹木の構造と機能	予習:樹木医の手引き「樹木の構造と機能」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
5	植物の生理(水分)	予習:教科書 「第2章環境」の「水」の頁に目し通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
6	植物の生理(土壌)	予習:教科書 「 緑地植物の生育と緑地評価」の3.緑地の土壌環境評価の頁に目を通しておくこと(2時間)復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
7	植物の生理(気象)	予習:教科書 「 緑地植物の生育と緑地評価」の3.緑地の気象環境評価の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
8	植物の生理(光)	予習:教科書 「第2章環境」の「光」の頁に目し通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
9	植物の生理(光合成)	予習:教科書 「第5章光合成と代謝」の「光合成」の頁に目し通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
10	植物の生理(微生物)	予習:教科書 「第6章栄養」の頁に目し通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
11	植物の生理(微生物)	予習:樹木医の手引き「第6章樹木と菌類のかかわり」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
12	植物の生理(大気汚染)	予習:樹木医の手引き「第8章樹木と環境ストレス」の第2節大気汚染の診断と対策の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
13	育成管理 1	予習:教科書 「 緑地環境の創出と保全」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
14	育成管理 2	予習:教科書 「 緑地環境の創出と保全」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
15	まとめ	予習:教科書、配付した資料に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)

科目名	環境設計演習				
担当者氏名	勝野 靖弘				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP3 「環境	」を学び地域に貢献できる	技術を習得しているこ	ک .

《授業の概要》

近隣の公園などの敷地に新しい空間を作ることを想定してデザインしてもらいます。

手描きの図面作成。現況分析のまとめ。模型作成。イラストレーターでのプレゼンボード作成。簡潔で分かりすい発表。など、段階ごとに色々な方法でイメージを伝える技術を学んでもらいます。

《授業の到達目標》

環境(空間)デザインの手法と、自分のデザインイメージを表現する手法を学んでもらいます。敷地の詳細情報を把握し、周辺環境や利用者の気持ちなどを分析・想像しながら、「この場所にあったらいい」空間をデザインしてもらいます。自分のデザインの良さを人に伝えられるようにするために、図面作画、現況分析やコンセプトの表現、リアルなイメージを伝えるためのスケッチや写真の使い方などを学んでもらいます。

《成績評価の方法》

課題 70% 授業の取組 30%

《教科書》

特になし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う

《成績評価基準》

授業態度 30% (前半の分析資料作成貢献度など) 成果品完成度 70%

《参考図書》

ランドスケープデザイン ((株) マルモ出版) 庭 NIWA ((株) 建築資料研究社) 九州ウォーカー (KADOKAWA) など

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス・課題の設定	予習:色々なランドスケープ(実物・写真など)を見ておく 2h 復習:課題内容とスケジュールの再確認 1h
2	現地調査	予習:現地や関連施設等の下見。写真撮影、スケッチなどで理解を深める。6h 復習: 毎回の授業内容で受けたアドバイスに従い、メモやスケッチを丁寧に作成する。3h
3	テーマの決定	予習:現地や関連施設等の下見。写真撮影、スケッチなどで理解を深める。6h 復習: 毎回の授業内容で受けたアドバイスに従い、メモやスケッチを丁寧に作成する。3h
4	現地・敷地分析図の作成	予習:現地や関連施設等の下見。写真撮影、スケッチなどで理解を深める。6h 復習:毎回の授業内容で受けたアドバイスに従い、メモやスケッチを丁寧に作成する。3h
5	課題地の原図作成	予習:授業中は、アドバイスをもらったり、学生同士で情報交換する時間にするために、デザイン案の作成や事例収集・関連情報の調査などは授業前に用意しておく。 9h
6	コンセプトワーク・ラフ スケッチ等エスキス作成	予習:授業中は、アドバイスをもらったり、学生同士で情報交換する時間にするために、デザイン案の作成や事例収集・関連情報の調査などは授業前に用意しておく。 9h
7	コンセプトワーク・ラフ スケッチ等エスキス作成	予習:授業中は、アドバイスをもらったり、学生同士で情報交換する時間にするために、デザイン案の作成や事例収集・関連情報の調査などは授業前に用意しておく。 9h
8	平面図作成	予習:授業中は、アドバイスをもらったり、学生同士で情報交換しながら修正作業をする時間にするために、図面は授業前に作成しておく。 9h
9	平面図作成	予習:授業中は、アドバイスをもらったり、学生同士で情報交換しながら修正作業をする時間にするために、図面は授業前に作成しておく。 9h
10	パース・ダイヤグラムな どの作成	予習:授業中は、アドバイスをもらったり、学生同士で情報交換しながら修正作業をする時間にするために、図面は授業前に作成しておく。 9h
11	パース・ダイヤグラムな どの作成	予習:必要なデータを準備し、イラストレータの基本操作、編集やレイアウトのための 新機能を覚える。また図面表現や、編集技術について質問事項を準備しておく。9h
12	プレゼンテーション・資 料作成の作成	予習:必要なデータを準備し、イラストレータの基本操作、編集やレイアウトのための 新機能を覚える。また図面表現や、編集技術について質問事項を準備しておく。9h
13	プレゼンテーション・資 料作成の作成	予習:必要なデータを準備し、イラストレータの基本操作、編集やレイアウトのための 新機能を覚える。また図面表現や、編集技術について質問事項を準備しておく。9h
14	プレゼンテーション・資 料作成の作成	予習:プレゼンテーションの練習 2h 復習:指摘事項の修正4h
15	プレゼンテーション	予習: プレゼンテーションの練習 2h 復習:指摘事項の修正4h

科目名	都市計画				
担当者氏名	田中誠				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力	1-DP3 「環境	」を学び地域に貢献できる	技術を習得しているこ	<u>ځ.</u>

《授業の概要》

- 1. 都市の発達の歴史及び都市計画の制度等を体系的に講義す
- 2. 都市計画による計画的な都市整備について講義する。 3. 都市計画による緑地空間の確保について詳述する。
- 4. 近未来の都市計画等について講義する。

《授業の到達目標》

- 3. 都市計画による緑地空間の確保手法を習得する。以上のこ とを目標とする。

《教科書》

プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 レポート等は2週間以内にコメントをつけて返却する。

1. 都市計画全般の基礎知識を習得する。 2. 都市計画上の緑地空間の位置づけについて学ぶ。

筆記試験、レポート及び受講態度で評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 30% 授業の取組 10%

《参考図書》

《成績評価基準》

「欧米公園発達史」佐藤昌 (株)都市計画研究所、「都市計 画」樗木武 森北出版(株)

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
2	都市の歴史と都市計画	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
3	都市計画の定義と制度	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
4	都市計画の内容と決定等	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
5	都市計画区域と区域区分	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
6	地域地区による土地利用 と都市施設	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
7	都市計画と建築	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
8	市街地開発事業と都市の 再生	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
9	都市のオープンスペース	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
10	都市のオープンスペース	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
11	現地見学	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
12	都市景観と歴史的風致の まちづくり	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
13	都市の安全安心	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
14	都市計画の課題と近未来 の都市計画	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
15	まとめ	予習:都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)

科目名	住環境論				
担当者氏名	西川 真水				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP3 「環境	」を学び地域に貢献できる	技術を習得しているこ	と。

《授業の概要》

人間の生活する環境は地球上の広範囲に広がる。私たち日本で生活する者にとっては温帯モンスーンの湿潤な気候を考慮しなければならないし、近年の温暖化の影響を考えた住環境のあり方を意識しなければならない。私たち造園・ランドスケープに関わるデザイナー・技術者は様々な影響下で如何に住環境のデザイン・整備に関わっていくのか講義する。

《授業の到達目標》

造園・ランドスケープの視点から住環境の歴史を説明でき、 実際の計画・設計に関係づける。

都市環境・住環境に関する様々な知識・ボキャブラリーを説 明できる。

まちなみや地域環境を形成するデザインコードを発想し、実際に説明できる。

《成績評価の方法》

レポート 40% 課題 40% 授業の取組 20%

《教科書》

プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

最終的に提出された、ノート・レポートと課題は必要なコメントを添えて発表会後に返却する。

《成績評価基準》

到達目標 に対し、提出ノート・レポート(40%)で講義記録と予習復習が行われているか、また到達目標 に対して提出課題(40%)で、街並みや社会的要請が明確に理解され、造園・ランドスケープ分野のプランニングやデザインに展開できているかを評価し、さらに授業への取り組み態度を加えて総合的に成績を評価する。

《参考図書》

「エクステリアプランナーハンドブック」建築資料研究社 「向こう三軒両隣り」田中敏溥 / インデックス・コミュニケー ションズ

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス・都市の定義	予習:福岡のまちを実際に歩いてみておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義 で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
2	古代都市の生活空間	予習:福岡のまちを実際に歩いてみておく(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義 で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
3	ギリシャ・ローマ時代の都市(都市計画の始り)	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
4	人口集中する都市の生活 空間	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
5		予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
6		予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
7	住環境の尺度1(人口と面 積)	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
8	住環境の尺度2(法的側面)	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
9		予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
10	都市の保存(ローマ・中 世都市の現在)	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
11	アメニティとアセスメン ト	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
12	住環境に関する数学(応 用統計学)	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
13	住環境に関する数学(空 間情報工学)	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
14	住環境に関する数学(地 理情報システム)	予習:前回の講義ノートの確認(2時間) 復習:講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
15	GPS とまとめ	予習:前回の講義ノートの確認(3時間) 復習:講義ノートのまとめ(2時間)

科目名	環境保全論				
担当者氏名	宮島 淳二、山本 俊光、厚川 亮介				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力			題に関心を持ち、積極的に 」を学び地域に貢献できる		-

《授業の概要》

造園家の環境保全に対する社会的責務を学び、その上で一般的な環境保全の問題について学ぶ。最終的には現在社会で問題となっている「環境問題」は全地球あるいは惑星規模での問題であることについて学ぶ。また、「身近に起こっている環境問題」というテーマでグループ討議を行い発表する。県庁林業技術職を務めた実務家教員が森林・林業を対象とした自然環境の諸問題について解説する。

《授業の到達目標》

「環境問題」について、造園家の立場からの考えや一般的な環境保全の問題について学ぶことにより、現 在社会で問題となっている「環境問題」とはどういうものかを的確に理解し、自ら説明できるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 20% 授業の取組 20%

《教科書》

「地球環境がわかる」西岡秀三、宮崎忠国、村野健太郎技術評論社、「緑地環境学」永井富久、文永堂出版株式会社、ガイダンスで資料を配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 レポートは提出後速やかに採点し、コメントを添えて返却する とともに、返却後、解答例を授業で解説する。

《成績評価基準》

授業の取組み:グループ討議で積極的に発言したか、意見集約したか、または発表をしたか。発表に対して質問若しくは意見を述べたかいずれかの行動が確認できること。 レポート:提出期限内に提出し、規定文字数の90%以上の文字数で、誤字・脱字がなく、文脈に問題が無いこと。 筆記試験:授業の取組み、レポートとあわせて60%以上の得点であること。

《参考図書》

「造園施工管理技術編」(社)日本公園緑地協会、「自然保護」 よの生態学と社会学、吉田正人、地人書館

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習:環境保全に関する書籍、ニュース等から予習しておく(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
2		予習:造園施工管理技術編等造園に関する書籍で予習しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
3	エコロジーと環境保全、 環境倫理	予習:「自然保護」など参考書に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
4	地球と人間の歴史	予習:教科書「 人間と緑地環境」に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
5	地球環境問題	予習:地球環境に関する書籍、ニュース等から予習しておく(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
6	環境問題に直面する国々	予習:地球環境に関する書籍、ニュース等から予習しておく(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
7	リモートセンシング	予習:教科書「 緑地植物の生育と緑地評価」に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
8	身近で起こっている環境 問題 (グループ討議)	予習:地球環境に関する書籍、ニュース等から議題を準備しておく(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
9	森林測量	予習:事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
10	森林航測	予習:事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
11	測樹学	予習:事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
12	大気科学	予習:事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
13	地球発達史	予習:事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
14	惑星科学	予習:事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
15	まとめ	予習:教科書、配付した資料に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)

科目名	景観論				
担当者氏名	武林 晃司				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP3 「環境	」を学び地域に貢献できる	技術を習得しているこ	と。

《授業の概要》

景観の概念や構成要素、評価の視点等、景観とは何かということを学んでもらう。次に、実際の景観計画・デザインの手法をデザインの実例や景観シミュレーション等をもとに示すとともに、3回程度のワークショップにより景観計画・デザインを体験してもらう。福岡の景観形成に長年コンサルタントとして携わってきた実務家教員が実効性の高い手法を講義する。

《授業の到達目標》

トータルランドスケープ(景観)の中で極めて重要な役割を担う緑地を含む環境設計は、計画から設計・施工に至るまで対象が多岐にわたり、個人の住宅外構から都市景観にまで及ぶ。都市生活者は目に見える範囲をスケールや官民の区別なく景観として捉える。本講義では今後の景観の概念や構成要素、評価の視点を学ぶとともに、環境設計における景観の配慮のあり方、緑地の重要性等を理解してもらう。

《成績評価の方法》

筆記試験 90% 授業の取組 10%

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や解説の時間を設ける。

課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

筆記試験90%、授業の取組10%で評価する。

《参考図書》

景観論

G.エクボ、久保貞

《拇拳計画》

《授業計画》		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	景観の基本的な考え方	予習:シラバスに目を通すこと(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
2	景観の基本的な考え方	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
3	景観計画の役割と目的	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
4	景観の捉え方	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
5	景観の捉え方	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
6	景観計画のためのアプロ ーチ	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
7	景観計画のためのアプロ ーチ	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
8	景観計画のための調査・ 分析	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
9	景観計画のための調査・ 分析	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
10	景観計画のための調査・ 分析	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
11	景観の構造化のための視 点及び方法	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
12	景観の構造化のための視 点及び方法	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
13	景観の構造化のための視 点及び方法	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
14	景観の設計における提示 方法	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
15	景観形成と自然、緑の景 観的役割	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)

科目名	植物保護学				
担当者氏名	清水 進				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ			題に関心を持ち、積極的に 」を学び地域に貢献できる		-

《授業の概要》

植物に発生する病害や虫害を理解した上で、それらに対する効 果的防除法及び化学農薬の安全な使用法について解説致します

《教科書》

「最新・樹木医の手引き」日本緑化センター、 「植物医科学」養賢堂

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

緑地造成とその維持管理に必要な病害虫の適切な防除の基礎的な知識の習得を目指します。

《成績評価基準》

植物に発生する病害や虫害の種類とそれらの診断・防除技術の 理解度(筆記試験)、レポート内容および 授業への取組により評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 20% 授業の取組 20%

《参考図書》

なし

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	植物病害について 発生 、感染メカニズム	予習:シラバスに目を通すこと(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
2	植物病害について 病原 の種類と特徴	予習:病原の種類と特徴(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
3	植物病害について 主な 植物病害と防除	予習:ウイルス病と細菌病の防除(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
4	植物病害について 主な 植物病害と防除	予習:菌類病の防除(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
5	害虫について 害虫の形 態と分類	予習:昆虫綱の主な目の特徴(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
6	害虫について 害虫の種 類と食害部位	予習:主な害虫の食害部位(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
7	害虫について 主な害虫 の生態と防除	予習:主な土壌害虫の生態と防除(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
8	害虫について 主な害虫 の生態と防除	予習:主な害虫の生態と防除(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
9	害虫について 総合的害 虫管理	予習:総合的害虫管理(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
10	松くい虫被害とその防除 について	予習:松枯れ被害の状況(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
11	農薬について 人々の生 活と病害虫との関り	予習:農薬 の 歴 史(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
12	農薬について (殺虫剤 の種類及び作用機構)	予習:殺虫剤(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(13時間)
13	農薬について 殺菌剤剤 の種類及び作用機構	予習:殺菌剤(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
14	農薬について 安全評価 と登録農薬、使用方法	予習:農薬の安全な使用方法(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
15	まとめ	予習:配布プリントの整理と質問事項の摘出(2時間) 復習:授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)

科目名	造園関係法規				
担当者氏名	田代和則				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP2 社会問	題に関心を持ち、積極的に	:解決しようとすること	ができる。

《授業の概要》

- ・労働基準法や都市公園法など造園関係法規の背景、目的、概要及び重要なポイントのレクチャーを行う。
- ・法規と社会動向の関連付けを行い、社会動向の一般化について考える授業とする。
- ・11月の2級造園施工管理技術検定の基礎学習の機会とする。

《授業の到達目標》

- ・将来自分が関係する緑地環境分野の法規について、概要、基本的遵守事項を説明できるようになる。
- ・法規を学ぶことで、実社会における判断に応用できるようになる。
- ・緑地環境分野の資格に必要な知識を習得する。(資格試験一部免除の必須授業)

《成績評価の方法》

筆記試験 70% 授業の取組 30%

《教科書》

適宜、プリント、関係する新聞記事等を配布します。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

・質問については、適宜受付、回答します。

《成績評価基準》

- ・造園関連法規の基本的事項を理解できているか
- ・造園関連法規を理解し、実社会の課題との関係性を理解でき ているか

《参考図書》

『造園施工管理(法規編)』(一社)日本公園緑地協会

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	建設業法	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間
2	労働基準法・労働安全衛 生法	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間
3	都市計画法	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間
4	都市公園法	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間
5	都市緑地法	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間
6	環境基本法・生物多様性 基本法	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間
7	自然公園法・自然環境保 全法	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間
8	土地区画整理法・宅地造 成等規制法	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間
9	建築基準法	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間
10	環境影響評価法(環境アセスメント法)	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間
11	世界遺産	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間
12	景観法	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間
13	文化財保護法	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間
14	造園関係法規の最新動向 及び法律改正解釈	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間
15	総括及び応用	予習:法律用語の予習 2時間 復習:基本的事項の確認、社会課題との関係確認 2時間

科目名	ガーデン管理演習				
担当者氏名	小才 寛康、永島 知子、藤原 良治、秦 忠広				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力			」を学び地域に貢献できる 『高度な「作庭技術」や「快通		-

《授業の概要》

ガーデン演出を行う再の作業手順や作業効率などを演習を通じて学習し、より合理的な取り組みを追求していきます。

ていきます。 メンテナンスでは、季節の移り変わりと植物の生育に応じた植 栽管理を行い学習していきます。

日頃から植物の生育をよく観察し、特徴を捉えて植物名を覚え ていきましょう。

《授業の到達目標》

- ・ガーデン演出の組み立てを理解して習得する。
- ・植物の性質と特徴を学習して数多くの植物名を覚える。

《教科書》

「造園施工管理 施術編」公園緑地協会

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

授業の取組50%、実技50%で評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート % 課題 % 実技 50% 授業の取組 50% その他() %

《参考図書》

適宜紹介します。

《按美計画》		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガーデン観察及びメンテ ナンス	シラバスを熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	ナンス	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	ガーデン観察及びメンテ ナンス	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	演出の管理技術	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	演出の管理技術	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	演出の管理技術	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7		演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8		演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9		演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	ガーデンエレメントの制 作	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	ガーデンエレメントの制 作	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	ガーデンエレメントの制 作	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	清掃	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	学外ガーデン管理見学	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	まとめ	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

科目名	フラワーコーテ゛ィネーション				
担当者氏名	野口静香				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力	1-DP1 社会人と(しての教養と豊かな人間性を備 え	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。

《授業の概要》

1年生でフラワーの授業を受けなかった学生も受けた学生も造型・表現方法・花や植物を使った可能性、いろいろ使って作っていく商品として通用する作品。(花材は別途必要です)

《教科書》

フラワーデザイン入門(資格取得に役立つ)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 課題作品の講評や解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

植物・花に携さわる職業に就く事を前提に生活空間における自由な発想で花や緑を装飾、デザインできる。花を通して自分の個性が表現でき人とのコミュニケーションできる総合的にできるデザイナーになれる。

《成績評価基準》

植物、素材の扱い方、教科書の作品例を見て自分なりの工夫、 個性、感性、作る姿勢等総合評価します。

《成績評価の方法》

実技 授業の取組 50 %

《参考図書》

なし

《投業計画》		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	フラワートピアリー制作 と由来	予習:シラバスを熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	オータムギフトアレンジ	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	ハロウィンアレンジメン ト	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	色彩の変化を感じる花束 とラッピング	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	プリザーブドフラワーア レンジ	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	木の実を使ってフラワー ケーキ	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	木の実のオーナメント	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	ドライフラワー使ってハ ーバリウム	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	クリスマスツリーアレン ジ	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	クリスマスリース	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	お正月 門松、リース 制作	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	お正月 生花アレンジ メント	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	成人式、髪飾り、ギフト アレンジ	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	バレンタインギフトアレ ンジ	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	テーブルコーディネイト	予習:教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

科目名	園芸福祉				
担当者氏名	山本 俊光				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力	,	しての教養と豊かな人間性を備 題に関心を持ち、積極的に	-,	

《授業の概要》

授業形態は講義を基本とするが、園芸福祉の実際は演習を通 じて行う。栽培を基本として植物を介して環境、教育、健康福 祉まちづくりに関わっていくノウハウを学ぶ。

『園芸福祉入門』進士五十八・吉長成恭監修日本園芸福祉普 及協会編

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 小試験、レポートなどは採点し返却する。

《授業の到達目標》

植物を介した活動が人の心身に与える影響について理解する 園芸福祉士合格レベルまで理解を深める。 園芸福祉士を目指す意義を理解する。

《成績評価基準》

レポート、課題の取り組む意欲と態度、提出状況 授業内容を網羅した筆記試験が6割以上であること

《成績評価の方法》

筆記試験80% レポート10% 課題10% 実技 % 授業の取組 % その他()%

《参考図書》

- 『園芸療法を探る』2000松尾英輔グリーン情報
- 『園芸社会学』1998ダイアン・レルフマルモ出版社株式会社

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	教科書の序章を読んでおく 話を振り返りながら大事なところに線を引く
2	車椅子体験	体験したことを振り返る 用具の名称、使い方を整理する
3	第1章 園芸福祉の活動 とは(1)	教科書p27から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
4	第1章 園芸福祉の活動 とは(2)	教科書p41から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
5	第2章 活動を地域のな かに普及する(1)	教科書p63から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
6	かに普及する(2)	教科書p80から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
7	第3章 コミュニティづくりに生かす(1)	教科書p93から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
8	くりに生かす(2)	教科書p118から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
9	第4章 植物をよく知り 活用しよう(1)	教科書p133から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
10	第4章 植物をよく知り 活用しよう(2)	教科書p159から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
11	プログラム(1)	教科書p179から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
12	第5章 誰もが楽しめる プログラム(2)	教科書p198から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
13	作業分析の考え方と実践	園芸作業についてわかりやすく伝えるための方法について学ぶ ノートに整理して実践できる様にしておく
14	園芸福祉の実践例	実践例を見て自分の考えをまとめる
15	授業のまとめ	園芸福祉とは何かについて正しく理解し言葉で表現できるようにまとめる

科目名	企業実習				
担当者氏名	(専任)				
授業方法	実習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP1 社会人と	しての教養と豊かな人間性を備え	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。

《授業の概要》

実務を通じて造園・園芸・自然環境など緑地技術・技能・知識のレベルアップにつなげる。 業界の最新知識や動向を得る。 企業の実践的な考え方と仕事の進め方を習得する。社会人としての心構えおよびビジネスマナーを習得する。就職活動の一環等を目的に造園・ガーデン・エクステリアの設計・施工・管理運営・園芸栽培・販売など、造園・園芸・自然環境に関連する分野での実習を行う。

《授業の到達目標》

企業実習を通じてキャリアデザインを明確にすることができる

《成績評価の方法》

その他(報告書・日報等) 100%

《教科書》

使用しない

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実習報告書、実習日報は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

評価は研修先の受け入れ担当者の評価(実習評価表)と実習報告書、実習日報をもとに担当教員が学則27条の規定に基づいて評価を行う。

《参考図書》

「短大生の就活編」株式会社ディスコ

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	事前研修・安全教育	予習:企業研究をすること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
2	企業との打ち合わせ	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
3	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
4	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
5	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
6	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
7	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
8	修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
9	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
10	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
11	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
12	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
13	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
14	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)
15	企業・団体の現場での研 修	予習:前日の企業での研修内容を把握すること(1時間) 復習:学んだ内容を復習・整理しておくこと(1時間)

科目名	造園施工管理演習				
担当者氏名	(未定)				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP1 社会人と(しての教養と豊かな人間性を備 え	え、誠実で責任感が強く、良	識をわきまえた言動ができる。

《授業の概要》

造園施工管理技術検定において、過去に出題された問題を解説 しながら解く。

検定では実務の経験がないと理解しにくい分野もあるため、現 場の実情と合わせて解説する。

《授業の到達目標》

2級造園施工管理技術検定学科試験合格を目標とする。検定は 11月に実施されるため、10月までの間に週2回の授業を行う。

《成績評価の方法》

授業への取組 80% 時間内に行う模擬試験 20%

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 課題は、1週間以内に返却する。

《成績評価基準》

本科目は単位認定科目ではない。 授業への取組80%、模擬試験の正答率20%。

《参考図書》

「造園施工管理技術編」(社)日本公園緑地協会

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	過去問題解答・解説 造園史・土壌	予習:シラバスに目を通すこと(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
2	過去問題解答・解説 肥料・品質寸法規格	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
3	過去問題解答・解説 植物材料・石材	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
4		予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
5	過去問題解答・解説 剪定・病害虫	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
6		予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
7	過去問題解答・解説 運動施設・修景施設	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
8	過去問題解答・解説 土工・コンクリートエ	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
9	過去問題解答・解説 擁壁・舗装・排水	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
10	過去問題解答・解説 建築・電気・給水	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
11		予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
12	過去問題解答・解説 施工計画・工程計画	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
13	過去問題解答・解説 安全管理・品質管理	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
14	過去問題解答・解説 建設業法・労働基準法	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
15	模擬試験	予習:前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習:授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)

科目名	検定読解				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ					

《授業の概要》

日本語能力試験のN1を目標とした読解力を上げるための練習を行います。ポイント別学習や模擬問題での練習を行うことで、実践的な力を習得します。授業は課題の解説を主に行うため、予習した上で授業を受け、授業の内容を覚えているうちに復習し、次回の課題に取り組むようにしてください。課題忘れ、欠席のないよう自己管理を行ってください。

《授業の到達目標》

- ・幅広い話題について書かれた論説・評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、理解することができる。
- ・さまざまな内容の深みのある読み物を読んで、話の流れや表 現意図を理解することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート % 課題 30% 実技 % 授業の取組 30% その他() %

《教科書》

日本語能力試験問題集N1読解スピードマスター (Jリサーチ出版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は、次の授業時に解説する。

理解度を確かめるために適宜小テストを実施し、添削して返却 する。

《成績評価基準》

- ・段落ごとの要旨を理解できていたか。
- ・文の構成と後に続く文へのつながりを理解できていたか。
- ・抽象的な文章を理解できていたか。

以上について、小テストや期末テストで総合的に評価します。

《参考図書》

日本語能力試験N1関連問題集

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	文章の仕組み復習 対比・比喩・指示語等	予習:科目内容の確認 30分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
2	ール・広告	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
3	情報検索 説明書き・表リスト	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
4	内容理解 中文	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
5	内容理解 長文	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
6	主張理解中文	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
7	主張理解 長文	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
8	統合理解	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
9	統合理解	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
10	模擬試験	予習:模試の準備 60分 復習:模試の見直し 60分
11	模擬試験の解説	予習:模試のやり直し 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
12	模擬試験	予習:模試の準備 60分 復習:模試の見直し 60分
13	模擬試験の解説 過去問題	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
14	過去問題 解説 過去問題	予習:課題 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分
15	試験 まとめ	予習:期末試験の準備 60分 復習:授業で学習した語彙・文法の復習 60分

科目名	検定文法				
担当者氏名	(未定)				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力				

《授業の概要》 《教科書》

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

《授業の到達目標》

《成績評価基準》

《成績評価の方法》

 (双線計画やバス)

 筆記試験
 % レポート %

 課題
 % 実技 %

 授業の取組
 % その他() %

《参考図書》

《授業計画》 週	授業のテーマ	之羽山灾/吐明),有羽山灾/吐明)
迴	授業のケーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名	日越通訳				
担当者氏名	BUI THI THU SANG				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力				

《授業の概要》

行政の手続きや医療、司法、教育、観光、ビジネス、放送においてシナリオ通訳を行い、実際の通訳現場を見学したり、実習に行ったりする。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 課題が提出された後、一週間以内フィードバックする。

《授業の到達目標》

通訳概論を受講した後、日越通訳者を目指している中級以上の日本語能力を持つ学生は通訳現場見学・実習やシナリオ通訳を 通して、実践的な知識と技術を身につける。

《成績評価基準》

通訳現場の見学・実習後の報告書 シナリオ通訳の実技 シナリオ通訳の事前準備

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート % 課題 50% 実技 30% 授業の取組 20% その他() %

《参考図書》

「通訳の技術」小松達也 (研究社)

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	日越通訳の基本	予習内容(2時間)事前配布資料を予習する 復習内容(2時間)講義のパワーポイントを復習して、ノートにまとめる
2	行政通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
3	行政通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
4	医療通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
5	医療通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
6	司法通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
7	司法通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
8	教育通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
9	教育通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
10	案内通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
11	案内通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
12	ビジネス通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
13	ビジネス通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
14	ビジネス通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新
15	放送通訳	予習内容(2時間)事前準備 復習内容(2時間)自己評価、通訳用単語帳更新

科目名	ビジネスコミュニケーション				
担当者氏名	永吉 美知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力				

《授業の概要》

本科目は現代社会の出来事を多角的かつ公正な視野で理解 、判断して その課題を話し合いながら解決策を探るための コミュニケーションスキルやレテラシーを育成する。

《教科書》

適宜プリント配布

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 授業内で課題を考え 解説を行う。

《授業の到達目標》

- ・ インターネット・新聞・論文などを理解し 使い分ける
- ・ リテラシーを伸ばす
- ・ 高いコミュニケーション能力を身に着ける

《成績評価基準》

客観的なデータをもとに 自分の意見を明確に伝達することで 相手方とコミュニケーションを構築できるようなっているか。

《成績評価の方法》

筆記試験40% レポート % 課題30 % 実技 % 授業の取組30 % その他() %

《参考図書》

堀公俊「ビジネススキル図鑑」

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 出生前診断	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
2	地球をまもるために 地球温暖化	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
3	地球を守るために 多様化	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
4	世界の平和 難民・移民	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
5	GDPと金融政策 円安	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
6	日本の産業 5Gとフランチャイズ	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
7	人口減少 少子化対策	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
8	増える社会保障 公的保険制度	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
9	変わりゆく働き方 ハラスメント	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
10	変わりゆく働き方 待遇差・高プロ	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
11	かわりゆく働き方 ジェンダーギャップ	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
12	アメリカと中国 中国と台湾	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
13	核兵器の中の世界 核兵器は平和手段か	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
14	日本的生産方式 トヨタ	予習:新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
15	総復習	復習: 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)

科目名	実践的プログラミング演習				
担当者氏名	柿山 達哉、常岡 直樹				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリ 重点的に身につ	マポリシーに基づいて 身につける能力				

《授業の概要》

Windows操作 メール操作の習熟 Excelの有効活用 実社会でのパソコンの利用例体験 自力でプログラム作成 上記内容を中心に総合的な活用術を習得する。 週ごとのテーマは学生の理解度に合わせて変更する。

《授業の到達目標》

2年間でパソコンを実際に活用できる力を身に着けることが目標。

演習 では自分でどんなプログラムを作るか考え、実際に作ることができるようになるのが目標。

不明点を自分で解決する力を身につけることも目標。

《成績評価の方法》

課題60% 授業の取組40%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義毎に課題を出し、提出された課題の評価で成績を評価する。毎回の積み上げなので、出席率の低下と課題の提出率の低下 は比例するため、出席率が悪いと評価は下がる。

《成績評価基準》

- ・講義に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・課題を理解して自分の力として身に着けることができたか。
- ・講義を楽しむことができたか。

《参考図書》

講義の内容にあわせて、各種説明資料等を講師が作成し配布する。

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	課題マクロ作成 課題の内容説明	予習:なし 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	課題マクロ作成 アルゴリズム解説	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	課題マクロ作成 コーディング実習	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	課題マクロ作成 コーディング実習	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	課題マクロ作成 個別指導	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	課題マクロ作成 個別指導	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	課題マクロ作成 個別指導	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	課題マクロ作成 作成課題の提出	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	自由課題マクロ作成 課題の内容説明	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	自由課題マクロ作成 自由課題の決定	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	自由課題マクロ作成 個別指導	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	自由課題マクロ作成 個別指導	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	自由課題マクロ作成 成果発表	予習:前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習:理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)

2 年 通 年

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	山本 俊光				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年 (前期)
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP2 社会問	題に関心を持ち、積極的に	:解決しようとすること	ができる。

《授業の概要》

園芸福祉ガーデンの企画、運営、管理を行う。 園芸福祉ガーデンに必要なものの企画、設計、施工を行う。 コンテストなどへの出展を積極的に行う。

《授業の到達目標》

- 1 ユニバーサルデザインの理念と基礎を学び、安全で安心な暮らしを理解する。
- 2 植物を介して人とのつながりを深め、利他的な考え方を身につけ。共感する心を養う。
- 3 植物の育成管理を通して、生きているものへの理解と愛着を養う。
- 4 地域社会に貢献するやりがいと達成感を味わう。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート40% 課題 % 実技 % 授業の取組60% その他() %

《教科書》

松尾英輔2005年『社会園芸学のすすめー環境・教育・福祉・ まちづくリー』農山漁村文化協会

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 レポートについてはレベルに達するまで添削を行う。

《成績評価基準》

レポートの提出状況、内容、授業への取り組みで判断する。

《参考図書》

『ボランティア時代の緑のまちづくり』(進士五十八)東京農業大学出版会『安らぎと緑の公園づくり』(浅野房代・三宅祥介)鹿島出版会

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	ガイダンスから自分の課題を考え、調べ学習を始める(2時間)。
2	講読 1	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
3	講読 2	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1 時間)。
4	講読 3	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
5	講読 4	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1 時間)。
6	講読 5	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
7	講読 6	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
8	発表 1	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
9	発表 2	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
10	発表 3	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
11	発表 4	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
12	発表 5	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
13	発表 6	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
14	中間まとめ 1	中間まとめに向かってこれまでを振り返り整理する(2時間)。
15	中間まとめ 2	中間まとめに向かってこれまでを振り返り整理する(2時間)。

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	西川 真水				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年 (前期)
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP2 社会問	題に関心を持ち、積極的に	解決しようとすること	ができる。

《授業の概要》

1. ランドスケープデザイン,2. コトとしてのデザインの在り方、3. 社会・環境貢献できるデザインと技術を持ったランドスケープアーキテクトへの成長の大きく3点をこのゼミでのミッションとしたい。そして理論としてのランドスケープデザインのみならず、現場・敷地・素材からデザインにアプローチすることに主眼を置き、空間制作、プレゼンテーション、対話の3つの方法でミッションへのアプローチを行う。

《授業の到達目標》

社会的な課題ををとらえ、敷地を読み取りながら、明確なランドスケープのデザインプロセスを通して実際に複数の空間制作を行う。 手描き、CAD、模型など空間デザインを伝えるための、様々な手法で表現できる。 illustrator などのアプリケーションを活用し、デザインを伝える提案・レイアウトができる。 勉強会の企画・参加、空間制作などをとおし様々な人と対話・交流し、コミュニケーション・人脈づくりを行う。

《成績評価の方法》

筆記試験% レポート※課題% 実技%

授業の取組 30 % その他() 70 %

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

空間デザインに関してはエスキスの段階で定期的にチーム単位でチェックと講評を行う。またポートフォリオに関しても年4回のチェックを設けコメントをつけ返却する。

《成績評価基準》

ポートフォリオおよび作品成果品60%、受講態度30%、発表10%の構成で、到達目標 ~ に加え、授業内で設定する課題の達成度に対応して総合的に評価する。

《参考図書》

ランドスケープデザインの視座/宮城俊作/学芸出版社

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習:自分の課題などをノートに整理しておく 復習:ディスカッションした内容をノートに整理する
2	場を訪ねる	予習:企業について調べ、質問などを考える 復習:写真、メモの整理
3		予習:企業について調べ、質問などを考える 復習:写真、メモの整理
4	リサーチの方法と分析	予習:事前配布された資料を確認しておく 復習:データを整理
5	リサーチの方法と分析	予習:配布資料を確認しておく 復習:データを整理
6	ポートフォリオの制作1	予習:ノート・メモ・写真の記録を整理しておく 復習:目次の作成と確認
7	デザイン1	予習:指定された課題のエスキスの作成 復習:エスキスの修正、問題点の整理を行う
8	空間施工1	予習:施工方法・施工計画の確認をしておく 復習:施工写真と問題点の整理
9	空間施工2	予習:施工方法・施工計画の確認をしておく 復習:施工写真と問題点の整理
10	デザイン2	予習:指定された課題のエスキスの作成 復習:エスキスの修正、問題点の整理を行う
11	デザイン3	予習:指定された課題のエスキスの作成 復習:エスキスの修正、問題点の整理を行う
12	植物の栽培と管理	予習:植物の名前を調べておく 復習:写真の整理
13	植物の栽培と管理	予習:植物の特性を調べておく 復習:写真の整理
14	空間施工3	予習:施工方法・施工計画の確認をしておく 復習:問題点の整理
15	空間施工4	予習:施工方法・施工計画の確認をしておく 復習:問題点の整理

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	宮島淳二				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年 (前期)
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力	1-DP2 社会問	題に関心を持ち、積極的に	解決しようとすること	ができる。

《授業の概要》

昆虫の調査方法を学び、それにより環境評価を行った文献を学ぶ。これを基に身近にある西公園や大濠公園等において、チョウ類の生息状況調査を定期的に行うとともに、植生調査を行い、チョウ相の季節変化の把握や環境評価に取り組む。担任の宮島教授は前職が県の技術職(研究職)であったことから、長年の経験を生かして、森林調査や生物調査のとりまとめ方に現場で適宜指導する。

《授業の到達目標》

チョウ類、植生など生物調査の方法を身につけ、主体的に動いてデータ収集ができるようになる。また、収集したデータを基に、分析して自然環境を評価できるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート % 課題 50% 実技 % 授業の取組50% その他() %

《教科書》

フィールドガイド日本のチョウ (年度当初に配布する。) 必要に応じて資料を配付する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

校外研修などを行った場合は、レポートを課す。また、調査のつど、説明を行ったり、質問したりして、学生の調査への積極性や自主的な学習量を判断する。

《成績評価基準》

授業の取り組み:教室での論文講読、現地での活動で他のメンバーと協力して、積極的に取り組んでいるか、また、チョウ類や植物の同定でできるか評価する。

《参考図書》

「昆虫の図鑑 採集と標本の作り方」福山晴夫ほか、南方新社、「葉で見分ける樹木」林将之、小学館、「チョウの調べ方」日本環境動物昆虫学会編、文教出版

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習:事前にメールされた内容を熟読して、チョウ類を記憶しておくこと(2時間) 復習:授業で学んだことを配付資料、参考書を使って確認する。(1時間)
2	第1回現地調査(西公園・大濠公園)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
3	第1回現地調査(二丈キャンパス)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
4	第2回現地調査(西公園・大濠公園)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合してその特徴を確認・記憶する(1時間)
5	第2回現地調査(二丈キャンパス)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
6	第3回チョウ類調査(西 公園・大濠公園)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
7	第3回チョウ類調査(二 丈キャンパス)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
8	第4回チョウ類調査(西 公園・大濠公園)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
9	第4回チョウ類調査(二 丈キャンパス)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
10	いのちのたび博物館見学	予習:いのちのたび博物館をネットで調べ、事前に博物館を調べる(1時間) 復習:見学した内容を整理し、レポートを作成する。(2時間)
11	第5回チョウ類調査(西 公園・大濠公園)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
12	第5回チョウ類調査(二 丈キャンパス)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
13	第6回チョウ調査(西公 園・大濠公園)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
14	第7回チョウ類調査(西 公園・大濠公園)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
15	中間発表	予習:7回までに調査データを整理し、レジュメ・パワポにまとめる。(10時間) 復習:発表に対し、指摘があったことを精査し、内容を修正する。(2時間)

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	髙宮 さやか				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年 (前期)
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP2 社会問	題に関心を持ち、積極的に	:解決しようとすること:	ができる。

《授業の概要》

庭園・緑地の設計・施工・維持管理及び提案などの作業を通じて「庭園とはなにか」を考えるために、『作庭記』のほか適宜、文献講読 研究課題に沿った調査・分析や設計・施工、または提案書・模型の作成等 文化財庭園の維持管理作業への参加 維持管理に必要な樹木保全技術習得の一環として樹木簡易診断を行う。 の作業は造園会社で設計・施工・営業を担当してきた実務家教員が、実務に役立つ方法で指導する

《授業の到達目標》

日本庭園の文化的背景と伝統的作庭技法を学び、これを出発点として今後の我が国の庭園・緑地の在り方を考えることができるようになる。

古今東西の庭園を様々な角度から考察し、その源泉である文化 や自然観に触れ、各人の庭園観を確立する。

《成績評価の方法》

課題 40% 授業の取組 50% その他(発表) 10%

《教科書》

小埜雅章『図解 庭師が読みとく作庭記・山水並野形図』学芸 出版社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 添削して1週間以内に返却する。

《成績評価基準》

演習への取組態度と成果品の仕上がりを重視する。 発表への取組態度とその表現力も評価する。

《参考図書》

(一財)日本緑化センター『最新・樹木医の手引き』

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1		予習:『作庭記』成立について調べておく(2時間) 復習:見学した庭園のレポート作成(2時間)
2		予習:研究課題の検討(2時間) 復習:指摘事項について考察・解決(2時間)
3	『作庭記』講読、解説 研究課題の発表、討論	予習:研究課題の資料検索(2時間) 復習:指摘事項について考察・解決(2時間)
4		予習:研究課題の内容洗い出し(2時間) 復習:指摘事項について考察・解決(2時間)
5		予習:研究課題の内容洗い出し(2時間) 復習:指摘事項の整理・解決(2時間)
6	資料収集・調査・設計	予習:先行研究や文献資料の検索(2時間) 復習:指摘事項の整理・解決(2時間)
7	資料収集・調査・設計・ 施工計画	予習:先行研究や文献資料の検索(2時間) 復習:指摘事項の整理・解決(2時間)
8	調査・設計・施工	予習:作業の準備(2時間) 復習:進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)
9	調査・設計・施工	予習:作業の準備(2時間) 復習:進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)
10	調査・設計・施工	予習:作業の準備(2時間) 復習:進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)
11		予習:作業の準備(2時間) 復習:進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)
12		予習:中間発表の準備(2時間) 復習:指摘事項の整理・解決(2時間)
13	調査・設計・施工・提案 書作成	予習:作業の準備(2時間) 復習:進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)
14	書作成	予習:作業の準備(2時間) 復習:進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)
15	中間まとめ	予習:中間発表の準備(2時間) 復習:指摘事項の整理・解決(2時間)

科目名	ガーデニング実習				
担当者氏名	西川 真水、宮島 淳二、髙宮 さやか、山本 俊光				
授業方法	実習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年 (前期)
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-DP2 社会問	題に関心を持ち、積極的に	解決しようとすること	ができる。

《授業の概要》

1年次に各コースの特性に合わせて学んだ現場スキルと、様々な講義科目などを通して得た知見、また設計演習で学んだ空間作りの基本プロセスを土台に、本実習では、ゼミナールごとに敷地空間の設計から施工までを行う。二丈キャンパス等においてゼミナール別にテーマ・敷地条件を設定し、平面図・詳細図等の設計図書を作成し、このデザインをもとに施工を行うことで、構想・計画・設計・施工までのプロセスを学ぶ。

《授業の到達目標》

- ・造園・ランドスケープ・緑地環境に関わる空間の構想・計画
- ・設計・施工管理・維持管理等の一連の作業の流れを学ぶ。
- ・実地での技術を各論として学んだ総合実習(1年次通年科目)の成果や専門科目で得た知識を基礎に総合化し、集約的に再習得する。

《成績評価の方法》

実技 30% 授業の取組 50% その他(設計計画) 20%

《教科書》

使用しない

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

授業の取組及び技術習得の度合いを総合評価。授業の取組50% 、実技30%、設計計画20%で評価する。

《参考図書》

造園施工管理技術編 造園施工必携 建設物価

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習:シラバスを熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	整地・測量	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	遣方	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	現地調査及び測量	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	現地調査及び測量	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	現地調査及び測量	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	構想	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	構想	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	計画・設計	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	計画・設計	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	計画・設計	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	地形分析と敷地分析	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	地形分析と敷地分析	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	積算・工程計画	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	積算・工程計画	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

科目名	測量実習				
担当者氏名	田上 博、永島 知子				
授業方法	実習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・通年 (前期)
	1-DP4 伝統的で活 ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		高度な「作庭技術」や「快通	適な生活環境を創造できる	技術」を習得していること。

《授業の概要》

「測量実習」を基礎としてより実践的な測量に関する技術を習得する実習です。造園の設計・施工に必要な平面測量・路線測量の理論と実習を行います。同時に GPS や GIS を活用した新しい測量に関する実習も行います。

コンピュータによる実習では Excel・ArcGIS・Google Map などを使います。関数電卓と製図道具が必要です。

《授業の到達目標》

距離測量・水準測量・角測量など、それぞれの測量を行うだけでなく、それらの結果を用いて座標計算を行うなど応用的な測量ができるようになる。また、表計算ソフトを活用して測量計算など、実務に活用できる技術を身につける。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% 課題 30% 授業の取組 30%

《教科書》

細川 吉晴他著「よくわかる測量実習」 (コロナ社) プリントを配布します

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 日報・課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は実習の取組 30%、日報及び課題の評価30%、試験40%とする。

《参考図書》

吉澤 孝和著「図解 測量学要論」 (日本測量協会)

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	算基礎	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
2	測量計算について	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
3	トータルステーションの 取り扱い	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
4	角度と距離の測定	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
5	角度と距離の測定	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
6	トラバース測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
7	トラバース測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
8	二丈キャンパスのトラバ ース測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
9	二丈キャンパスのトラバ ース測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
10	二丈キャンパスのトラバ ース測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
11	二丈キャンパスのトラバ ース測量まとめ	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
12	二丈キャンパスのトラバ ース測量まとめ	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
13	二丈キャンパスの細部測 量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
14	二丈キャンパスの細部測 量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
15	まとめ	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	西川 真水				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年 (後期)
ディプロマポリ 重点的に身につ		1-DP2 社会問	題に関心を持ち、積極的に	:解決しようとすること:	ができる。

《授業の概要》

1. ランドスケープデザイン、2. コトとしてのデザインの在り方、3. 社会・環境貢献できるデザインと技術を持ったランドスケープアーキテクトへの成長の大きく3点をこのゼミでのミッションとしたい。そして理論としてのランドスケープデザインのみならず、現場・敷地・素材からデザインにアプローチすることに主眼を置き、空間制作、プレゼンテーション、対話の3つの方法でミッションへのアプローチを行う。

《授業の到達目標》

社会的な課題ををとらえ、敷地を読み取りながら、明確なランドスケープのデザインプロセスを通して実際に複数の空間制作を行う。 手描き、CAD、模型など空間デザインを伝えるための、様々な手法で表現できる。 illustrator などのアプリケーションを活用し、デザインを伝える提案・レイアウトができる。 勉強会の企画・参加、空間制作などをとおし、様々な人と対話・交流し、コミュニケーション・人脈づくりを行う

《成績評価の方法》

筆記試験%レポート%課題%実技%

授業の取組 30 % その他() 70 %

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

空間デザインに関してはエスキスの段階で定期的にチーム単位でチェックと講評を行う。またポートフォリオに関しても年4回のチェックを設けコメントをつけ返却する。

《成績評価基準》

ポートフォリオおよび作品成果品60%、受講態度30%、発表10%の構成で、到達目標 ~ に加え、授業内で設定する課題の達成度に対応して総合的に評価する。

《参考図書》

ランドスケープデザインの視座/宮城俊作/学芸出版社

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	生産地見学	予習:インターネットなどで生産地の特性などを調べておく 復習:写真、メモなどを整理しておく
2	素材のリサーチ	予習:インターネットなどで指定された素材について調べておく 復習:写真、問題点の整理
3	素材のリサーチ	予習:インターネットなどで指定された素材について調べておく 復習:写真・資料の整理
4	デザイン4	予習:指定された課題のエスキスの作成 復習:エスキスの修正、問題点の整理を行う
5	デザイン5	予習:指定された課題のエスキスの作成 復習:エスキスの修正、問題点の整理を行う
6	デザイン6	予習:設計図書の作成 復習:問題点の整理
7	デザイン7	予習:設計図書の作成 復習:問題点の整理
8	空間施工5	予習:施工方法・施工計画の確認をしておく 復習:問題点の整理
9	空間施工6	予習:施工方法・施工計画の確認をしておく 復習:問題点の整理
10	プレゼンテーション	予習:過去のデータの確認 復習:問題点の整理
11	プレゼンテーション	予習:パワーポイント・illus-trator のデータの作成 復習:指摘された問題点の修正
12	プレゼンテーション	予習:発表の準備 復習:問題点の整理
13	報告書とプレゼンテーション資料制作	予習: ノート・メモ・写真の記録を整理しておく 復習: 問題点の修正
14	報告書とプレゼンテーション資料制作	予習: ノート・メモ・写真の記録を整理しておく 復習: 問題点の修正
15	ポートフォリオの制作2 	予習:図面・エスキス・写真・記録などのの整理 復習:レイアウトの問題点の修正

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	宮島淳二				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年 (後期)
ディプロマポリ 重点的に身につ	シーに基づいて ける能力	1-DP2 社会問	題に関心を持ち、積極的に	解決しようとすること	ができる。

《授業の概要》

昆虫の調査方法を学び、それにより環境評価を行った文献を学ぶ。これを基に身近にある西公園や大濠公園等において、チョウ類の生息状況調査を定期的に行うとともに、植生調査を行い、チョウ相の季節変化の把握や環境評価に取り組む。担任の宮島教授は前職が県の技術職(研究職)であったことから、長年の経験を生かして、森林調査や生物調査のとりまとめ方に現場で適宜指導する。

《授業の到達目標》

チョウ類、植生など生物調査の方法を身につけ、主体的に動いてデータ収集ができるようになる。また、収集したデータを基に、分析して自然環境を評価できるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート % 課題 50% 実技 % 授業の取組50% その他() %

《教科書》

フィールドガイド日本のチョウ (年度当初に配布する。)必要に応じて資料を配付する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

校外研修などを行った場合は、レポートを課す。また、調査のつど、説明を行ったり、質問したりして、学生の調査への積極性や自主的な学習量を判断する。

《成績評価基準》

授業の取り組み:教室での論文講読、現地での活動で他のメンバーと協力して、積極的に取り組んでいるか、また、チョウ類や植物の同定でできるか評価する。

《参考図書》

「昆虫の図鑑 採集と標本の作り方」福山晴夫ほか、南方新社、「葉で見分ける樹木」林将之、小学館、「チョウの調べ方」日本環境動物昆虫学会編、文教出版

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	キャンパス)	予習:事前にメールされた内容を熟読して、チョウ類を記憶しておくこと(2時間) 復習:授業で学んだことを配付資料、参考書を使って確認する。(1時間)
2	第8回現地調査(西公園・ 大濠公園)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
3	第7回現地調査(二丈キャンパス)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
4	第9回現地調査(西公園・ 大濠公園)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合してその特徴を確認・記憶する(1時間)
5	ンパス)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記する(1時間)
6	第10回チョウ類調査(西 公園・大濠公園)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
7	第9回チョウ類調査(二丈 キャンパス)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
8	第11回チョウ類調査(西 公園・大濠公園)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
9	第10回チョウ類調査(二 丈キャンパス)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
10	第12回チョウ類調査(西 公園・大濠公園)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する。(2時間)
11	白野江植物公園研修	予習:アサギマダラ、白野江植物公園について事前に調べる。(1時間) 復習:見学した内容を整理し、レポートを作成する。(1時間)
12	第11回チョウ類調査(二 丈キャンパス)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
13	第13回チョウ調査(西公園・大濠公園)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
14	第14回チョウ類調査(西 公園・大濠公園)	予習:以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えておくこと(1時間) 復習:調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する(1時間)
15	第15回チョウ類調査	予習:全回の調査データを整理し、レジュメ・パワポにまとめる。(10時間) 復習:レジュメ・パワポにまとめた内容を精査する。(10時間)

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	髙宮 さやか				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年 (後期)
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-DP2 社会問	題に関心を持ち、積極的に	:解決しようとすること:	ができる。

《授業の概要》

庭園・緑地の設計・施工・維持管理及び提案などの作業を通じて「庭園とはなにか」を考えるために、 『作庭記』のほか適宜、文献講読 研究課題に沿った調査・分析や設計・施工、または提案書・模型の作成等 文化財庭園の維持管理作業への参加 維持管理に必要な樹木保全技術習得の一環として樹木簡易診断を行う。 の作業は造園会社で設計・施工・営業を担当してきた実務家教員が、実務に役立つ方法で指導する

《授業の到達目標》

日本庭園の文化的背景と伝統的作庭技法を学び、これを出発点として今後の我が国の庭園・緑地の在り方を考えることができるようになる。

古今東西の庭園を様々な角度から考察し、その源泉である文化 や自然観に触れ、各人の庭園観を確立する。

《成績評価の方法》

課題 40% 授業の取組 50% その他(発表) 10%

《教科書》

小埜雅章『図解 庭師が読みとく作庭記・山水並野形図』学芸 出版社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 添削して1週間以内に返却する。

《成績評価基準》

演習への取組態度と成果品の仕上がりを重視する。 発表への取組態度とその表現力も評価する。

《参考図書》

(一財)日本緑化センター『最新・樹木医の手引き』

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	調査・設計・施工・提案 書作成	予習:作業の準備(2時間) 復習:進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)
2	調査・設計・施工・提案 書作成	予習:作業の準備(2時間) 復習:進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)
3	調査・設計・施工と集計・分析・仕上げ	予習:作業の準備(2時間) 復習:問題点の解決(2時間)
4	調査・設計・施工と集計・分析・仕上げ	予習:作業の準備(2時間) 復習:問題点の解決(2時間)
5	調査・設計・施工と集計・分析・仕上げ	予習:作業の準備(2時間) 復習:問題点の解決(2時間)
6	正午の茶事	予習:写真集等で露地の使い方を調べておく(2時間) 復習:本日の体験をレポートにする(2時間)
7	庭園・緑地の樹木保全技 術	予習:作業の準備(2時間) 復習:データの整理(2時間)
8	庭園・緑地の樹木保全技 術	予習:作業の準備(2時間) 復習:データの整理(2時間)
9	庭園・緑地の樹木保全技 術	予習:作業の準備(2時間) 復習:データの整理(2時間)
10	文化財庭園の維持管理	予習:現地確認と道具の準備(2時間) 復習:写真整理(2時間)
11	文化財庭園の維持管理	予習:道具の準備(2時間) 復習:写真整理とレポート作成(2時間)
12	文化財庭園の維持管理	予習:道具の準備(2時間) 復習:写真整理とレポート作成(2時間)
13	文化財庭園についての討 議・提案・意見集約	予習:作業した内容を振り返っておく(2時間) 復習:意見集約(2時間)
14	まとめ 発表準備	予習:最終発表の準備(2時間) 復習:指摘事項の解決(2時間)
15	まとめ 発表準備	予習:最終発表の準備(2時間) 復習:指摘事項の解決(2時間)

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	山本 俊光				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年 (後期)
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-DP2 社会問	題に関心を持ち、積極的に	:解決しようとすること	ができる。

《授業の概要》

園芸福祉ガーデンの企画、運営、管理を行う。 園芸福祉ガーデンに必要なものの企画、設計、施工を行う。

《教科書》

『社会園芸学のすすめ』(松尾英輔)農文協

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 課題についてはレベルに達するまで添削を行う。

《授業の到達目標》

- 1 ユニバーサルデザインの理念と基礎を学び、安全で安心な暮らしを理解する。
- 2 植物を介して人とのつながりを深め、利他的な考え方を身につけ。共感する心を養う。
- 3 植物の育成管理を通して、生きているものへの理解と愛着を養う。
- 4 地域社会に貢献するやりがいと達成感を味わう。

《成績評価基準》

課題の提出状況、内容、授業への取り組みで判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート % 課題40% 実技 % 授業の取組60% その他() %

《参考図書》

《授業計画》		
週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	ガイダンスから自分の課題を考え、調べ学習を始める(2時間)。
2	講読 1	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
3	講読 2	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
4	講読 3	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
5	講読 4	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
6	講読 5	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
7	講読 6	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
8	発表 1	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
9	発表 2	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
10	発表 3	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
11	発表 4	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
12	発表 5	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
13	発表 6	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
14	中間まとめ 1	中間まとめに向かってこれまでを振り返り整理する(2時間)。
15	中間まとめ 2	中間まとめに向かってこれまでを振り返り整理する(2時間)。

科目名	ガーデニング実習				
担当者氏名	西川 真水、宮島 淳二、髙宮 さやか、山本 俊光				
授業方法	実習 単位・必選 2単位・必修 開講年次・開講期 2年・通年 (後期)				
1-[ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-DP2 社会問	題に関心を持ち、積極的に	「解決しようとすること	ができる。

《授業の概要》

1年次に各コースの特性に合わせて学んだ現場スキルと、様々な講義科目などを通して得た知見、また設計演習で学んだ空間作りの基本プロセスを土台に、本実習では、ゼミナールごとに敷地空間の設計から施工までを行う。二丈キャンパス等においてゼミナール別にテーマ・敷地条件を設定し、平面図・詳細図等の設計図書を作成し、このデザインをもとに施工を行うことで、構想・計画・設計・施工までのプロセスを学ぶ。

《授業の到達目標》

- ・造園・ランドスケープ・緑地環境に関わる空間の構想・計画
- ・設計・施工管理・維持管理等の一連の作業の流れを学ぶ。
- ・実地での技術を各論として学んだ総合実習(1年次通年科目)の成果や専門科目で得た知識を基礎に総合化し、集約的に再習得する。

《成績評価の方法》

実技 30% 授業の取組 50% その他(設計計画) 20%

《教科書》

使用しない

〈課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法〉 講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

授業の取組及び技術習得の度合いを総合評価。授業の取組50% 、実技30%、設計計画20%で評価する。

《参考図書》

造園施工管理技術編 造園施工必携 建設物価

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ドローン操作による敷地 調査	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	ドローン操作による敷地 調査	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	測量・遣方	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	石組工	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	石組工	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	石組工	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	工作物	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	工作物	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	工作物	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	高木植栽工	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	高木植栽工	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	低木・地被植栽工	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	工事記録収集	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	工事記録収集	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	工事記録とりまとめ	予習:実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 復習:今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

科目名	測量実習				
担当者氏名	田上 博、永島 知子				
授業方法	実習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・通年 (後期)
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-DP4 伝統的で	高度な「作庭技術」や「快通	適な生活環境を創造できる	技術」を習得していること。

《授業の概要》

「測量実習」を基礎としてより実践的な測量に関する技術を習得する実習です。造園の設計・施工に必要な平面測量・路線測量の理論と実習を行います。同時に GPS や GIS を活用した新しい測量に関する実習も行います。

コンピュータによる実習では Excel・Arc GIS・Google Map などを使います。関数電卓と製図道具が必要です。

《授業の到達目標》

距離測量・水準測量・角測量など、それぞれの測量を行うだけでなく、それらの結果を用いて座標計算を行うなど応用的な測量ができるようになる。また、表計算ソフトを活用して測量計算など、実務に活用できる技術を身につける。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% 課題 30% 授業の取組 30%

《教科書》

細川 吉晴他著「よくわかる測量実習」(コロナ社) プリントを配布します

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》 日報・課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は実習の取組 30%、日報及び課題の評価30%、試験40%とする。

《参考図書》

吉澤 孝和著「図解 測量学要論」(日本測量協会)

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	トータルステーションに	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要
	よる細部測量の計算法	復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
2	コンピューターによる測 量計算	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
	コンピューターによる測	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要
3	量計算	復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
4	コンピューターによる測量は第	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要
	量計算 コンピューターによる測	復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要
5	量計算	復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
6	コンピューターによる測	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要
<u> </u>	量計算	復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
7	GPS 測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
8	GPS 測量	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要
<u> </u>	0.10 0.7554	復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
9	GIS の理論	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
10	GIS の理論	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要
10		復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
11	GPS 測量を利用した GIS	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
12	GPS 測量を利用した GIS	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要
12	- 1# 66	復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
13	GIS の構築	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
14	GIS の構築	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要
14		復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
15	まとめ	予習:実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習:実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
<u> </u>		INT - ATTICATOR MULICIAN COLOR INCIDENCE IN THE SECOND COLOR IN TH